

---

# 家事時間等に関する市民意識及び実態調査

## 報 告 書

---

平成18年3月

仙 台 市

# 目次

<b>調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1. 調査の目的 .....	3
2. 調査の項目 .....	3
3. 調査の設計 .....	3
4. 回収結果 .....	3
5. 報告書の見方 .....	4
<b>回答者の属性</b> .....	<b>5</b>
1. 回答者自身のことについて .....	7
2. 配偶者について .....	9
<b>調査結果の要約</b> .....	<b>11</b>
1. 家事と仕事に関する意識について .....	13
2. 家事に対する意識について .....	14
3. 家事時間について .....	15
(1) 1日あたりの家事時間 .....	15
(2) 1日あたりの家事時間〔炊事・買物・洗濯・掃除・その他の家事〕 .....	17
(3) 1日あたりの家事時間〔子どもの世話・介護〕 .....	18
4. 夫婦間の家事分担について .....	19
(1) 家事の分担状況 .....	19
(2) 家事分担に対する考え .....	20
(3) 配偶者にやってもらいたい家事・自分がやるようにしたい家事 .....	21
5. 男性が家事を行うことについて .....	22
(1) 男性が家事を行うことについての考え .....	22
(2) 男性が家事を行うべきとする理由 .....	23
6. 今後、男性が家事に積極的に参加していくために必要なこと .....	24
<b>調査結果の分析</b> .....	<b>25</b>
1. 家事と仕事に関する意識について .....	27
(1) 「男は仕事、女は家庭」という考え方 .....	27
(2) 女性が職業をもつことについての考え .....	29
2. 家事に対する意識について .....	32
(1) 家事などの得手不得手 .....	32

3．家事時間や役割分担などについて	4 2
（1）1日あたりの家事時間	4 2
（2）1日あたりの家事時間〔炊事・買物・洗濯・掃除・その他の家事〕	4 6
（3）1日あたりの家事時間〔子どもの世話・介護〕	5 3
（4）夫婦間の家事分担	5 8
（5）現在の夫婦間の家事分担に対する考え	6 1
（6）配偶者にやってもらいたい家事	6 4
（7）自分がやるようにしたい家事	6 5
4．就業状況や休業制度について	6 6
（1）職業	6 6
（2）1日の平均就業時間（残業時間を含む）	6 7
（3）仕事が休みの日	6 8
（4）育児・介護休業制度の認知	6 9
（5）「育児・介護休業」が、男性も対象であることの認知	7 0
5．男性の家事参加について	7 1
（1）男性が家事を行うことについての考え	7 1
（2）男性が家事を行うべきとする理由	7 4
（3）男性が家事を行うべきでないとする理由	7 7
（4）今後、男性が家事に積極的に参加していくために必要なこと	7 8
<b>資 料</b>	<b>8 1</b>
1．自由記述	8 3
2．調査票（単純集計付き）	8 4

## 調査の概要

---

# 調査の概要

## 1. 調査の目的

本市では、平成16年度に策定した「男女共同参画せんだいプラン2004」において、子育て・介護等と仕事の両立支援を重点課題の1つとして掲げている。

本調査は、家事についての意識と実態を把握し、男女共にいきいきと暮らせる社会の実現をめざして、今後の施策の参考とするための基礎資料を得ることを目的として実施した。

## 2. 調査の項目

- (1) 家事と仕事に関する意識について
- (2) 家事に対する意識について
- (3) 家事時間や役割分担などについて
- (4) 就業状況や休業制度について
- (5) 男性の家事参加について

## 3. 調査の設計

	【家事時間等に関する市民意識及び実態調査】
調査対象	仙台市内に居住する20歳以上の男女2,000人(有配偶者)
調査方法	郵送配布・郵送回収(督促はがき1回)
調査期間	平成17年12月1日～12月13日
企画実施	仙台市市民局市民生活部 男女共同参画課
調査機関	株式会社サーベイリサーチセンター東北事務所

## 4. 回収結果

	標本数	有効回収数	有効回収率
全体	2,000	907	45.4%
女性	900	451	50.1%
男性	1,100	441	40.1%

(性別不明 15)

## 5 . 報告書の見方

- ( 1 ) n ( number of cases の略 ) は , 質問に対する回答者数であり , 回答比率における 100% に相当する。
- ( 2 ) 回答の構成比は百分率であらわし , 小数点第 2 位を四捨五入して算出している。従って , 単一選択式の質問においては , 回答比率を合計しても 100.0%にならないことがある。
- ( 3 ) 回答者が 2 つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては , 各設問の調査数を基数として算出するため , 全ての選択肢の比率を合計すると 100.0%を超える。
- ( 4 ) 回答者数が少ない質問やクロス集計においては , 構成比に偏りが出るため , 分析の記述を避け , 参考値として掲載していることがある。
- ( 5 ) クロス集計においては , 表側にある設問 ( 性別や年代別など ) に無回答だった方の人数は記載していない。そのため N 値を足し挙げても全体の N 値とは等しくならない。

### < 注 1 >

この調査で「家事」とは、「炊事」、「買物」、「洗濯」、「掃除」、「子どもの世話（食事の世話、入浴、おむつ交換、遊び相手、家庭学習の世話など）」、「介護（老親や病気の家族などの介助）」、「その他の家事（整理、片づけ、銀行・役所に行くなど）」をいう。

### < 注 2 >

本市では、平成 16 年に策定した「男女共同参画せんだいプラン 2004」において、男性の 1 日平均家事時間の 30 分増加を目標値として設定している。プラン策定時の現況値としては、「社会生活基本調査」（平成 13 年度総務省）の調査結果を採用しているが、本調査とは、調査方法や集計方法が異なっている ことから、両者の結果を単純に比較することはできない。

本調査では、炊事・洗濯・掃除など個々の家事について、それぞれごとに従事した時間を記載させているため、同時に複数の家事を行った場合、それぞれの時間を複数回足し上げていることが想定される。これに対して社会生活基本調査では、炊事・洗濯・掃除などを「家事」として 1 項目に括り、タイムスケジュール表形式の調査票に記載させており、同時に 2 つ以上の行動を行っても、重複計上されないようにしている。

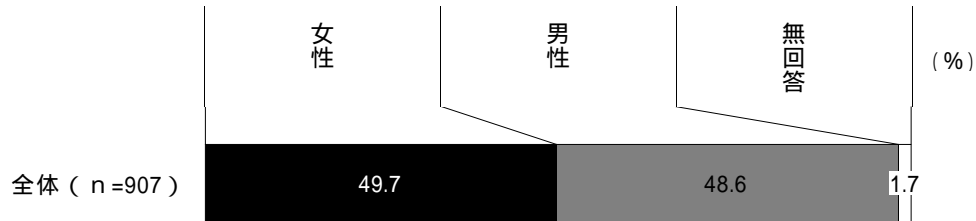
## 回答者の属性

---

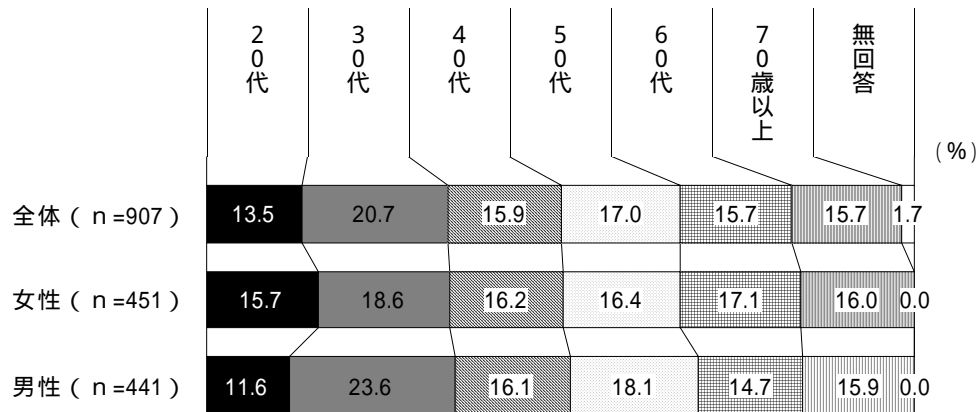
# 回答者の属性

## 1. 回答者自身のことについて

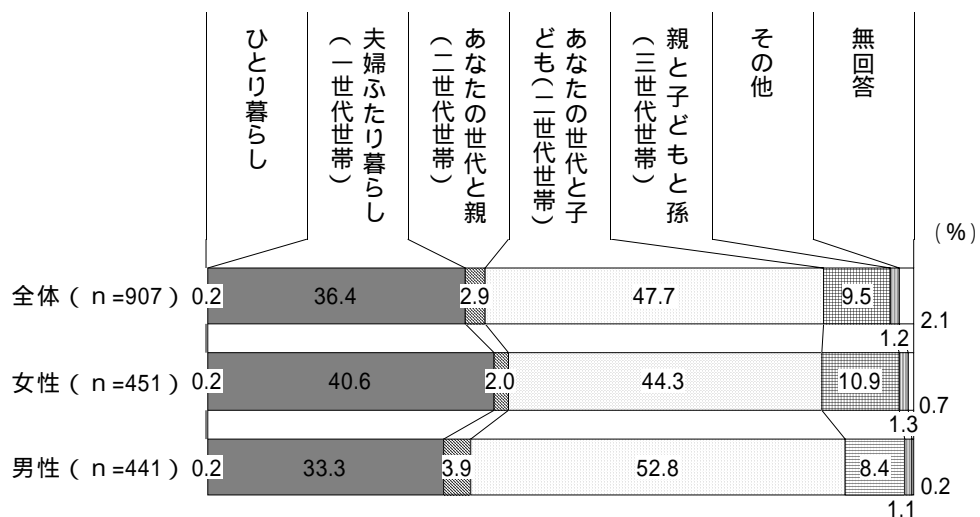
### (1) 性別



### (2) 年代

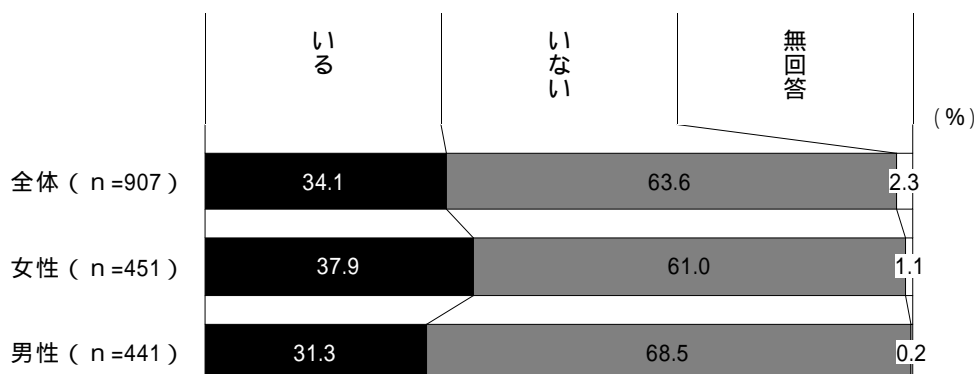


### (3) 家族構成

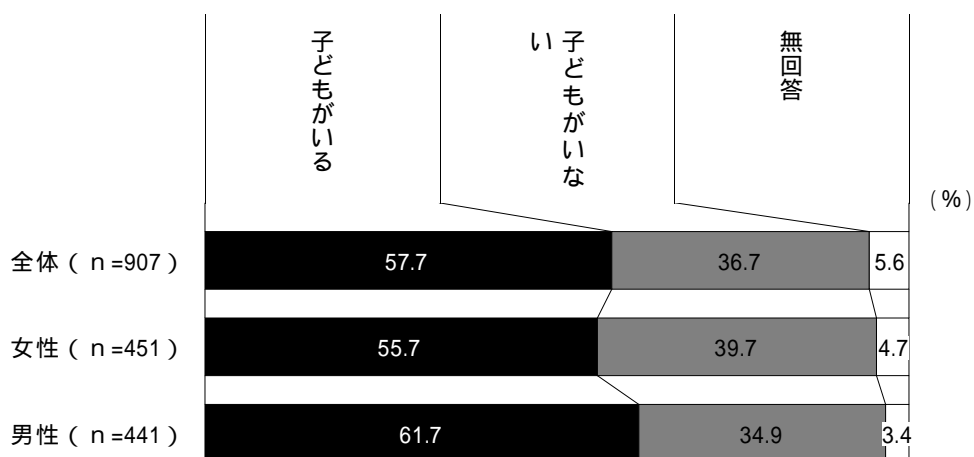




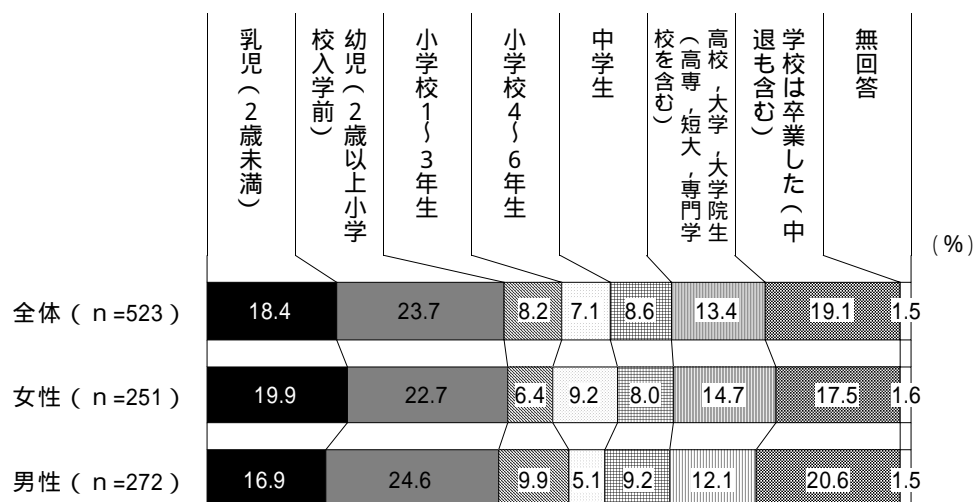
(4) 同居家族の中の65歳以上の家族の有無(回答者自身も含む)



(5) 同居家族の中の子どもの有無

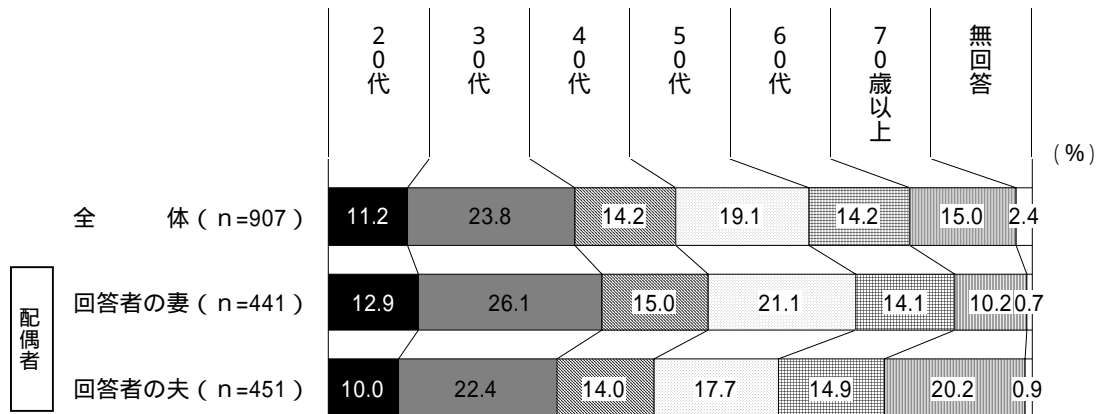


(6) 一番下の子ども(ひとり子も含む)の状況

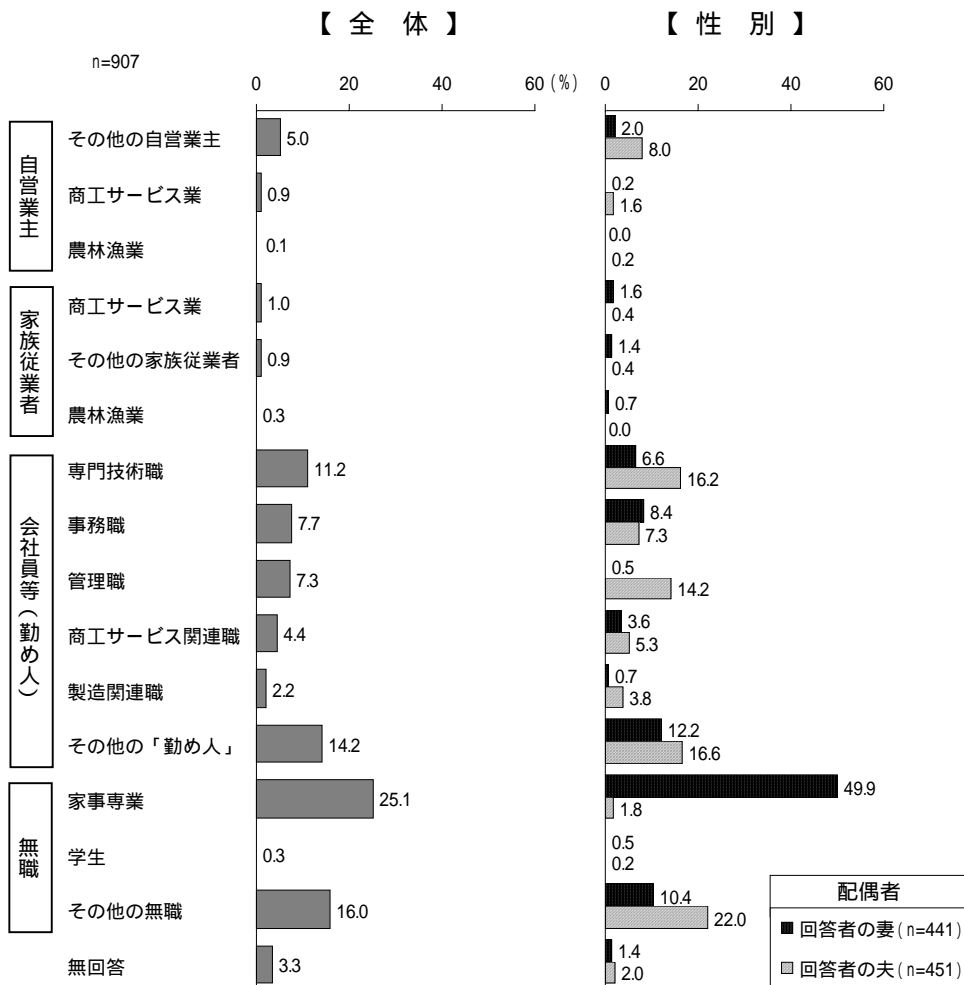


## 2. 配偶者について

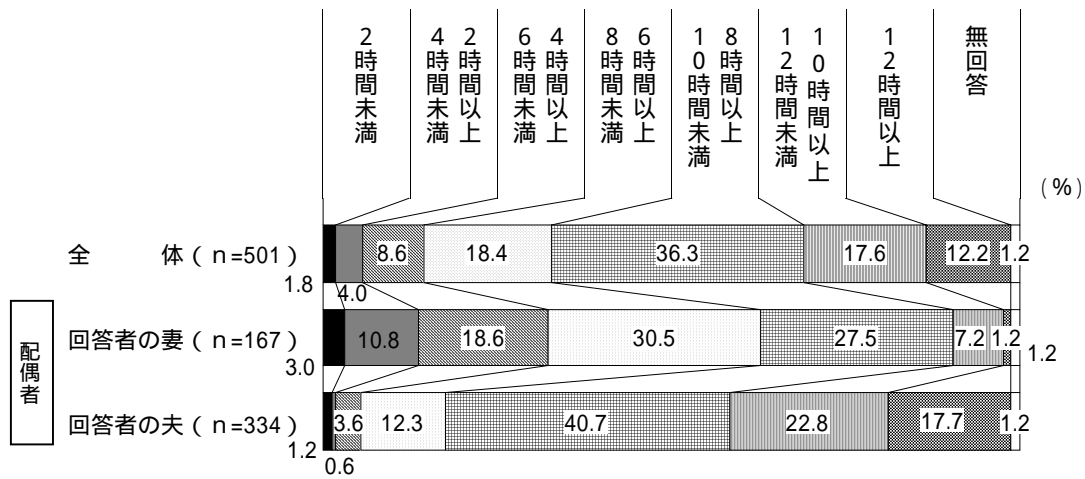
### (1) 配偶者の年代



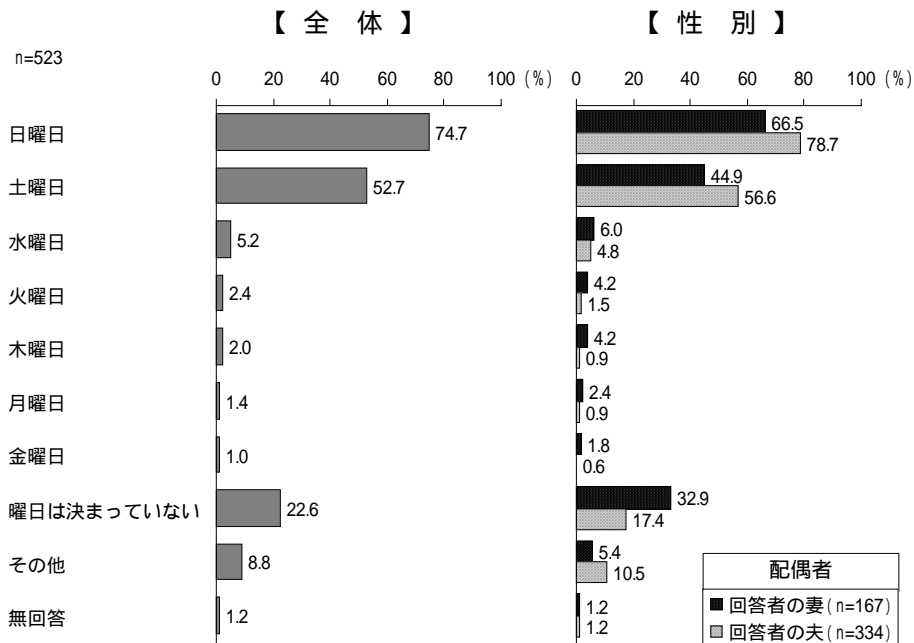
### (2) 配偶者の職業



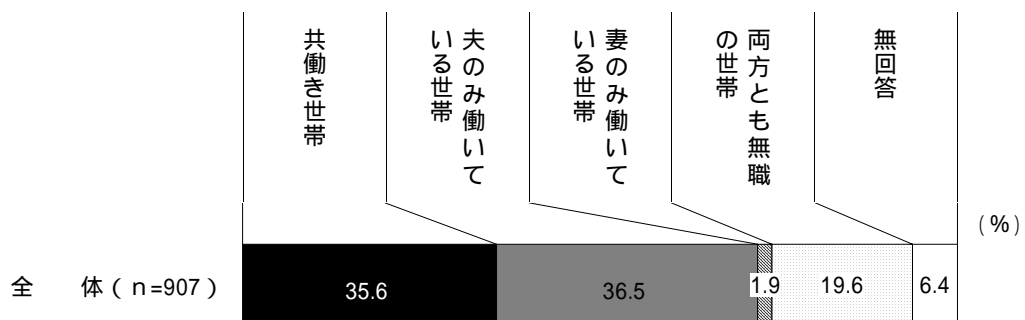
(3) 配偶者の1日の平均就業時間(残業時間を含む)



(4) 配偶者の仕事が休みの日



(5) 世帯の就労状況



## 調査結果の要約

---

# 調査結果の要約

\* この調査で「家事」とは、「炊事」、「買物」、「洗濯」、「掃除」、「子どもの世話（食事の世話、入浴、おむつ交換、遊び相手、家庭学習の世話など）」、「介護（老親や病気の家族などの介助）」、「その他の家事（整理、片づけ、銀行・役所に行くなど）」をいう。

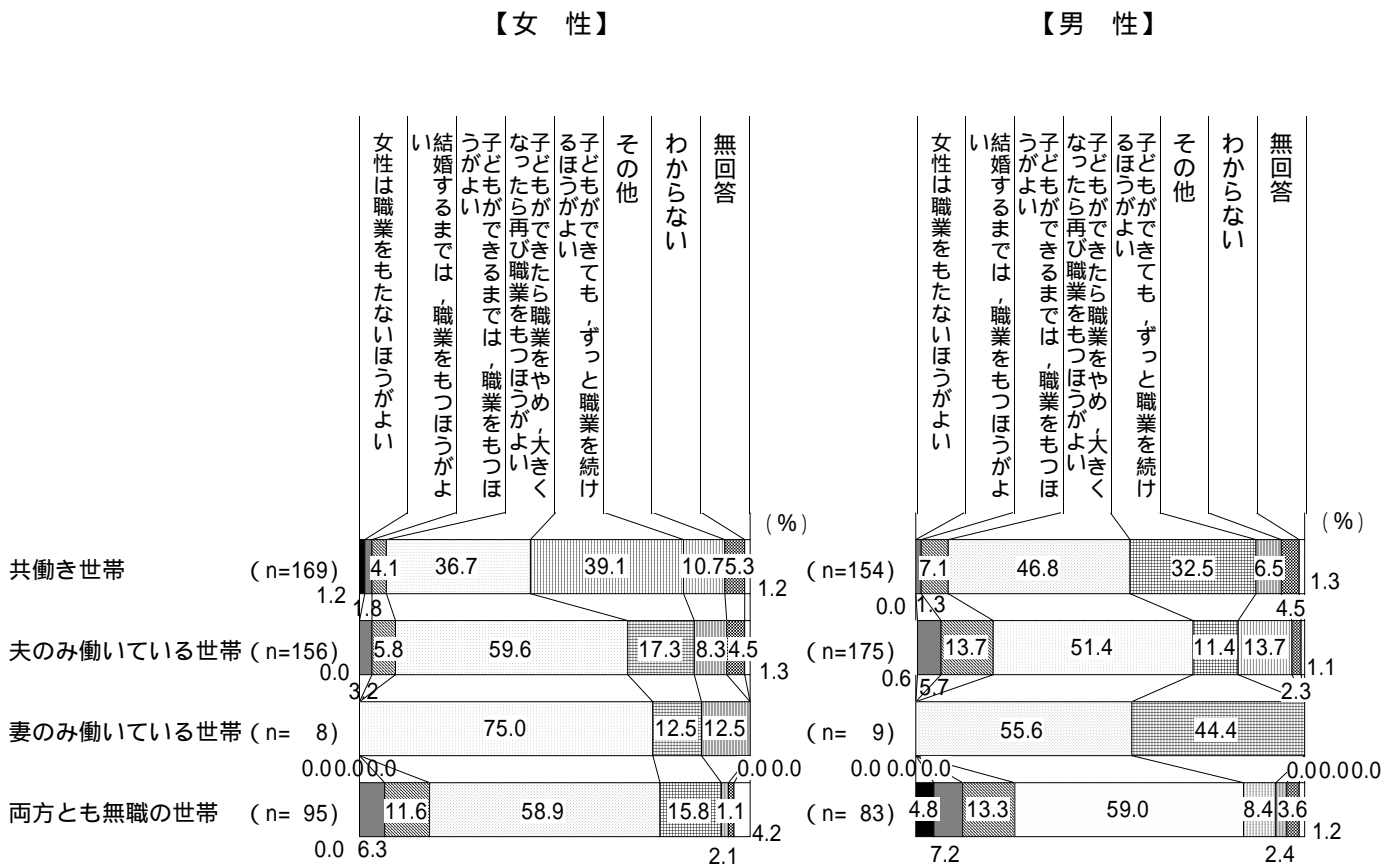
## 1. 家事と仕事に関する意識について

女性が仕事をもつことについて、男女とも〔中途再就職型〕を望む回答が過半数を占めるが、共働き世帯では〔就業継続型〕を支持する回答が他の世帯と比べて多くなっている。

「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担に「同感する」のは男性の方が女性よりも多く、両者ともに年代が上がるほどその意識は高くなる傾向がみられた。（P28 参照）

また、女性が職業をもつことについては、「子どもができたら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業をもつほうがよい〔中途再就職型〕」とする回答が男女とも過半数を占めるが、共働き世帯では、「子どもができて、ずっと職業を続けるほうがよい〔就業継続型〕」が他の世帯と比べて多くなっており、世帯の就労状況によって、意識の差がうかがえた。

女性が職業をもつことについての考え / 世帯の就労状況・性別



## 2. 家事に対する意識について

**男性の最も『得意』な家事は《買物》,最も『苦手』な家事は《洗濯》。20代の男性に「家事」を「得意」と回答した人が多い。**

男性の家事の得手不得手をみると、《洗濯》,《炊事》,《掃除》の順に『苦手』意識が高くなっているが、《掃除》,《炊事》では、『得意』と回答した人も3割前後と比較的が多くなっている。《買物》では、『得意』と回答した人が4割以上と他の家事に比べて最も多かった。

また、20代の男性では、《炊事》,《買物》,《洗濯》,《掃除》,《子どもの世話》を「得意」と答えた人が各年代の中で最も多くなっている。(P35~39参照)

順位	男性の『得意』な家事	男性の『苦手』な家事
1	買物(42.0%)	洗濯(41.1%)
2	掃除(30.2%)	炊事(33.6%)
3	炊事(29.2%)	掃除(29.9%)

『得意』 = 「得意」 + 「やや得意」の合計

『苦手』 = 「苦手」 + 「やや苦手」の合計

### 3. 家事時間について

< 注 >

本市では、平成16年に策定した「男女共同参画せんだいプラン2004」において、男性の1日平均家事時間の30分増加を目標値として設定している。プラン策定時の現況値としては、「社会生活基本調査」(平成13年度総務省)の調査結果を採用しているが、本市の調査とは、調査方法や集計方法が大きく異なっていることから、今回の家事時間の集計結果と「社会生活基本調査」の結果を比較することは妥当ではない。(P45参照)

#### (1) 1日あたりの家事時間

平日の平均家事時間は女性が約435分(7時間15分)、男性が約98分(1時間38分)と337分(5時間37分)の差がある。

共働き世帯でも約4時間の差があり、共働き世帯の女性が仕事のほかに「家事」の多くを担っていることがうかがえる。なお、共働き世帯の中でも、妻の就業時間の長短で、男性の家事時間に差が見られた。

1日あたりの家事時間では、【平日】に比べて、【土曜日】と【日曜日】の平均時間が長くなっており、【平日】が約264分であるのに対して、【土曜日】と【日曜日】は、300分を超えている。

性別でみると、【平日】、【土曜日】、【日曜日】の全てにおいて女性の方が男性よりも平均時間が長くなっており、【平日】(女性：434.81分 男性：97.58分)で約337分の差があるが、【土曜日】(女性：431.57分 男性：181.46分)では約250分差に縮まり、さらに、【日曜日】(女性：423.12分 男性：213.56分)では約210分へと縮まる。

		【平日】		【土曜日】		【日曜日】	
		n	平均時間(分)	n	平均時間(分)	n	平均時間(分)
1日あたりの家事時間	全体	827	264.18	801	304.64	798	317.38
	女性	403	434.81	388	431.57	384	423.12
	男性	412	97.58	400	181.46	401	213.56

平均時間は、「無回答」(解答欄が空欄のもの)を除き、記入していただいた時間の平均で算出している。

(以降同様)

世帯の就労状況・性別にみると、【平日】では、夫のみ働いている世帯の女性は約562分、共働き世帯の女性でも約343分と長くなっている。また、共働き世帯であっても、女性と男性（96.54分）の差は約246分と大きくなっている。

【土曜日】・【日曜日】ともに、【平日】と同様、夫のみ働いている世帯の女性が最も長くなっている。なお、夫のみ働いている世帯の女性では、【平日】，【土曜日】，【日曜日】の順に平均時間が減少しているのに対し、共働き世帯の女性では、逆に増加している。

			【平日】		【土曜日】		【日曜日】	
			n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)
就労状況別の世帯別	共働き世帯	女性	161	342.87	159	419.60	158	421.58
	夫のみ働いている世帯		148	561.66	143	500.45	140	489.85
	共働き世帯	男性	145	96.54	145	191.03	145	228.56
	夫のみ働いている世帯		169	67.82	165	190.12	166	232.34

共働き世帯の男性の【平日】の家事時間は、妻の就業時間が6時間以上働いている男性で約105分で、妻が6時間未満の場合（約65分）と比べ、長くなっている。

			【平日】		【土曜日】		【日曜日】	
			n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)
就業時間別の配偶者の性別	共働き世帯・男性	配偶者6時間未満	46	64.78	46	134.46	46	209.13
		配偶者6時間以上	97	105.47	97	209.57	97	229.94



( 2 ) 1日あたりの家事時間〔炊事・買物・洗濯・掃除・その他の家事〕

いずれの家事でも、女性のほうが男性よりも平均時間が長く、特に《炊事》でその差が大きい。男性は、日曜日には《買物》を平日よりも30分以上長く行っている。

性別でみると、【平日】、【土曜日】、【日曜日】の全てにおいて、5つの家事及び合計で女性の方が男性よりも平均時間は長くなっており、特に、《炊事》での差が目立つ。また、【平日】の《洗濯》と《掃除》では、男性は10分に満たない。

女性では《買物》を除けば、【平日】、【土曜日】、【日曜日】の順で平均時間が減少しているのに対し、男性は【平日】、【土曜日】、【日曜日】の順で平均時間が増加している。しかし、買物で、【平日】より30分以上増えている以外、そのほかの家事では数分程度の伸びにとどまっている。

		【平日】		【土曜日】		【日曜日】	
		n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)
(1)炊事	全体	878	73.24	859	74.75	858	74.44
	女性	442	125.58	433	122.86	431	120.81
	男性	423	18.85	413	24.33	414	26.10
(2)買物	全体	866	35.42	844	52.68	839	58.74
	女性	433	51.65	423	58.38	418	60.90
	男性	421	18.87	409	46.82	408	56.20
(3)洗濯	全体	859	30.60	838	31.13	835	30.86
	女性	434	52.13	420	50.29	418	48.86
	男性	414	7.92	406	11.30	404	12.14
(4)掃除	全体	866	30.55	842	32.43	845	31.22
	女性	436	50.36	421	48.10	419	42.79
	男性	420	9.28	409	15.88	413	19.00
(7)その他の家事	全体	820	32.85	775	25.38	776	24.56
	女性	406	49.27	378	33.97	372	30.66
	男性	403	16.22	386	16.39	392	18.04

(3) 1日あたりの家事時間〔子どもの世話・介護〕

平日に男性が〔子どもの世話〕をする時間は、共働き世帯でも、夫のみ働いている世帯でも1時間前後にとどまっている。共働き世帯の女性は、〔子どもの世話〕の多くを担っていることがうかがえる。

しかし、日曜日には男性も、平日の約3倍の時間を〔子どもの世話〕にあてている。

《子どもの世話》と《介護》は、該当する家族の有無をあらかじめたずね、該当する家族がいる方のみに回答していただいた。

全体では、《子どもの世話》と《介護》の両方とも、おおむね【平日】に比べて、【土曜日】と【日曜日】の平均時間が長くなっている。特に、《子どもの世話》に関しては、【日曜日】で約250分と、【平日】と比べ約80分長くなっている。

性別でみると、《子どもの世話》と《介護》の両方とも、【平日】、【土曜日】、【日曜日】の全てにおいて、女性の方が男性よりも平均時間は長くなっており、特に、【平日】は《子どもの世話》で約226分と差が大きくなっている。《子どもの世話》の男性の平均時間は、【日曜日】(188.9分)は【平日】(62.56分)の約3倍に増えている。

また、《介護》では、【日曜日】(女性：82.17分 男性：70.00分)で、女性と男性の差が約12分と小さくなっている。

		【平日】		【土曜日】		【日曜日】	
		n	平均時間(分)	n	平均時間(分)	n	平均時間(分)
(5)子どもの世話	全体	319	167.33	312	228.41	312	249.63
	女性	147	289.04	143	314.68	144	314.75
	男性	168	62.56	165	154.09	164	188.90
(6)介護	全体	53	60.19	52	77.69	52	75.19
	女性	23	78.26	23	90.00	23	82.17
	男性	29	43.79	28	66.07	28	70.00

世帯の就労状況・性別でみると、【平日】では、夫のみ働いている世帯の女性が約366分と最も長く、共働き世帯の女性でも約187分と3時間を超えている。一方、共働き世帯であっても、夫のみ働いている世帯であっても、男性(59.53分)は1時間前後にとどまっている。

【平日】			子どもの世話	
			n	平均時間(分)
就労状況別 世帯の	共働き世帯	女性	56	186.52
	夫のみ働いている世帯		82	366.02
	共働き世帯	男性	68	66.10
	夫のみ働いている世帯		96	59.53

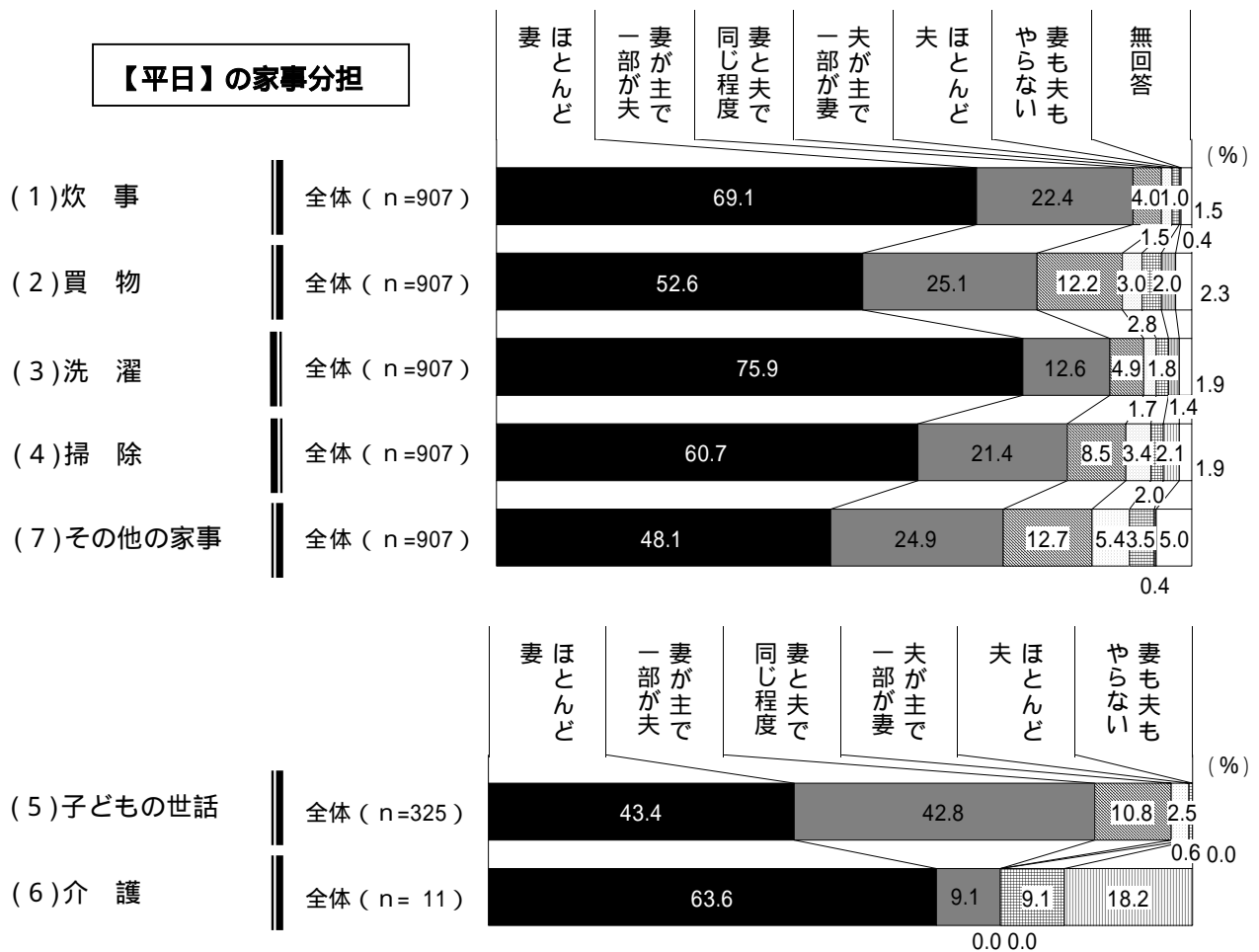
## 4. 夫婦間の家事分担について

### (1) 家事分担の状況

全ての家事において、「ほとんど妻」または「妻が主で一部が夫」という回答が7割以上を占め、妻の役割が大きくなっているが、《子どもの世話》では夫の参画もうかがえる。  
日曜日の《買物》では「妻と夫で同じ程度」が3割を超える。

夫婦間の家事分担では、【平日】の《炊事》、《買物》、《洗濯》、《掃除》、《その他の家事》については、「ほとんど妻」と「妻が主で一部が夫」の割合が多くなっており、『妻』の役割が大きくなっている。

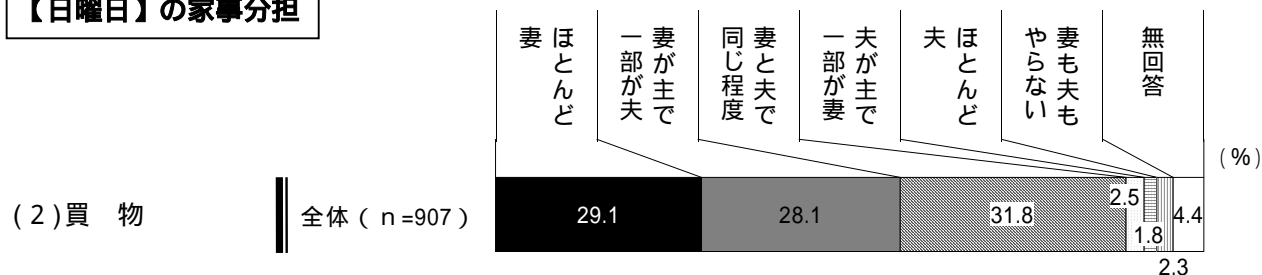
また、《子どもの世話》では、他の家事と同様に『妻』の役割が大きいが、「妻が主で一部が夫」が約4割となっており、『夫』も参画していることがうかがえる。



(5) 子どもの世話と(6) 介護は、「該当なし」と「無回答」を除いて算出している。  
(以降同様)

また，【日曜日】の《買物》では，「妻と夫で同じ程度」が3割を超え，最も多くなっている。

**【日曜日】の家事分担**



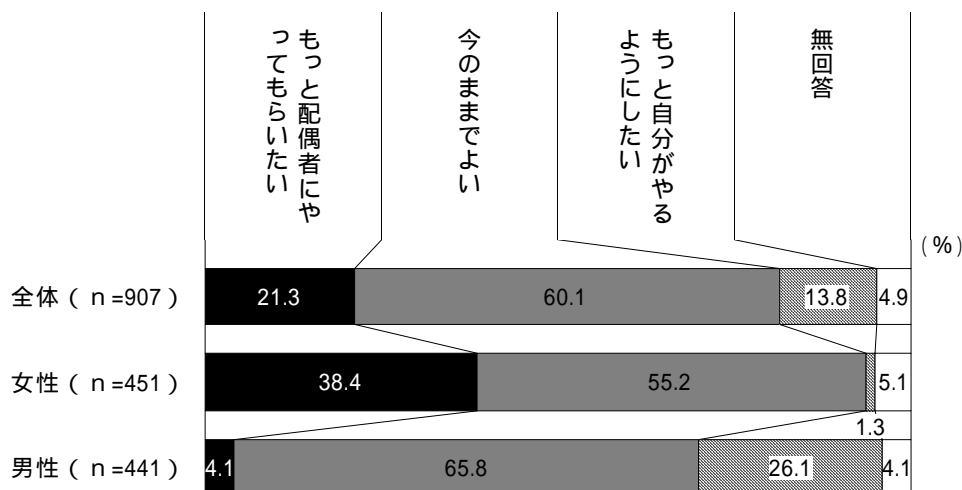
(2) 家事分担に対する考え

女性・男性ともに「今のままでよい」が最も多いが，女性の4割近くが「もっと配偶者にやってもらいたい」と希望し，男性では3割弱が「もっと自分がやるようにしたい」と回答。

現在の夫婦間の家事分担に対する考えをたずねたところ，全体では，「今のままでよい」(60.1%)が最も多く，「もっと配偶者にやってもらいたい」(21.3%)が続いている。

性別で見ると，女性・男性ともに「今のままでよい」(女性：55.2% 男性：65.8%)が半数を超えているものの，その比率には差がみられ，男性の方が女性よりも約11ポイント高くなっている。

女性では，「もっと配偶者にやってもらいたい」(38.4%)が約4割あり，男性のおよそ3割弱が「もっと自分がやるようにしたい」(26.1%)と回答している。



(3) 配偶者にやってもらいたい家事・自分がやるようにしたい家事

女性が最も配偶者にやってもらいたいのは「食事の後片づけ，食器洗い」。女性が夫に期待する家事と男性が「自分がやるようにしたい」と回答した家事はほぼ一致している。

女性が「もっと配偶者にやってもらいたい家事」では、「食事の後片づけ，食器洗い」，「風呂の掃除」，「物置や庭の掃除」，「部屋の掃除」，「洗濯物を取り込む・たたむ」の順で回答が多く，一方男性が「もっと自分がやるようにしたい家事」では，「食事の後片づけ，食器洗い」，「洗濯物を取り込む・たたむ」，「風呂の掃除」，「部屋の掃除」，「買物に行く」の順で回答が多い。女性が夫に期待する家事と，男性の意向がほぼ一致していることがうかがえる。

順位	配偶者にやってもらいたい家事	自分がやるようにしたい家事
	女性	男性
1	【炊事】食事の後片づけ，食器洗い（53.2%）	【炊事】食事の後片づけ，食器洗い（49.6%）
2	【掃除】風呂の掃除（42.2%）	【洗濯】洗濯物を取り込む・たたむ（36.5%）
3	【掃除】物置や庭の掃除（37.0%）	【掃除】風呂の掃除（34.8%）
4	【掃除】部屋の掃除（30.1%）	【掃除】部屋の掃除（33.0%）
5	【洗濯】洗濯物を取り込む・たたむ（28.9%）	【買物】買物に行く（24.3%）

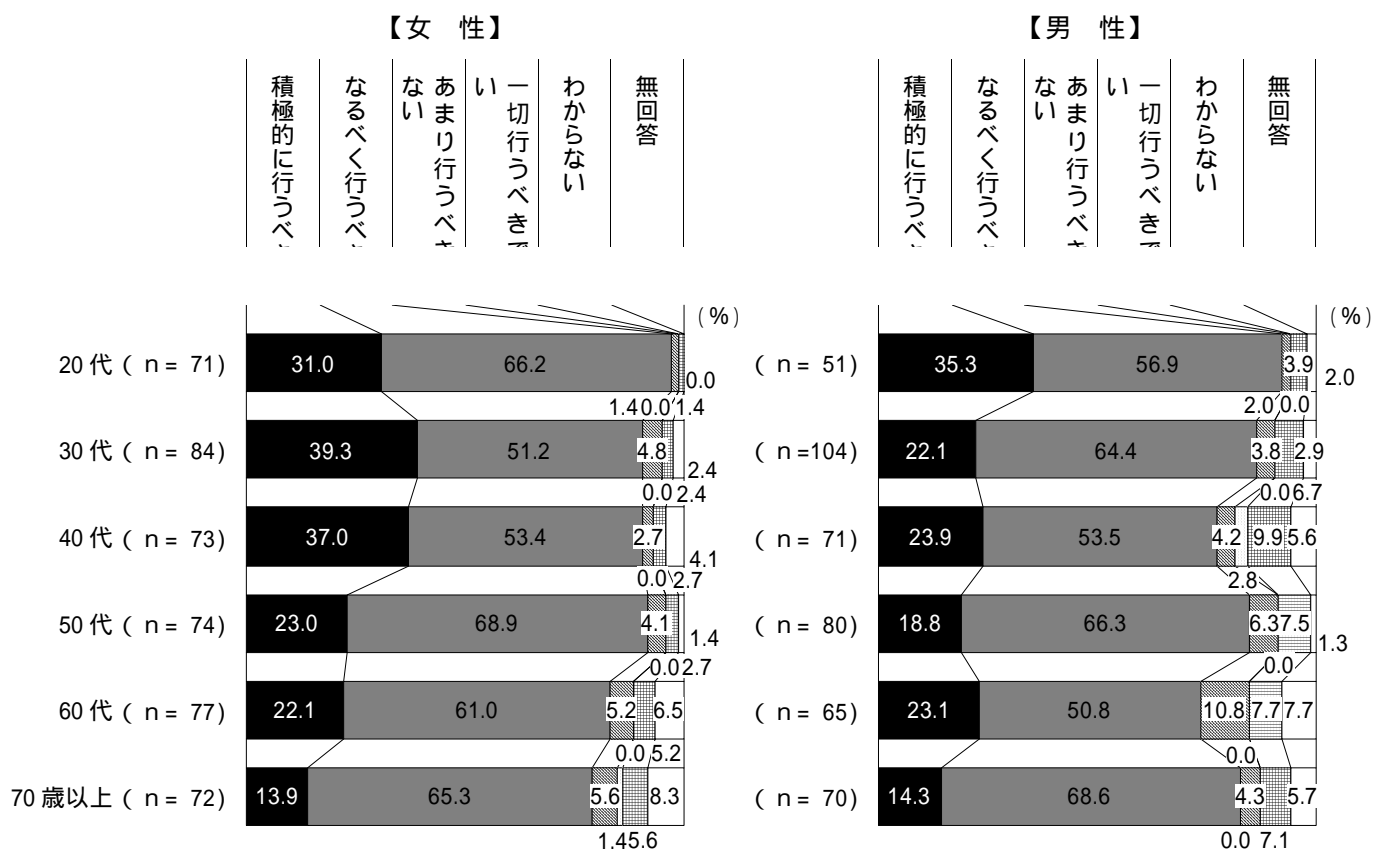
## 5 . 男性が家事を行うことについて

### ( 1 ) 男性が家事を行うことについての考え

**男性が家事を『行うべき』とする回答は全体の8割を超え、男性が家事を行うことについては男女問わず、概ね合意形成がなされていることがうかがえる。**

一般論として、男性が家事を行うことについてたずねたところ、性・年代別でみると、女性では、「積極的に行うべき」が30～40代で約4割と高く、それ以降年代が上がるほど減少している。なお、「なるべく行うべき」は、いずれの年代でも半数を超えており、「積極的に行うべき」と「なるべく行うべき」をあわせて『行うべき』としてみると、20～50代では9割を超え多数を占めている。

一方、男性では、「積極的に行うべき」が20代で3割台半ばと、他の年代に比べて高く、この年代は、『行うべき』としてみると、男性の年代で唯一9割を超えている。

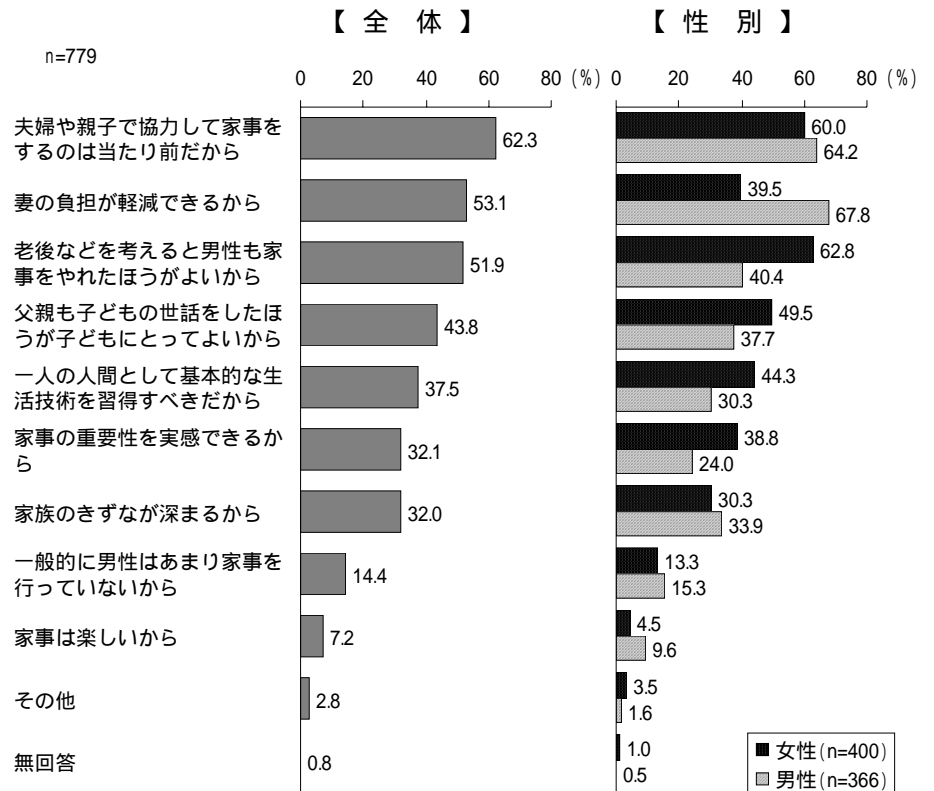


世帯の就労状況・性別でみると、『行うべき』との回答は、共働き世帯は女性・男性ともに約9割であるのに比べ、夫のみ働いている世帯では、女性で9割を超えるのに対し男性は約8割とやや低くなっている。また、就業時間・性別にみると、就業時間が6時間未満の女性で、「積極的に行うべき」が約2割であるのに比べ、6時間以上の女性では4割台半ばと多く、その積極性には違いがみられる。( P73 参照 )

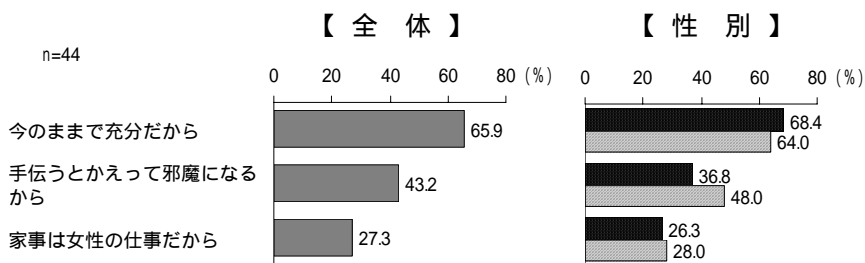
(2) 男性が家事を行うべきとする理由

女性は「老後などを考えると男性も家事をやれたほうがよいから」、男性は「妻の負担が軽減できるから」の割合が最も高い。

全体では、「夫婦や親子で協力して家事をするのは当たり前だから」(62.3%)の割合が最も高くなっているが、性別で見ると、男性で最も高いのは「妻の負担が軽減できるから」(女性:39.5% 男性:67.8%)であり、女性よりも約28ポイント高くなっている。一方、女性で最も高いのは「老後などを考えると男性も家事をやれたほうがよいから」(女性:62.8% 男性:40.4%)であり、男性よりも約22ポイント高くなっている。



また、男性が家事を行うべきでないとする理由をたずねたところ、女性・男性ともに「今のままで充分だから」が最も高くなっており、次に「手伝うとかえって邪魔になるから」が続いている。



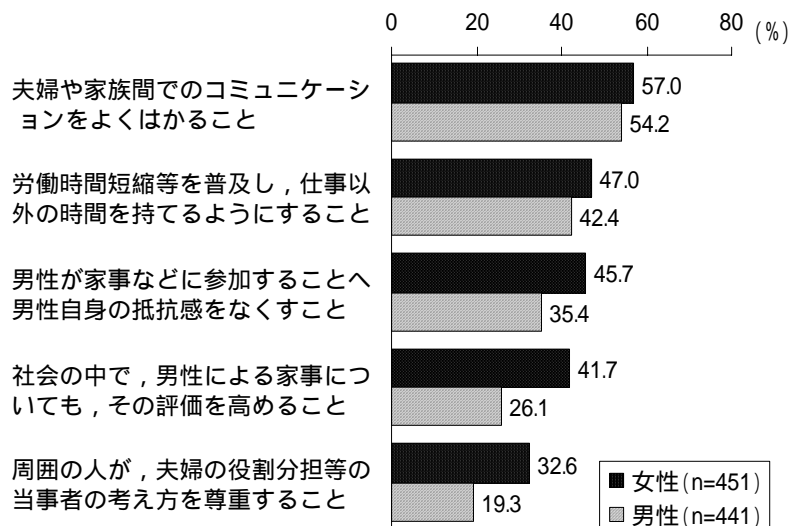
上位3つのみ掲載

## 6. 今後、男性が家事に積極的に参加していくために必要なこと

今後、男性の家事参加に必要なことは、「夫婦・家族間のコミュニケーション」、「労働時間の短縮」、「男性の家事への抵抗感をなくす」こと。周囲の理解なども重要な要素と考えていることがうかがえる。

今後、男性が家事に積極的に参加していくために必要なことをたずねたところ、全体では、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」が最も高くなっている。次いで、「就業時間短縮等を普及し、仕事以外の時間を持てるようにすること」、「男性が家事などに参加することへ男性自身の抵抗感をなくすこと」、「社会の中で、男性による家事についても、その評価を高めること」などが続いている。

性別で見ると、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」が女性・男性ともに最も高くなっており、次いで「労働時間短縮等を普及し、仕事以外の時間を持てるようにすること」、「男性が家事などに参加することへ男性自身の抵抗感をなくすこと」などが続いている。労働時間の短縮といった外的要因のほかにも、家族間のコミュニケーションや男性自身の意識変革、周囲の理解なども重要な要素と考えていることがうかがえる。



上位5つのみ掲載



## 調査結果の分析

---

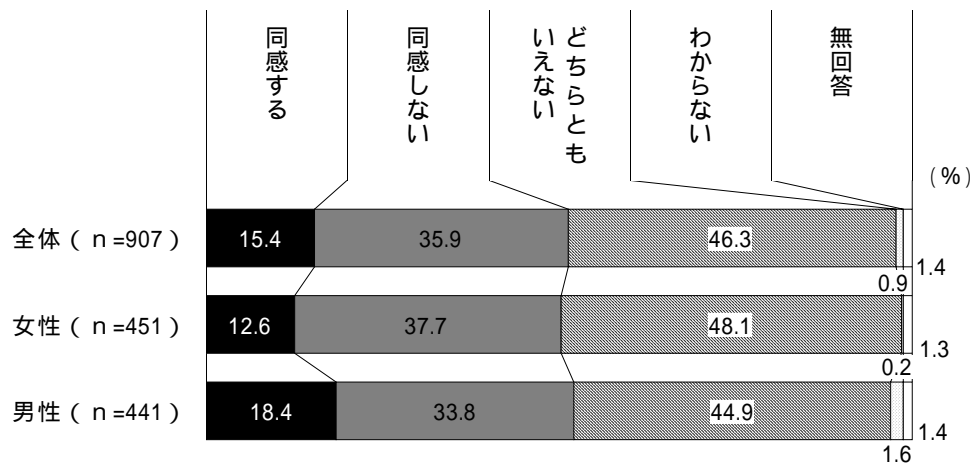
## 調査結果の分析

### 1. 家事と仕事に関する意識について

#### (1) 「男は仕事，女は家庭」という考え方

問1 「男は仕事，女は家庭」という考え方がありますが，あなたはどのように思いますか。あなたの考えに最も近いものをつけてください。( は1つ)

<図表1-1> 「男は仕事，女は家庭」という考え方



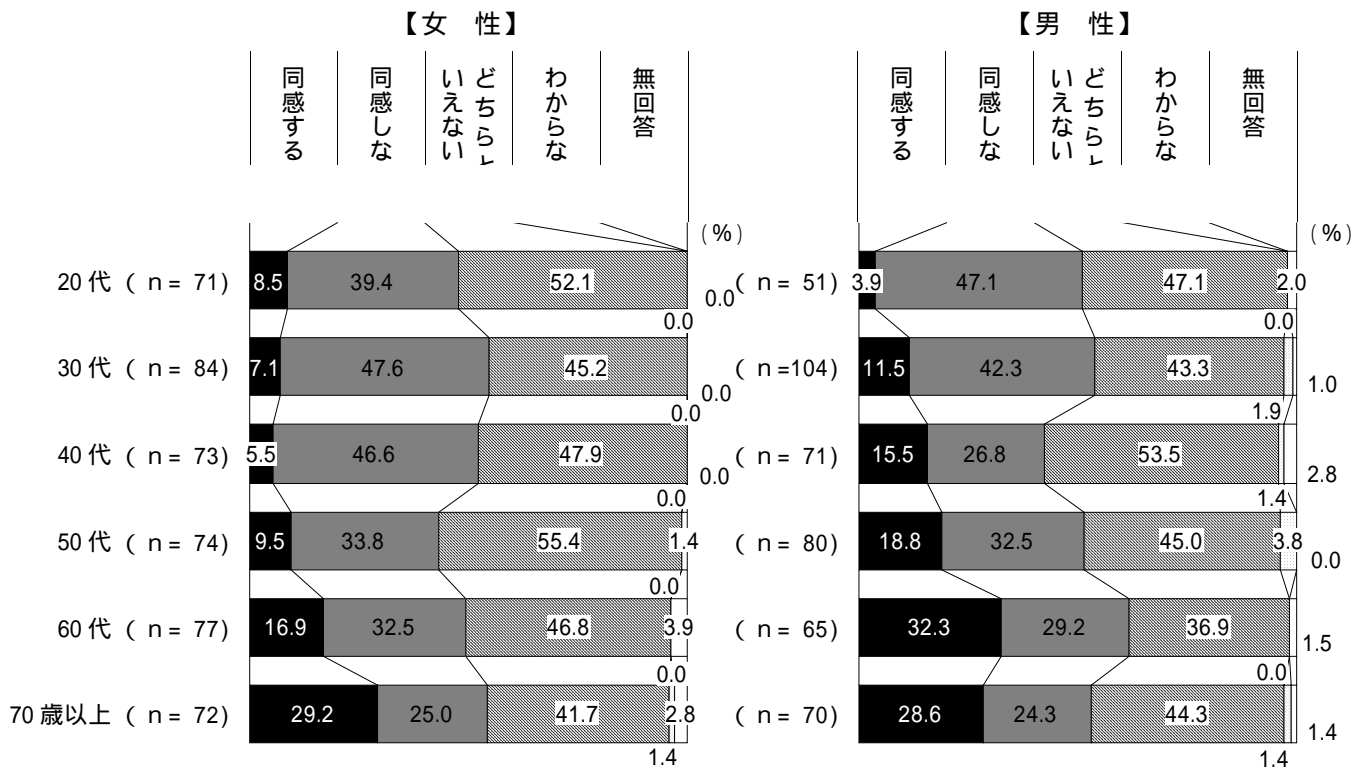
「男は仕事，女は家庭」という性別役割分担についてたずねたところ，全体では，「同感する」(15.4%)よりも「同感しない」(35.9%)が多くなっている。ただし，最も多いのは「どちらともいえない」(46.3%)で半数に近い。

性別でみると，「同感する」(女性：12.6% 男性：18.4%)は，男性の方が女性よりも約6ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、女性では、「同感する」はおおむね年代が上がるほど高くなり、70歳以上は約3割となる。逆に、「同感しない」は、20～40代で高い傾向にあり、中でも、30～40代では半数に近く、特に、40代では男性に比べ約20ポイント高くなっている。

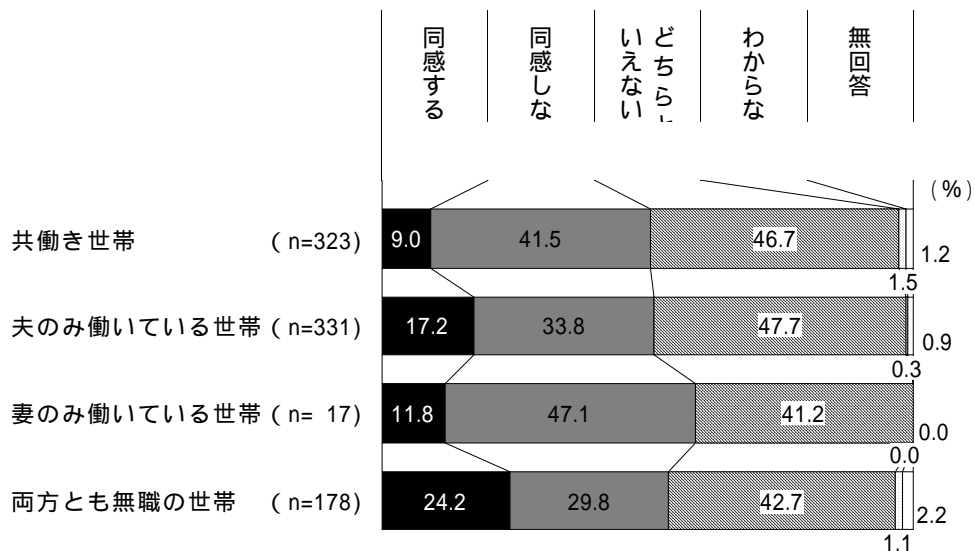
一方、男性でも、「同感する」はおおむね年代が上がるほど高くなる傾向にあり、60代以上では3割前後となっている。また、「同感しない」が20～30代で4割以上となっており、特に20代では半数に近く、女性の同年代と比べても約8ポイント高くなっている。

<図表1-2> 「男は仕事，女は家庭」という考え方／性・年代別



世帯の就労状況別でみると、「同感する」は共働き世帯で1割を切り、他の世帯に比べて低くなっている。

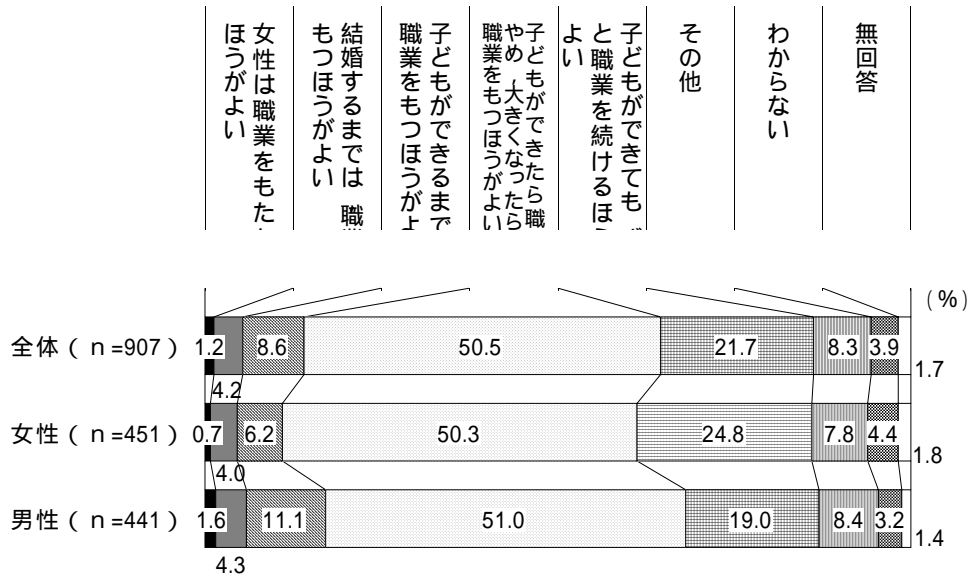
<図表1-3> 「男は仕事，女は家庭」という考え方／世帯の就労状況別



(2) 女性が職業をもつことについての考え

問2 一般的に、女性が職業をもつことについて、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに最も近いものにをつけてください。( は1つ)

<図表1-4> 女性が職業をもつことについての考え



この設問では、説明を簡略化するため、次のように選択肢を定義する。

- 女性が職業をもたないほうがよい ----- [無職型]
- 結婚するまでは、職業をもつほうがよい ----- [結婚退職型]
- 子どもができるまでは、職業をもつほうがよい ----- [出産退職型]
- 子どもができたなら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業をもつほうがよい ---- [中途再就職型]
- 子どもができてもしっかりと職業を続けるほうがよい ----- [就業継続型]

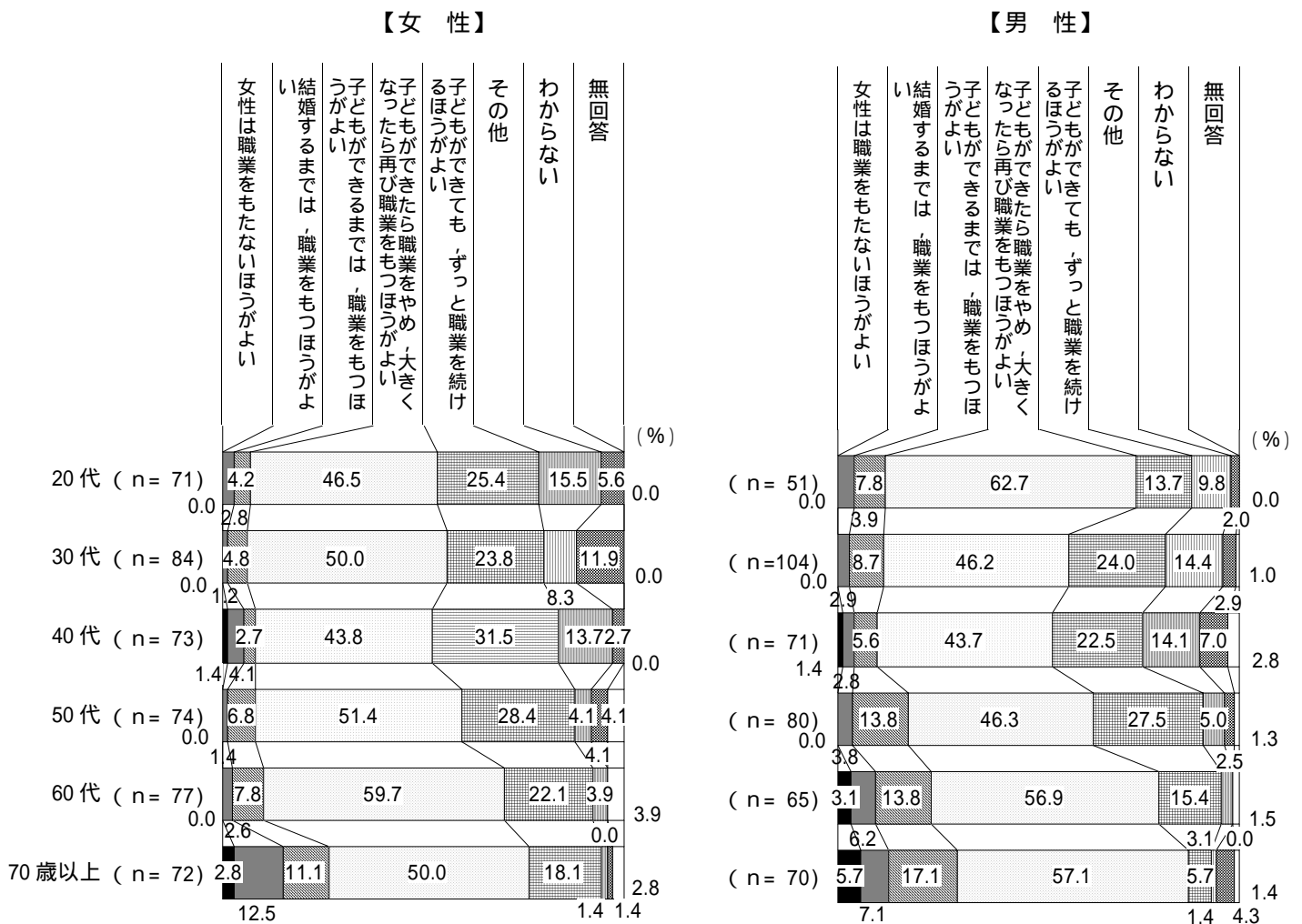
女性が職業をもつことについての考えをたずねたところ、全体では、[中途再就職型](50.5%)が最も多く、次いで、[就業継続型](21.7%)が続いている。

[無職型](1.2%)と[結婚退職型](4.2%)、[出産退職型](8.6%)の合計は約1割半となる。

性別で見ても、比率が占める傾向は全体と変わらないが、性別による差が最も大きいのは、[就業継続型](女性:24.8% 男性:19.0%)で、女性の方が男性よりも約6ポイント高くなっている。

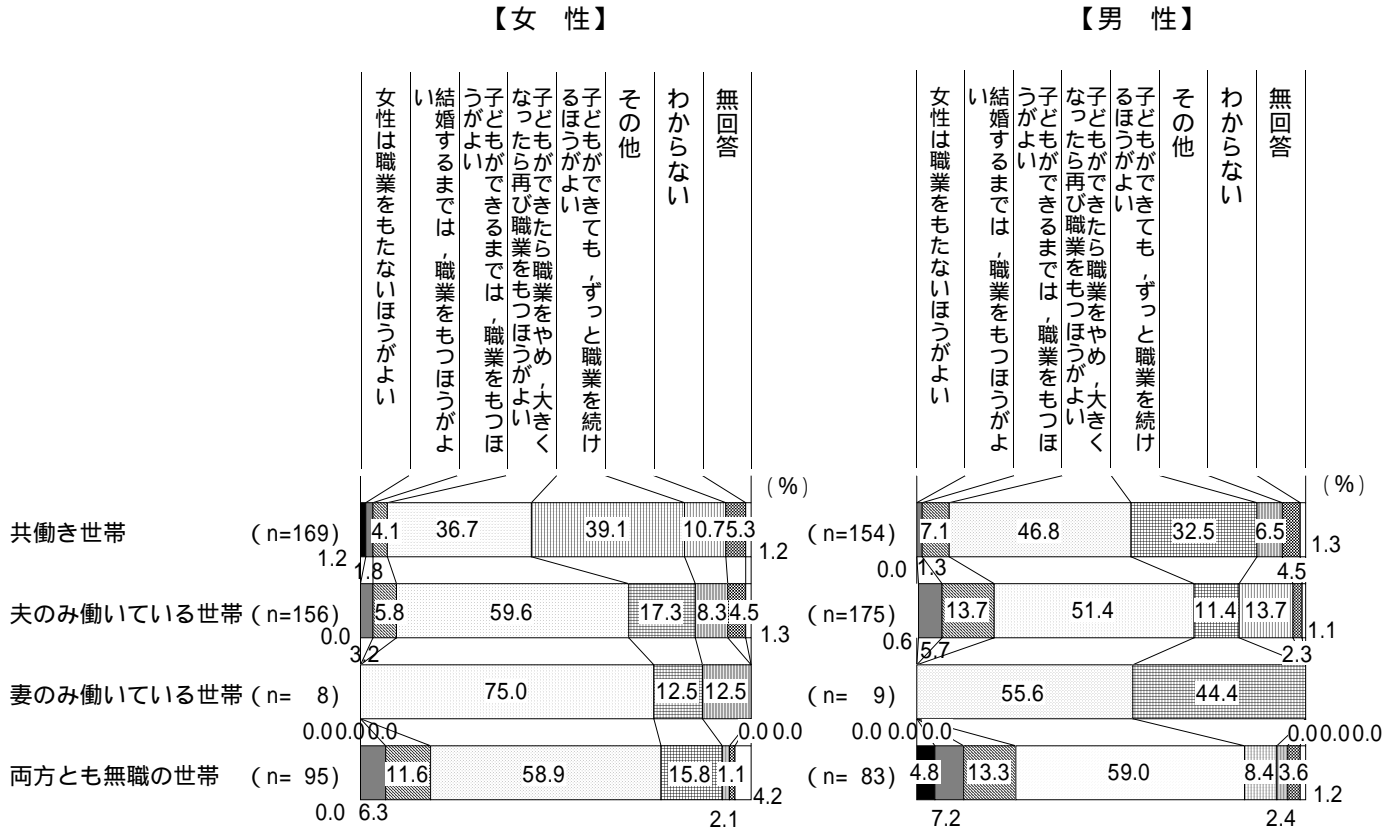
性・年代別でみると、女性では、いずれの年代も〔中途再就職型〕が多く、特に、60代は約6割と他の年代に比べて高くなっている。〔就業継続型〕は40～50代が3割前後で高く、〔無職型〕と〔結婚退職型〕、〔出産退職型〕の合計は、70代で2割台半であるが、その他の年代では1割前後となっている。男性でも、〔無職型〕と〔結婚退職型〕、〔出産退職型〕の合計は年代が上がるほど増加する傾向にあり、70代で約3割となる。しかしその一方で、各年代で多くを占める〔中途再就職型〕については、20代が6割を超え最も高く、60～70代の高年齢層では約6割と高い。また、〔就業継続型〕は30～50代で2割台となっている。

<図表1-5> 女性が職業をもつことについての考え/性・年代別



世帯の就労状況・性別でみると、女性・男性ともに、いずれの世帯でも〔中途再就職型〕が多くなっているものの、共働き世帯の女性では3割台にとどまり、共働き世帯の男性でも4割台と、他の世帯に比べて低くなっている。逆に、この世帯では〔就業継続型〕が3割を超え、他の世帯との意識差がみられる。

<図表1-6> 女性が職業をもつことについての考え / 世帯の就労状況・性別



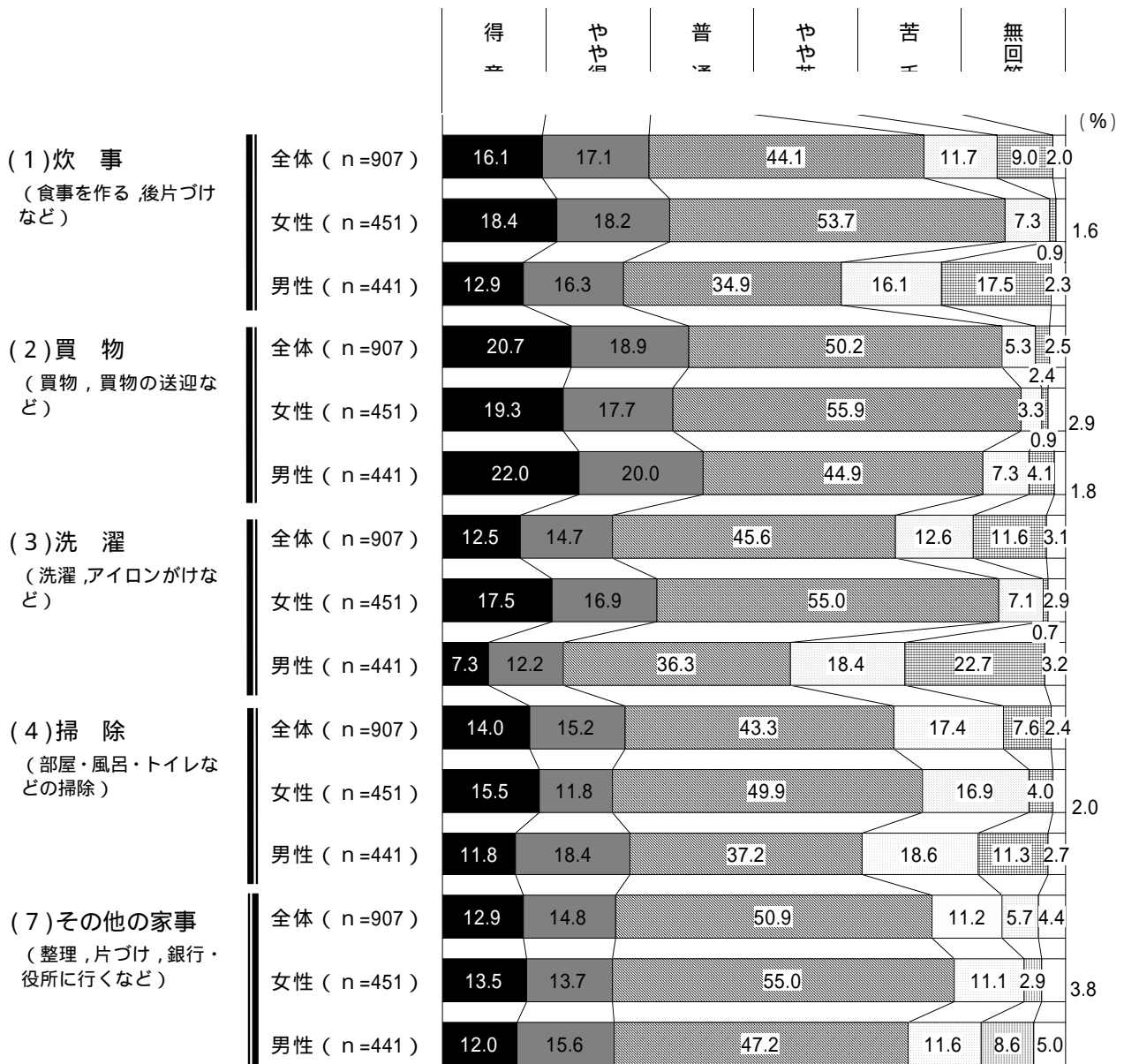
## 2. 家事に対する意識について

### (1) 家事などの得手不得手

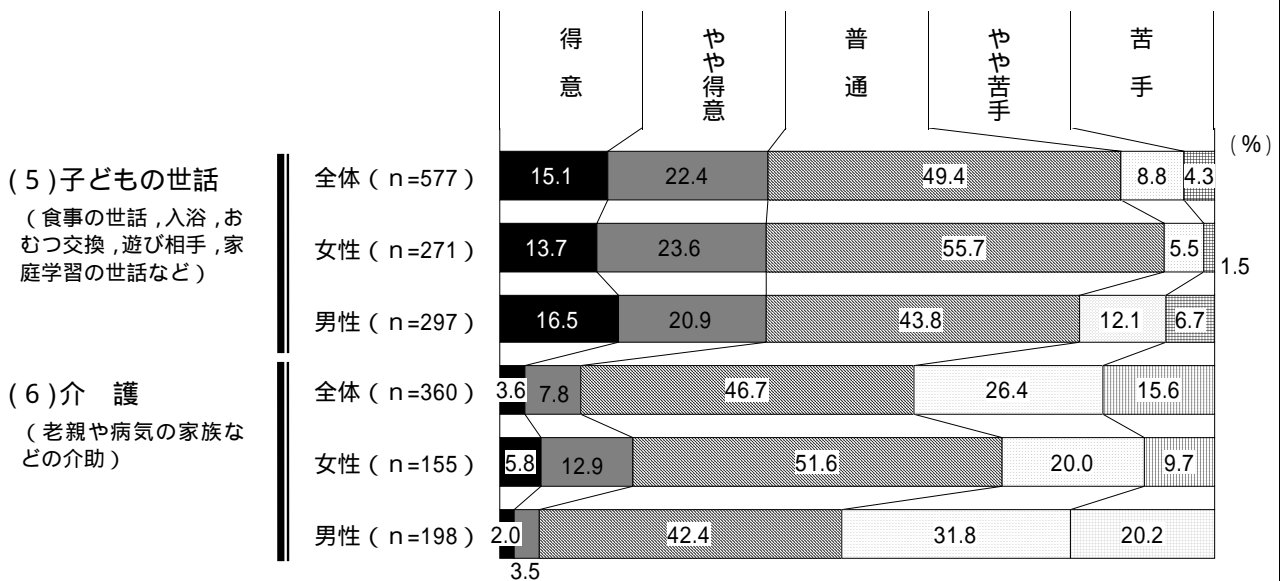
問3 あなたは、家事や育児などをどの程度できますか。次の(1)から(7)のそれぞれについてお答えください。(それぞれは1つ)

なお、(5)と(6)については、対象がない場合は「6」をつけてください。

<図表2-1> 家事などの得手不得手



<図表2-2> 家事などの得手不得手



(5) 子どもの世話と(6) 介護は, 「該当なし」と「無回答」を除いて算出している。  
(以降同様)

家事や育児などを7つに分け, それらがどの程度できるかをたずねた。この設問では, まず, 個々の家事について述べ, 最後にまとめてみることにする。なお, 以下では, 「得意」と「やや得意」を合計して『得意』, 「やや苦手」と「苦手」を合計して『苦手』とあらわす。

また, 《子どもの世話》と《介護》については, 他の家事等とは異なり, 「該当なし」があることから, 図を分けて掲載している。

### (1) 炊事

全体では, 「普通」(44.1%) が最も多く, 『得意』(33.2%), 『苦手』(20.7%) となっている。

性別では, 「普通」(女性: 53.7% 男性: 34.9%) では, 女性が半数を超え, 男性よりも約 19 ポイント高く, 逆に, 『苦手』(女性: 8.2% 男性: 33.6%) では, 男性がおおよそ 3 割台半ばと, 女性に比べて 25 ポイント高くなっている。

### (2) 買物

全体では, 「普通」(50.2%) が最も多く, 『得意』(39.6%), 『苦手』(7.7%) となっている。

性別では, 女性・男性ともに全体の傾向と大きな違いがみられないが, 男性では他の家事に比べ『得意』が一番多く, 逆に『苦手』が一番少なくなっている。

### (3) 洗濯

全体では, 「普通」(45.6%) が最も多く, 『得意』(27.2%) と『苦手』(24.2%) がほぼ同じ割合になっている。

性別では, 「普通」(女性: 55.0% 男性: 36.3%) は, 女性が半数を超え, 男性よりも約 19 ポイント高い。女性では『得意』(34.4%) がおおよそ 3 割台半ばであるのに対し, 男性は『苦手』(41.1%) が多くを占めるなど, 得手・不得手意識の差が明確にみられる。特に, 男性では, 「普通」よりも『苦手』が多くなっている。



#### (4) 掃除

全体では、「普通」(43.3%)が最も多く、「得意」(29.2%)と「苦手」(25.0%)がほぼ同じ割合になっている。

性別では、「得意」(女性：27.3% 男性：30.2%)は性別による大きな差はみられないものの、「普通」(女性：49.9% 男性：37.2%)は、女性で半数に近く、男性よりも約13ポイント高くなっている。逆に、「苦手」(女性：20.9% 男性：29.9%)は、男性が9ポイント高くなっている。

#### (7) その他の家事

設問の設計上、順序を繰り返して述べるが、全体では、「普通」(50.9%)が最も多く、「得意」(27.7%)、「苦手」(16.9%)となっている。

性別では、女性・男性ともに全体の傾向と大きな違いはみられない。

#### (5) 子どもの世話

全体では、「普通」(49.4%)、「得意」(37.5%)、「苦手」(13.1%)となっている。

性別では、女性・男性ともに全体の傾向と大きな違いはみられない。

#### (6) 介護

全体では、「普通」(46.7%)と「苦手」(42.0%)がほぼ同じ割合となっている。

性別では、「普通」(女性：17.7% 男性：19.0%)で特に大きな差はみられないが、「得意」(女性：18.7% 男性：5.5%)で、男性の方が約13ポイント低く、「苦手」(女性：29.7% 男性：52.0%)で、男性の方が約22ポイント高くなっている。

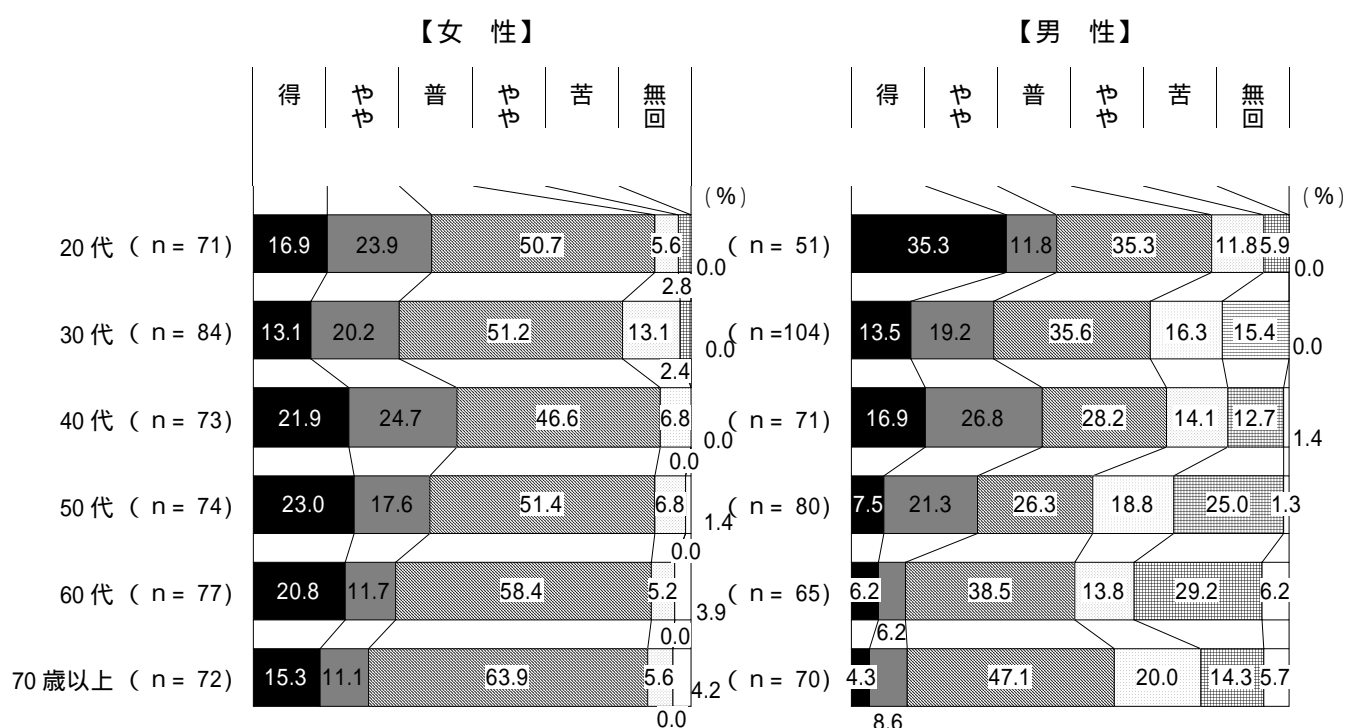
最後にまとめてみると、《炊事》と《洗濯》、《掃除》、《介護》においては、女性と男性の得手・不得手意識に違いがみられ、中でも、《洗濯》については、「苦手」が男性で4割を超えるのに対し、女性では1割弱と、その差が大きくなっている。なお、男性では《洗濯》(41.1%)《炊事》(33.6%)、《掃除》(29.9%)の順に「苦手」意識が高くなっているが、逆に、《掃除》(30.2%)、《炊事》(29.2%)では、「得意」と回答した人も3割前後となっている。また、《買物》では、「得意」と回答した人が4割以上となっている。

(1) 炊事

性・年代別でみると、『得意』が、女性・男性ともに20代と40代で他の年代に比べて高くなっている。なお、20代は男性では、『得意』が5割近くとなっており、『得意』(35.3%)が、女性・男性の各年代の中で最も高くなっている。

女性では、『普通』が各年代で多数を占めているが、男性の場合は、女性に比べて得手不得手ははっきりとしており、特に、50~60代で『苦手』が4割を超えている。

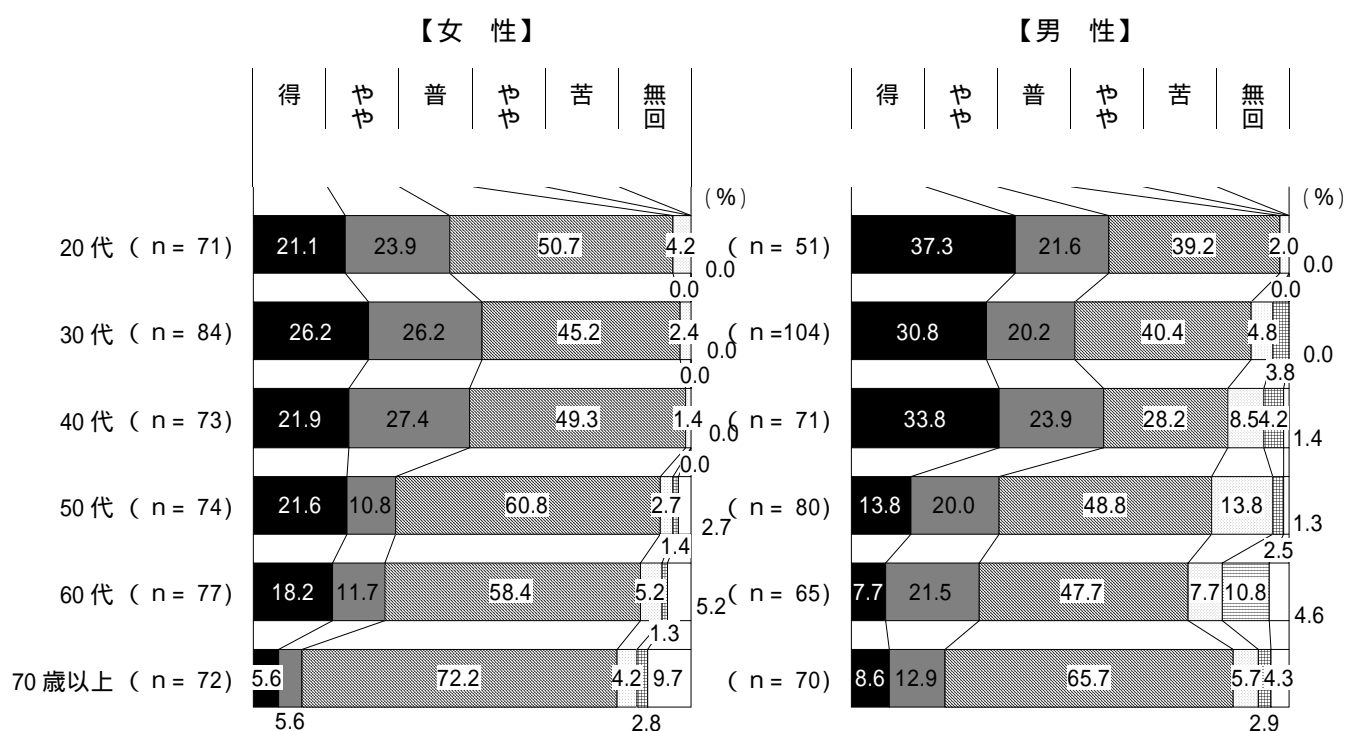
<図表2-3> 家事などの得手不得手(炊事) / 性・年代別



(2) 買物

性・年代別でみると、『得意』が、女性・男性ともに20～40代で高く、これらの年代では、いずれも男性の方が女性よりも「得意」と回答している割合が高くなっている。また、女性・男性ともに50代以上では「普通」が増え、『得意』が減少する傾向にある。

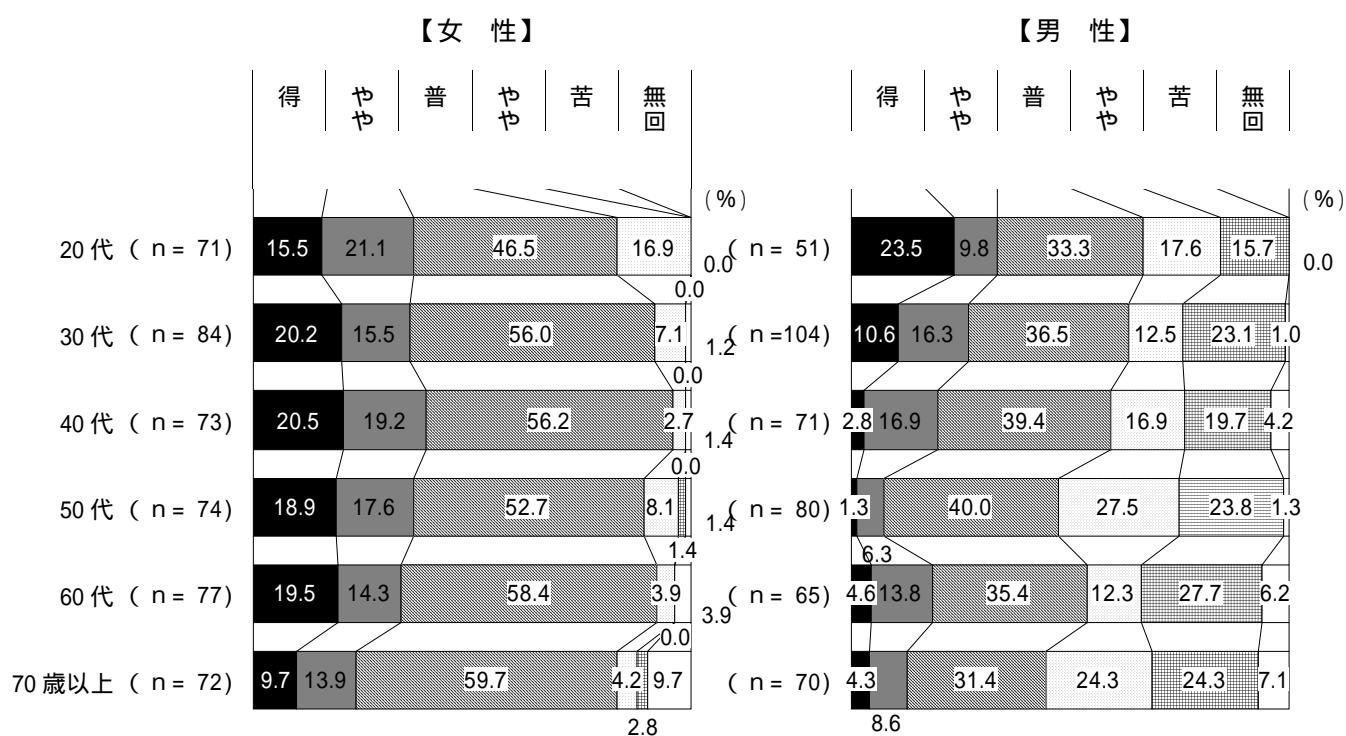
<図表2-4> 家事などの得手不得手（買物）/性・年代別



(3) 洗濯

性・年代別でみると、女性では、各年代でおおむね得手・不得手の傾向が類似しているが、男性では、『得意』が20代で3割を超え最も高く、年代が上がるほど減少し、逆に、『苦手』が増える傾向がみられる。

<図表2-5> 家事などの得手不得手(洗濯) / 性・年代別

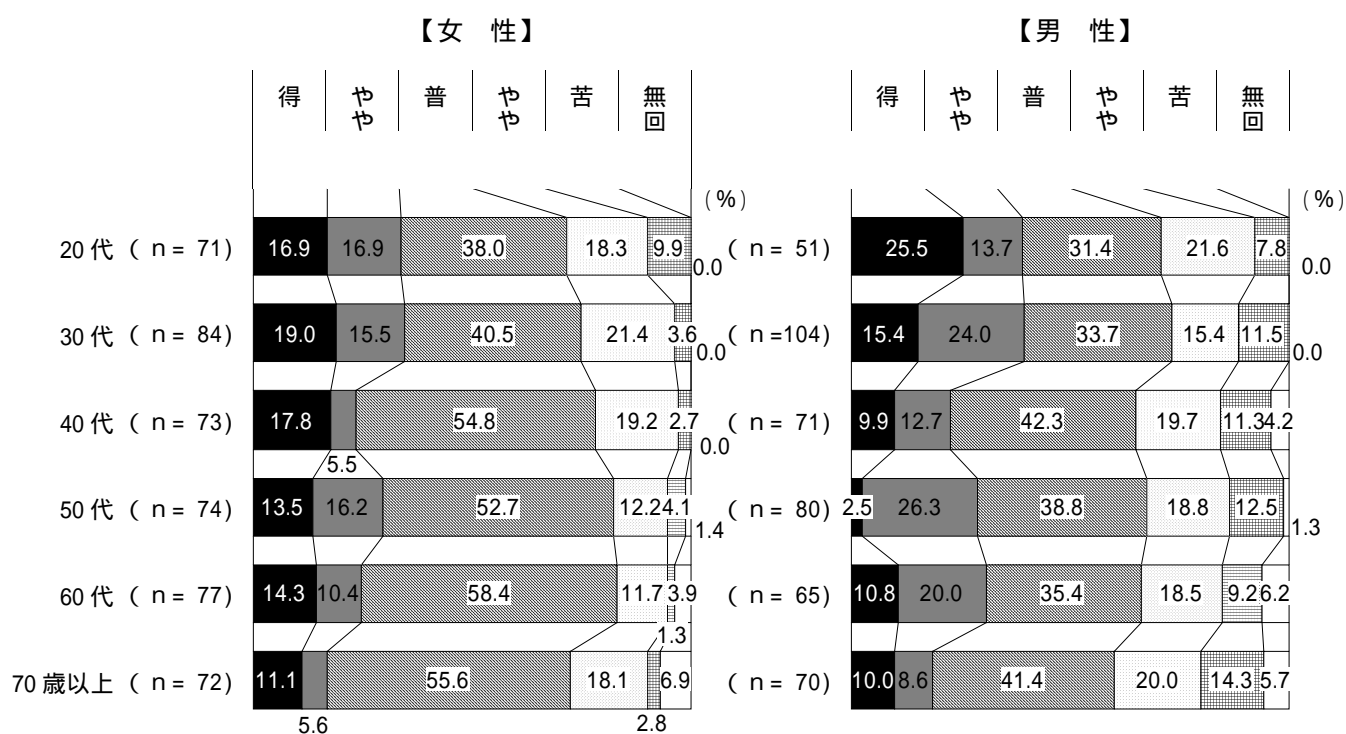


(4) 掃除

性・年代別でみると、『得意』は、女性・男性ともに20～30代で、それ以上の年代より高い傾向にあり、その割合は、男性の方が女性よりも高くなっている。

なお、男性では、各年代で一様に『苦手』が3割前後となっている。

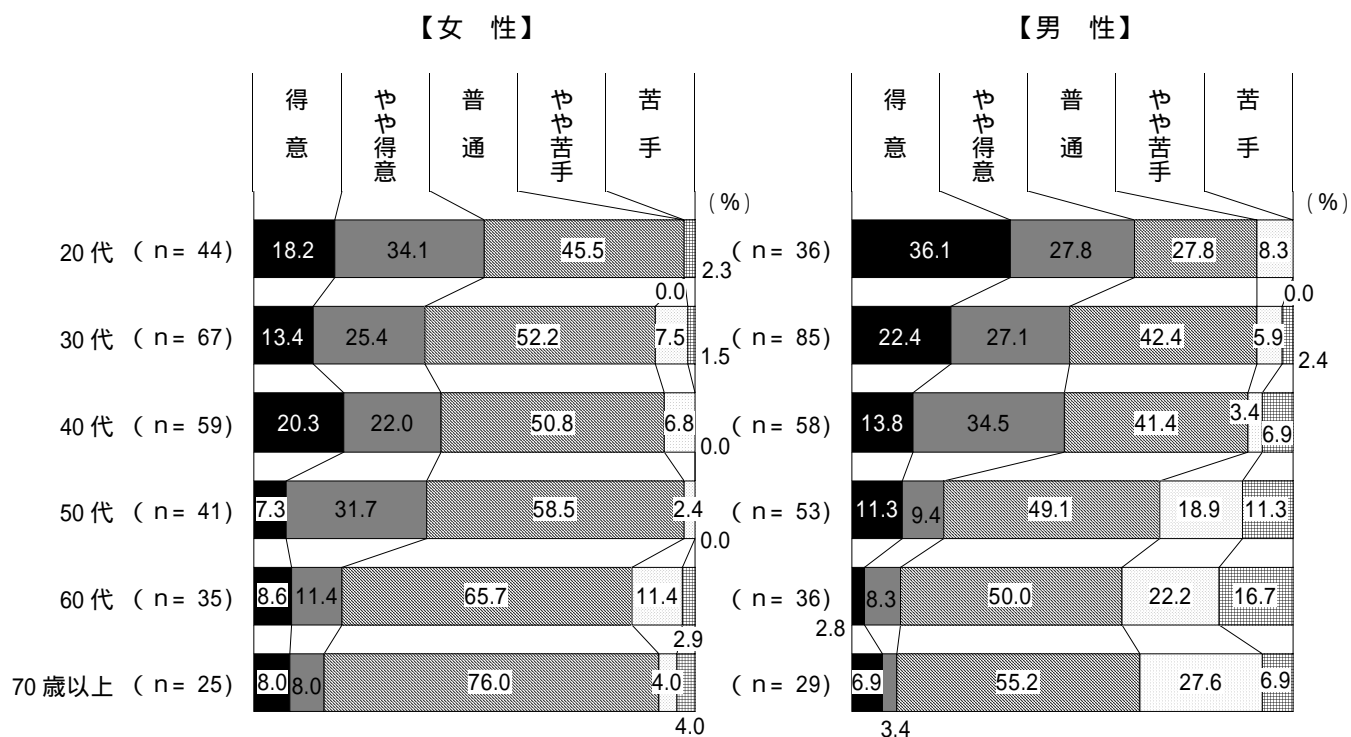
<図表2-6> 家事などの得手不得手（掃除）/性・年代別



(5) 子どもの世話

性・年代別については、『得意』は20～40代でその割合が高く、男性の方が女性よりも高くなっている。また、50代以上の女性では「普通」が増え、『得意』が減少する傾向にある。『苦手』は50代以上の男性で高くなっている。

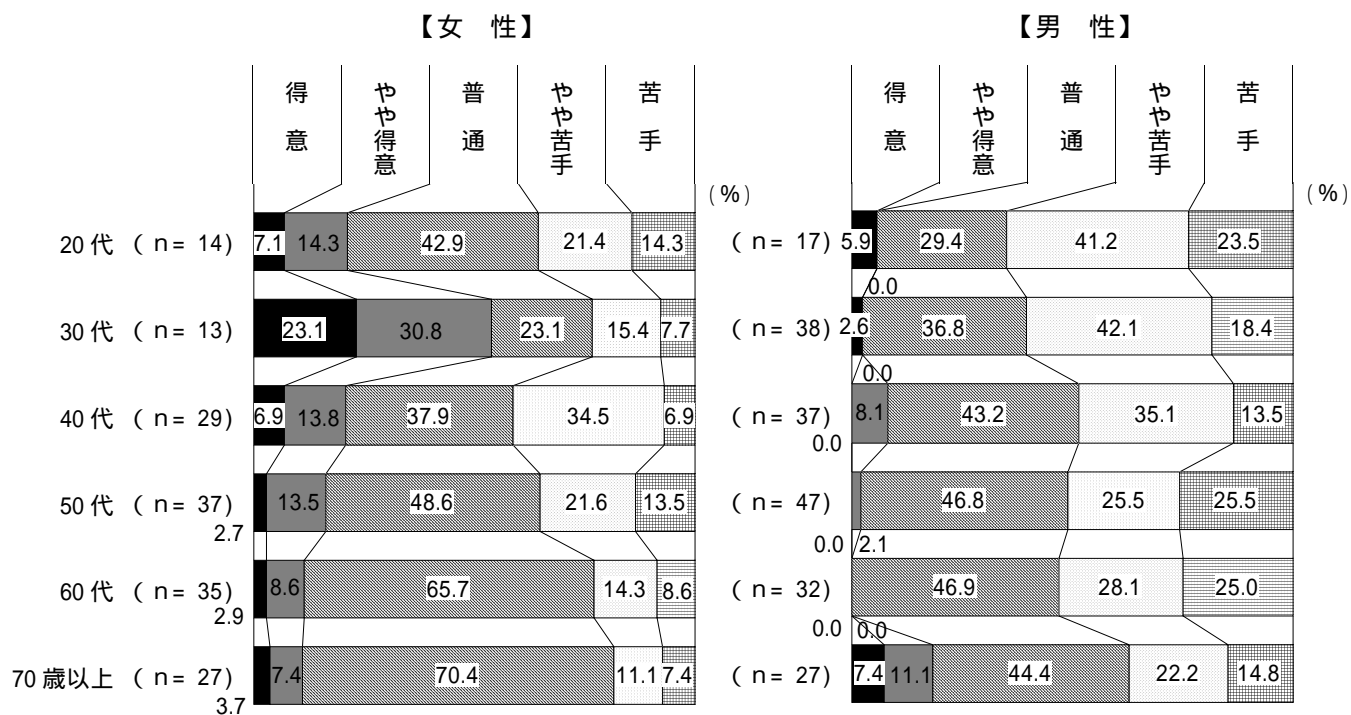
<図表2-7> 家事などの得手不得手(子どもの世話) / 性・年代別



(6) 介護

性・年代別については、該当者の多い40代以上について述べることにするが、女性・男性ともに『苦手』は、それぞれの年代で男性の方が女性よりも高くなっている。

<図表2-8> 家事などの得手不得手（介護）/性・年代別

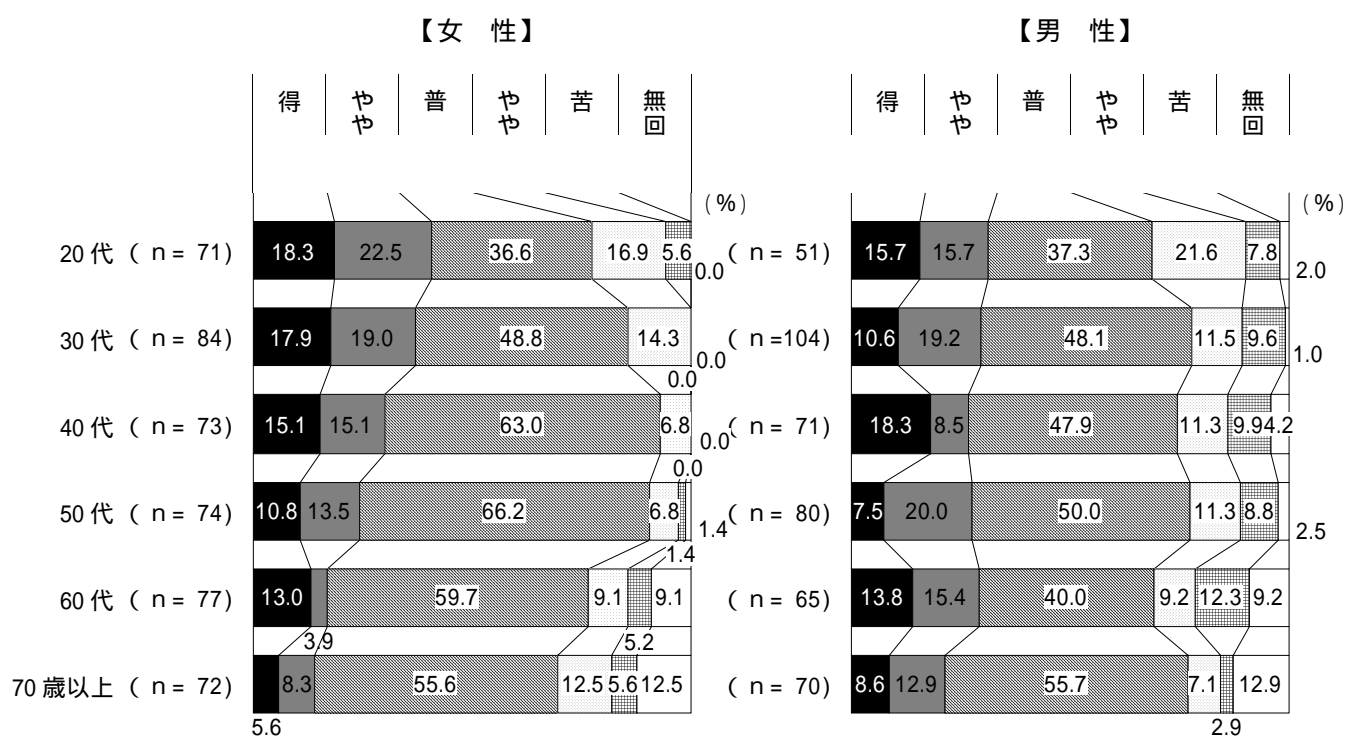


(7) その他の家事

性・年代別で見ると、女性では、『得意』は20代で4割を超え、他の年代に比べて最も高く、年代が上がるほど減少している。

一方、男性では、『得意』に年代による大きな差はみられないが、『苦手』が20代で約3割と、他の年代に比べて高くなっている。

<図表2-9> 家事などの得手不得手(その他の家事) / 性・年代別





### 3. 家事時間や役割分担などについて

\* この調査で「家事」とは、「炊事」、「買物」、「洗濯」、「掃除」、「子どもの世話（食事の世話，入浴，おむつ交換，遊び相手，家庭学習の世話など）」、「介護（老親や病気の家族などの介助）」、「その他の家事（整理，片づけ，銀行・役所に行くなど）」をいう。

本調査では，【平日】【土曜日】【日曜日】ごとに，「炊事」「買物」「子どもの世話」など7つの項目それぞれについて行った時間を分単位で記入していただくとともに，各項目の時間を加算して「合計欄」に記載していただいた。

7つの項目それぞれの平均時間は，いずれも，「無回答」（解答欄が空欄のもの）を除き，記入していただいた時間の平均で算出している。また，「1日あたりの家事時間」については，「無回答」（解答欄が空欄のもの）を除き，合計欄に記入していただいた時間の平均値となっているため，7つの項目の平均時間を合算したものと「1日あたりの家事時間」は一致しない。そのため，「1日あたりの家事時間」は7つの項目と図表を分けて掲載することとした。

また，《子どもの世話》と《介護》については，「該当」の有無をたずね，該当する方のみ時間に記入していただいている点で他の家事と異なっていることから，これについても図表を分けて掲載している。

#### (1) 1日あたりの家事時間

<図表3-1> 平均家事時間〔1日あたりの家事時間〕

		【平日】		【土曜日】		【日曜日】	
		n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)
1日あたりの家事時間	全体	827	264.18	801	304.64	798	317.38
	女性	403	434.81	388	431.57	384	423.12
	男性	412	97.58	400	181.46	401	213.56

平均時間は，「無回答」（解答欄が空欄のもの）を除き，記入していただいた時間の平均で算出している。  
(以降同様)

1日あたりの家事時間では，【平日】に比べて，【土曜日】と【日曜日】の平均時間が長くなっており，【平日】が約264分であるのに対して，【土曜日】と【日曜日】は，300分を超えている。

性別で見ると，【平日】，【土曜日】，【日曜日】の全てにおいて女性の方が男性よりも平均時間が長くなっており，【平日】(女性：434.81分 男性：97.58分)で約337分の差があるが，【土曜日】(女性：431.57分 男性：181.46分)では約250分差に縮まり，さらに，【日曜日】(女性：423.12分 男性：213.56分)では約210分へと縮まる。

次に，【平日】，【土曜日】，【日曜日】ごとに，回答者の世帯の就労状況及び就業時間との関係でその傾向をみていくこととする。なお，世帯の就労状況が夫のみ働いている世帯の女性は，その本人が専業主婦，夫のみ働いている世帯の男性は，夫本人であることになる。

また，世帯の就労状況が妻のみ働いている世帯など，回答数の少ないものは，参考までに掲載するにとどめる。

## 平 日

世帯の就労状況・性別にみると，【平日】では，夫のみ働いている世帯の女性と両方とも無職の女性で，平均家事時間は長い傾向にあり，夫のみ働いている世帯の女性は約562分，両方とも無職の女性で約395分，共働き世帯の女性でも約343分と長くなっている。一方，男性では，夫のみ働いている世帯（67.82分），共働き世帯（96.54分），両方とも無職の世帯（161.2分）と，いずれも女性に比べ短くなっている。

就業時間・性別にみると，女性・男性とも，就業時間が6時間未満の方が6時間以上より概ね家事時間は長くなっている。特に，就業時間が6時間以上の女性とそれ未満の女性では，家事時間の差は約174分ある。

また，共働き世帯の男性の家事時間は，配偶者の就業時間が6時間以上の方が6時間未満より約41分長くなっている。

## 土 曜 日

世帯の就労状況・性別にみると，【土曜日】では，平日の結果と同様に，夫のみ働いている世帯の女性が約500分と，最も長くなっている。

就業時間・性別にみると，女性では6時間未満と6時間以上とで，【平日】に比べ家事時間の大きな差はみられず，差が約48分と縮まっている。

共働き世帯の男性の家事時間は，配偶者の就業時間が6時間以上の方も6時間未満の方も，共に【平日】に比べ家事時間は長くなっている。

## 日 曜 日

世帯の就労状況・性別にみると，【日曜日】については，【平日】，【土曜日】と同様，夫のみ働いている世帯の女性が約490分と最も長くなっている。なお，夫のみ働いている世帯の女性と，両方とも無職の女性で，【平日】，【土曜日】，【日曜日】の順に平均時間が減少しているのに対し，共働き世帯の女性では，逆に増加している。

就業時間・性別にみると，【土曜日】と同様の傾向がみられる。6時間以上の男性では約229分で，約4時間家事と【平日】，【土曜日】に比べて長い。

共働き世帯の男性の家事時間は，配偶者の就業時間が6時間以上と6時間未満とで，差が約20分と縮まっている。

< 図表3 - 2 > 平均家事時間〔1日あたりの家事時間〕 / 世帯の就労状況・性別

			【平日】		【土曜日】		【日曜日】	
			n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)
世帯の 就労 状況 別	共働き世帯	女性	161	342.87	159	419.60	158	421.58
	夫のみ働いている世帯		148	561.66	143	500.45	140	489.85
	妻のみ働いている世帯		6	433.33	6	440.00	6	423.33
	両方とも無職の世帯		72	394.72	64	324.69	65	301.77
	共働き世帯	男性	145	96.54	145	191.03	145	228.56
	夫のみ働いている世帯		169	67.82	165	190.12	166	232.34
	妻のみ働いている世帯		9	164.33	7	201.43	7	199.29
	両方とも無職の世帯		75	161.20	69	155.29	69	153.77

< 図表3 - 3 > 平均家事時間〔1日あたりの家事時間〕 / 就業時間・性別

			【平日】		【土曜日】		【日曜日】	
			n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)
就業 時間	6時間未満	女性	64	452.97	63	449.68	63	443.10
	6時間以上		102	278.84	101	402.10	99	409.60
	6時間未満	男性	15	82.67	14	173.57	14	174.29
	6時間以上		297	77.62	294	187.34	295	229.32

< 図表3 - 4 > 共働き世帯・男性の平均家事時間〔1日あたりの家事時間〕  
/ 配偶者の就業時間別

			【平日】		【土曜日】		【日曜日】	
			n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)
就業 時間 別	共働き世帯・ 男性	配偶者 6時間未満	46	64.78	46	134.46	46	209.13
		配偶者 6時間以上	97	105.47	97	209.57	97	229.94

〔参考〕

本市では、平成16年に策定した「男女共同参画せんだいプラン2004」において、男性の1日平均家事時間の30分増加を目標値として設定している。

同プランにおいては、男性の1日平均家事時間の現況値として、「社会生活基本調査」(平成13年度総務省)の調査結果を採用しているが、本市の調査とは、以下のように、調査方法や集計方法が大きく異なっていることから、今回の家事時間の集計結果と「社会生活基本調査」の結果を比較することは妥当ではないと考える。

< 図表3 - 5 > 社会生活気泡調査と本調査との調査方法の比較

	社会生活基本調査	本調査
対象者	15歳以上の国民	20歳以上の男女(有配偶者)
調査した家事の項目	「家事」「介護・看護」 「育児」「買物」	「炊事」「買物」「洗濯」「掃除」 「子どもの世話」「介護」 「その他の家事」
調査票の記載・集計方法	図表形式の調査票に15分単位で線等で記入 * 同時に2つ以上を行った場合は、重複しないよう主なものについて記載 * 生活時間の合計が24時間を超えないよう集計	行った時間を分単位で記入し、合計欄に各項目の時間を合算して記入 * 合計欄の時間は延べ時間となる

(2) 1日あたりの家事時間〔炊事・買物・洗濯・掃除・その他の家事〕

問4 あなたの1日の家事時間を，次の(1)から(7)までの項目に分けた場合，1日あたり平均何分ぐらい時間をかけていますか。【平日】と【土曜日】，【日曜日】に分けて，おおよその時間を分単位でご記入ください。(該当しない場合は「0」と記入してください)

なお，(5)と(6)については，選択肢の「2」をお答えの方のみ時間を記入してください。

<図表3-6> 平均家事時間〔炊事・買物・洗濯・掃除・その他の家事〕

		【平日】		【土曜日】		【日曜日】	
		n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)
(1)炊事	全体	878	73.24	859	74.75	858	74.44
	女性	442	125.58	433	122.86	431	120.81
	男性	423	18.85	413	24.33	414	26.10
(2)買物	全体	866	35.42	844	52.68	839	58.74
	女性	433	51.65	423	58.38	418	60.90
	男性	421	18.87	409	46.82	408	56.20
(3)洗濯	全体	859	30.60	838	31.13	835	30.86
	女性	434	52.13	420	50.29	418	48.86
	男性	414	7.92	406	11.30	404	12.14
(4)掃除	全体	866	30.55	842	32.43	845	31.22
	女性	436	50.36	421	48.10	419	42.79
	男性	420	9.28	409	15.88	413	19.00
(7)その他の家事	全体	820	32.85	775	25.38	776	24.56
	女性	406	49.27	378	33.97	372	30.66
	男性	403	16.22	386	16.39	392	18.04

性別で見ると，【平日】，【土曜日】，【日曜日】の全てにおいて，5つの家事及び合計で女性の方が男性よりも平均時間は長くなっており，特に，《炊事》での差が目立つ。また，【平日】の《洗濯》と《掃除》では，男性は10分に満たない。

女性では《買物》を除けば，【平日】，【土曜日】，【日曜日】の順で平均時間が減少しているのに対し，男性は【平日】，【土曜日】，【日曜日】の順で平均時間が増加している。

## 平 日

世帯の就労状況・性別でみると、【平日】では、夫のみ働いている世帯の女性と両方とも無職の世帯の女性で、平均時間は長い傾向がみられる。

就業時間・性別にみると、全ての家事において、女性・男性とも、就業時間が6時間未満の方が6時間以上より概ね平均時間は長くなっている。

共働き世帯の男性の家事時間は、《買物》を除き、配偶者の就業時間が6時間以上の方が6時間未満よりも長くなっている。

<図表3-7> 平均家事時間〔炊事・買物・洗濯・掃除・その他の家事〕【平日】  
/ 世帯の就労状況・性別

		炊事		買物		洗濯		
		n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)	
世帯の 就労 状況 別	共働き世帯	女性	168	111.19	166	42.17	168	47.72
	夫のみ働いている世帯		154	136.14	154	53.99	153	54.81
	妻のみ働いている世帯		8	101.25	7	72.86	7	38.57
	両方とも無職の世帯		91	139.67	87	61.84	86	54.56
	共働き世帯	男性	148	21.47	146	14.23	142	8.89
	夫のみ働いている世帯		172	7.33	172	10.99	172	3.81
	妻のみ働いている世帯		9	37.78	9	43.67	9	17.78
	両方とも無職の世帯		75	35.93	77	41.82	74	15.07

		掃除		その他の家事		
		n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)	
世帯の 就労 状況 別	共働き世帯	女性	167	35.90	162	37.78
	夫のみ働いている世帯		154	55.93	149	54.31
	妻のみ働いている世帯		7	55.71	7	88.57
	両方とも無職の世帯		88	63.52	71	61.27
	共働き世帯	男性	147	9.58	141	14.27
	夫のみ働いている世帯		172	3.93	167	8.11
	妻のみ働いている世帯		9	19.22	9	45.89
	両方とも無職の世帯		74	19.80	73	34.45

< 図表 3 - 8 > 平均家事時間〔炊事・買物・洗濯・掃除・その他の家事〕【平日】  
/ 就業時間・性別

			炊事		買物		洗濯	
			n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)
就業時間	6 時間未満	女性	70	137.93	69	59.06	69	59.64
	6 時間以上	女性	106	96.27	104	32.55	106	40.25
	6 時間未満	男性	14	10.71	14	20.00	14	12.14
	6 時間以上	男性	306	13.29	303	12.14	299	5.44

			掃除		その他の家事	
			n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)
就業時間	6 時間未満	女性	70	49.71	65	52.85
	6 時間以上	女性	104	28.27	103	31.70
	6 時間未満	男性	15	16.00	15	25.33
	6 時間以上	男性	304	5.93	292	10.14

< 図表 3 - 9 > 共働き世帯・男性の平均家事時間〔炊事・買物・洗濯・掃除・その他の家事〕【平日】  
/ 配偶者の就業時間別

			炊事		買物		洗濯	
			n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)
の配偶者の就業時間別	共働き世帯・男性	6 時間未満配偶者	46	7.93	46	17.07	45	3.67
		6 時間以上配偶者	100	26.30	98	12.89	95	10.93

			掃除		その他の家事	
			n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)
の配偶者の就業時間別	共働き世帯・男性	6 時間未満配偶者	48	9.58	46	12.61
		6 時間以上配偶者	97	9.77	93	15.02

## 土曜日

【土曜日】では，《炊事》は，夫のみ働いている世帯の女性と両方とも無職の世帯の女性で長い傾向にあるが，それ以外の家事では，共働き世帯の女性の平均時間が長くなっている。また，男性の《買物》では，世帯の就労状況に関わらず，他の家事の平均時間より長くなっており，夫のみ働いている世帯の男性でも50分台と比較的長くなっている。

就業時間・性別でみると，女性では6時間未満と6時間以上とで，【平日】に比べ平均時間の大きな差はみられない。

共働き世帯の男性の家事時間は，【平日】とは異なり，全ての家事で，配偶者の就業時間が6時間以上の方が6時間未満よりも長くなっている。

<図表3 - 10> 平均家事時間〔炊事・買物・洗濯・掃除・その他の家事〕【土曜日】  
/ 世帯の就労状況・性別

			炊事		買物		洗濯	
			n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)
世帯の 就労 状況 別	共働き世帯	女性	167	118.62	164	61.71	166	53.69
	夫のみ働いている世帯		152	125.66	151	57.48	150	49.00
	妻のみ働いている世帯		8	86.25	8	67.50	7	55.71
	両方とも無職の世帯		86	131.86	80	51.00	78	43.72
	共働き世帯	男性	146	29.16	144	40.35	143	13.03
	夫のみ働いている世帯		172	14.84	172	52.53	171	7.78
	妻のみ働いている世帯		7	39.29	7	62.86	7	27.14
	両方とも無職の世帯		69	36.74	69	45.51	69	16.67

			掃除		その他の家事	
			n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)
世帯の 就労 状況 別	共働き世帯	女性	165	53.24	157	35.80
	夫のみ働いている世帯		150	38.07	141	31.35
	妻のみ働いている世帯		7	71.43	6	50.00
	両方とも無職の世帯		80	50.88	58	34.14
	共働き世帯	男性	145	15.90	140	17.29
	夫のみ働いている世帯		172	13.55	165	14.00
	妻のみ働いている世帯		7	26.43	7	45.71
	両方とも無職の世帯		70	21.07	62	18.15



<図表3 - 11> 平均家事時間〔炊事・買物・洗濯・掃除・その他の家事〕【土曜日】  
/ 就業時間・性別

			炊事		買物		洗濯	
			n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)
就業時間	6時間未満	女性	69	125.80	67	62.84	67	56.72
	6時間以上		106	115.00	106	62.26	106	53.18
	6時間未満	男性	14	22.86	14	55.71	14	19.29
	6時間以上		304	20.61	302	47.00	299	9.37

			掃除		その他の家事	
			n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)
就業時間	6時間未満	女性	67	56.79	63	39.13
	6時間以上		105	52.81	99	34.65
	6時間未満	男性	14	37.14	14	25.71
	6時間以上		303	13.42	289	15.03

<図表3 - 12> 共働き世帯・男性の平均家事時間〔炊事・買物・洗濯・掃除・その他の家事〕【土曜日】  
/ 配偶者の就業時間別

			炊事		買物		洗濯	
			n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)
就業時間の 配偶者の 別	共働き世帯・ 男性	配偶者 6時間未満	46	17.72	46	33.80	46	4.57
		配偶者 6時間以上	98	33.88	96	43.39	95	16.14

			掃除		その他の家事	
			n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)
就業時間の 配偶者の 別	共働き世帯・ 男性	配偶者 6時間未満	47	12.23	46	14.67
		配偶者 6時間以上	96	17.60	92	18.59

## 日曜日

【日曜日】については、土曜日とおおむね同じ傾向がみられ、《炊事》は、夫のみ働いている世帯の女性と両方とも無職の世帯の女性で長い傾向にあり、それ以外では、共働き世帯の女性の平均家事時間が長い。

就業時間・性別では、【土曜日】と同様の傾向がみられる。

共働き世帯の男性の家事時間は、《買物》と《その他の家事》で、配偶者の就業時間が6時間未満の方が6時間以上よりも長くなっている。特に、《買物》については、その差が大きくなっている。

<図表3-13> 平均家事時間〔炊事・買物・洗濯・掃除・その他の家事〕【日曜日】

/ 世帯の就労状況・性別

			炊事		買物		洗濯	
			n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)
世帯の 就労 状況 別	共働き世帯	女性	166	117.95	164	63.14	165	54.48
	夫のみ働いている世帯		151	121.13	149	63.05	149	45.60
	妻のみ働いている世帯		8	83.75	7	60.00	6	36.67
	両方とも無職の世帯		86	130.12	78	48.72	79	41.52
	共働き世帯	男性	147	30.49	145	58.90	141	15.17
	夫のみ働いている世帯		172	17.90	172	59.62	171	8.63
	妻のみ働いている世帯		7	39.29	7	58.57	7	27.14
	両方とも無職の世帯		69	35.00	68	43.38	69	13.19

			掃除		その他の家事	
			n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)
世帯の 就労 状況 別	共働き世帯	女性	163	50.66	156	34.90
	夫のみ働いている世帯		149	33.46	138	28.99
	妻のみ働いている世帯		7	41.43	6	55.00
	両方とも無職の世帯		81	44.14	57	24.56
	共働き世帯	男性	147	21.67	142	18.66
	夫のみ働いている世帯		173	16.50	167	15.87
	妻のみ働いている世帯		7	28.57	7	45.71
	両方とも無職の世帯		69	20.14	63	20.56

< 図表3 - 14 > 平均家事時間【日曜日】 / 就業時間・性別

			炊事		買物		洗濯	
			n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)
就業時間	6時間未満	女性	69	125.36	68	61.62	67	54.93
	6時間以上		105	114.29	104	64.76	104	54.76
	6時間未満	男性	14	25.71	14	52.14	14	20.00
	6時間以上		305	22.89	302	59.72	297	10.72

			掃除		その他の家事	
			n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)
就業時間	6時間未満	女性	67	51.27	63	37.30
	6時間以上		103	50.19	97	33.81
	6時間未満	男性	15	30.67	14	30.71
	6時間以上		305	18.13	293	16.57

< 図表3 - 15 > 共働き世帯・男性の平均家事時間〔炊事・買物・洗濯・掃除・その他の家事〕【日曜日】  
/ 配偶者の就業時間別

			炊事		買物		洗濯	
			n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)
就業時間の 配偶者の 別	共働き世帯・ 男性	配偶者 6時間未満	46	24.46	45	68.67	46	4.57
		配偶者 6時間以上	99	32.68	98	54.39	45	10.67

			掃除		その他の家事	
			n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)
就業時間の 配偶者の 別	共働き世帯・ 男性	配偶者 6時間未満	47	15.11	98	24.85
		配偶者 6時間以上	98	24.85	94	19.31

(3) 1日あたりの家事時間〔子どもの世話・介護〕

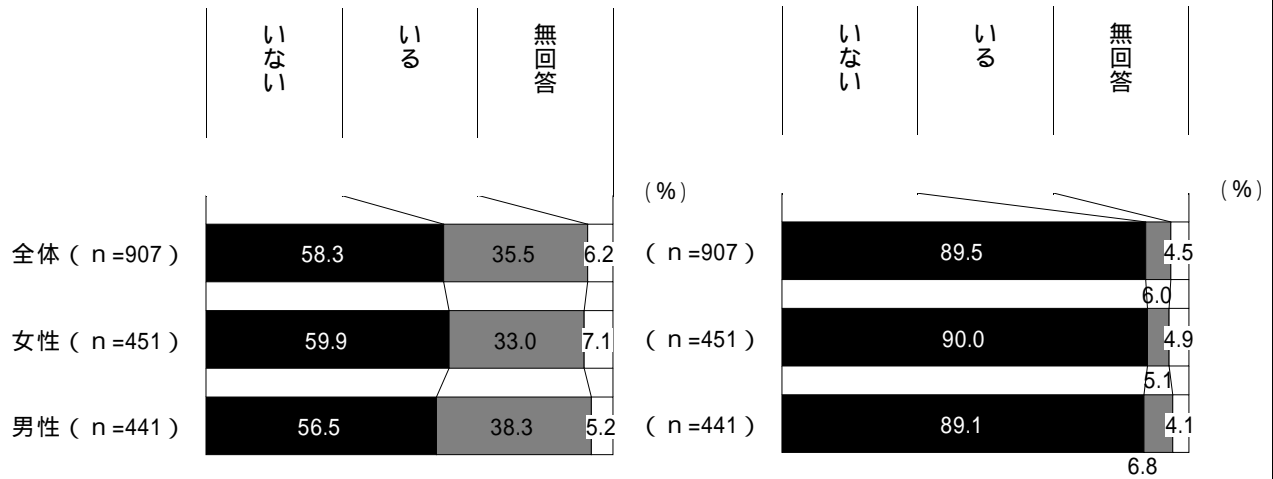
<図表3-16> 平均家事時間〔子どもの世話，介護〕

(5) 子どもの世話

(6) 介護

【育児に該当する子どもの有無】

【介護を必要とする家族の有無】



		【平日】		【土曜日】		【日曜日】	
		n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)
(5) 子どもの世話	全体	319	167.33	312	228.41	312	249.63
	女性	147	289.04	143	314.68	144	314.75
	男性	168	62.56	165	154.09	164	188.90
(6) 介護	全体	53	60.19	52	77.69	52	75.19
	女性	23	78.26	23	90.00	23	82.17
	男性	29	43.79	28	66.07	28	70.00

《子どもの世話》と《介護》については、該当する家族の有無をあらかじめたずね、該当する家族がいる方のみ回答している。

全体では、《子どもの世話》と《介護》の両方とも、おおむね【平日】に比べて、【土曜日】と【日曜日】の平均時間が長くなっている。特に、《子どもの世話》に関しては、【日曜日】で約250分と、【平日】と比べ約80分長くなっている。

性別で見ると、《子どもの世話》と《介護》の両方とも、【平日】、【土曜日】、【日曜日】の全てにおいて、女性の方が男性よりも平均時間は長くなっており、特に、【平日】は《子どもの世話》で約226分と差が大きくなっている。《子どもの世話》の男性の平均時間は、【日曜日】(188.9分)は【平日】(62.56分)の約3倍に増えている。

また、《介護》では、【日曜日】(女性：82.17分 男性：70.00分)で、女性と男性の差が約12分と小さくなっている。

平 日

《介護》は回答数が少ないので、参考までに掲載するにとどめ、《子どもの世話》について述べることにする。

世帯の就労状況・性別でみると、【平日】では、夫のみ働いている世帯の女性が約366分と最も長く、共働き世帯の女性でも約187分と3時間を超えている。一方、共働き世帯であっても、夫のみ働いている世帯であっても、男性は1時間前後にとどまっている。

就業時間・性別にみると、6時間未満の女性が約247分と長く、6時間以上の女性でも155分と2時間を超える。一方、6時間以上の男性は約1時間にとどまっている。

共働き世帯の男性の《子どもの世話》の時間は、配偶者の就業時間が6時間以上の方で約75分と、6時間未満が約34分であるのに比べ、約2倍となっている。

<図表3-17> 平均家事時間〔子どもの世話，介護〕【平日】/世帯の就労状況・性別

			子どもの世話		介護		
			n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)	
世帯の 就労 状況 別	共働き世帯	女性	56	186.52	11	46.36	
			夫のみ働いている世帯	82	366.02	4	112.50
			妻のみ働いている世帯	2	315.00	0	0
			両方とも無職の世帯	2	300.00	7	111.43
	共働き世帯	男性	68	66.10	8	6.25	
			夫のみ働いている世帯	96	59.53	8	3.75
			妻のみ働いている世帯	0	0	0	0
			両方とも無職の世帯	1	60.00	11	105.45

<図表3-18> 平均家事時間〔子どもの世話，介護〕【平日】/就業時間・性別

			子どもの世話		介護	
			n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)
就業 時間	6時間未満	女性	23	247.39	7	55.71
			6時間以上	33	155.30	4
	6時間未満	男性	3	16.67	1	30.00
			6時間以上	159	60.13	15

<図表3-19> 共働き世帯・男性の平均家事時間〔子どもの世話，介護〕【平日】  
/配偶者の就業時間別

			子どもの世話		介護	
			n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)
就業 時間 の 配偶 者 の 別	共働き世帯・ 男性	配偶者 6時間未満	23	33.70	4	7.50
		配偶者 6時間以上	43	75.35	4	5.00

## 土曜日

《介護》は回答数が少ないので、参考までに掲載するにとどめ、《子どもの世話》について述べることにする。

【土曜日】でも、夫のみ働いている世帯の女性は約346分と長くなっているが、【平日】に比べて、共働き世帯の男性、夫のみ働いている世帯の男性ともに、2時間半超と平均時間が長くなっている。

就業時間・性別にみると、6時間未満の女性が約338分、6時間以上の女性でも264分と、【平日】に比べて長くなっている。6時間以上の男性も約153分と、【平日】に比べて長く、2時間を超えている。

共働き世帯の男性の《子どもの世話》の時間は、配偶者の就業時間が6時間未満の男性が約79分、6時間以上の男性が約194分と、【平日】に比べて長くなっており、6時間以上の男性は6時間未満の男性に比べ、2倍以上となっている。

<図表3-20> 平均家事時間〔子どもの世話，介護〕【土曜日】/世帯の就労状況・性別

			子どもの世話		介護		
			n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)	
世帯の 就労 状況 別	共働き世帯	女性	53	289.25	11	46.36	
			夫のみ働いている世帯	81	345.91	4	210.00
			妻のみ働いている世帯	2	290.00	0	0
			両方とも無職の世帯	2	120.00	7	102.86
	共働き世帯	男性	68	158.90	8	66.25	
			夫のみ働いている世帯	93	153.66	8	26.25
			妻のみ働いている世帯	0	0	0	0
			両方とも無職の世帯	1	150.00	11	100.91

<図表3-21> 平均家事時間〔子どもの世話，介護〕【土曜日】/就業時間・性別

			子どもの世話		介護	
			n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)
就業 時間	6時間未満	女性	20	338.00	7	47.14
			6時間以上	33	264.55	4
	6時間未満	男性	3	50.00	1	30.00
			6時間以上	156	152.98	15

<図表3-22> 共働き世帯・男性の平均家事時間〔子どもの世話，介護〕【土曜日】  
/配偶者の就業時間別

			子どもの世話		介護	
			n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)
就業 時間 別	配偶者の 就業 時間 別	配偶者 6時間未満	24	78.54	4	127.50
		配偶者 6時間以上	42	193.81	4	5.00

## 日曜日

《介護》は回答数が少ないので、参考までに掲載するにとどめ、《子どもの世話》について述べることにするが、【日曜日】についても、共働き世帯の女性と夫のみ働いている世帯の女性は【土曜日】と同様の傾向にあるが、共働き世帯の男性、夫のみ働いている世帯の男性については、3時間前後と【土曜日】に比べても平均時間が長くなっている。

就業時間・性別にみると、【土曜日】と同様の傾向がみられ、全体的に平均時間は【平日】、【土曜日】よりも長くなっている。

共働き世帯の男性の《子どもの世話》の時間は、全体的に【平日】、【土曜日】よりも長くなっている。配偶者の就業時間が6時間以上の男性では約194分と、【土曜日】とほぼ同時間であるが、6時間未満の男性では約123分と多くなっている。

<図表3-23> 平均家事時間〔子どもの世話，介護〕【日曜日】/世帯の就労状況・性別

			子どもの世話		介護	
			n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)
世帯の 就労 状況 別	共働き世帯	女性	54	295.00	11	46.36
			81	342.15	4	165.00
			2	440.00	0	0
			2	135.00	7	102.86
	共働き世帯	男性	67	174.25	8	98.75
			93	202.42	8	11.25
			0	0	0	0
			1	180.00	11	98.18

<図表3-24> 平均家事時間〔子どもの世話，介護〕【日曜日】/就業時間・性別

			子どもの世話		介護	
			n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)
就業 時間	6時間未満	女性	21	350.95	7	51.43
		男性	3	60.00	1	30.00
	6時間以上	女性	33	273.33	4	37.50
		男性	155	188.65	15	56.67

図表3-25 共働き世帯・男性の平均家事時間〔子どもの世話，介護〕【日曜日】  
/配偶者の就業時間別

			子どもの世話		介護	
			n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)
の 就 業 時 間 別	共 働 き 世 帯 ・ 男 性	配偶者 6時間未満	24	122.71	4	127.5
		配偶者 6時間以上	41	193.90	4	70.00

今回の調査では、子どものいる方に、一番下の子どもの就学段階をたずねている。

その回答結果を分析の軸として、《子どもの世話》についてみると、乳児（2歳未満）、幼児（2歳以上小学校入学前）といった、小さな子どものいる方の時間は長く、【平日】、【土曜日】、【日曜日】順で平均時間が延びている。

< 図表 3 - 26 > 平均家事時間〔子どもの世話〕 / 子どもの状況別

		【平日】		【土曜日】		【日曜日】	
		n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)
子どもの 状況別	乳児（2歳未満）	90	315.88	89	369.65	88	378.51
	幼児（2歳以上小学校入学前）	121	161.57	119	252.14	119	284.92
	小学校1～3年生	40	48.75	40	99.50	40	130.25
	小学校4～6年生	34	52.50	31	65.97	32	64.22
	中学生	21	41.90	20	48.50	20	54.50
	高校、大学、大学院生（高専、短大、専門学校を含む）	7	53.57	7	70.71	7	83.57

《子どもの世話》について、小学生以下の子どもの状況・性別でみると、女性・男性ともに、乳児（2歳未満）、幼児（2歳以上小学校入学前）といった、小さな子どものいる方ほど時間は長く、男性では【平日】、【土曜日】、【日曜日】順で平均時間が延びている。

< 図表3 - 27 > 平均家事時間〔子どもの世話〕 / 子どもの状況・性別

		【平日】		【土曜日】		【日曜日】		
		n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)	n	平均時間 (分)	
子どもの 状況別	女性	乳児（2歳未満）	44	531.91	43	496.02	43	493.23
		幼児（2歳以上小学校入学前）	55	281.64	55	343.73	55	346.00
		小学校1～3年生	14	111.43	14	174.29	14	192.86
		小学校4～6年生	21	61.90	19	77.37	20	69.00
	男性	乳児（2歳未満）	46	109.24	46	251.52	45	268.89
		幼児（2歳以上小学校入学前）	66	61.52	64	173.44	64	232.42
		小学校1～3年生	26	15.00	26	59.23	26	96.54
		小学校4～6年生	13	37.31	12	47.92	12	56.25

子どもの就学段階で中学生以上については記載を省略している

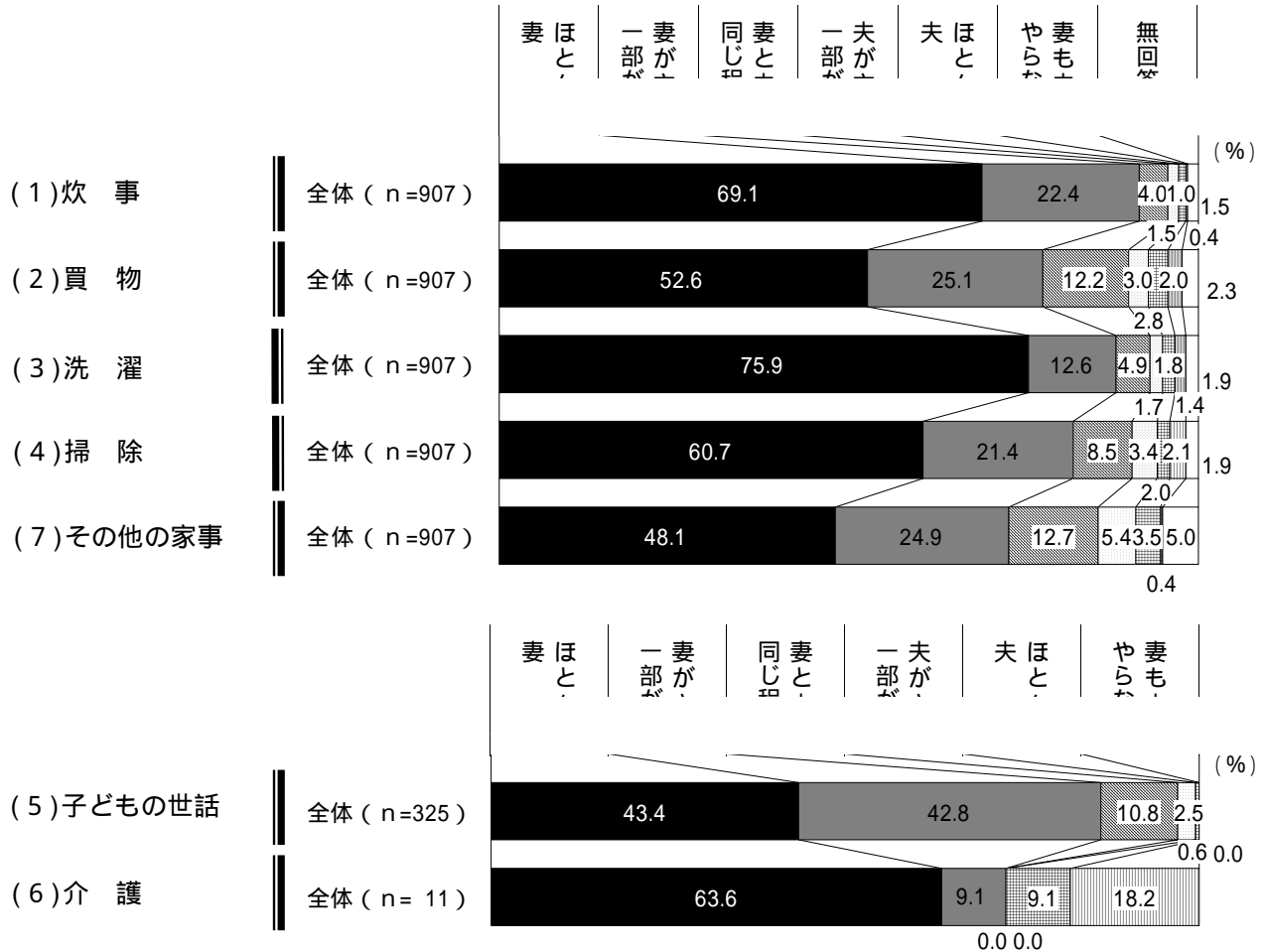


(4) 夫婦間の家事分担

問5 次の家事を夫婦間でどのように分担していますか。【平日】と【土曜日】、【日曜日】に分けて、次の(1)から(7)それぞれについてお答えください。

なお、(5)と(6)については、対象がない場合は「7」に、その他の家族が行なう場合は「6」に をつけてください。

<図表3-28> 夫婦間の家事分担【平日】



(5)子どもの世話と(6)介護は、「該当なし」と「無回答」を除いて算出している。(以降同様)

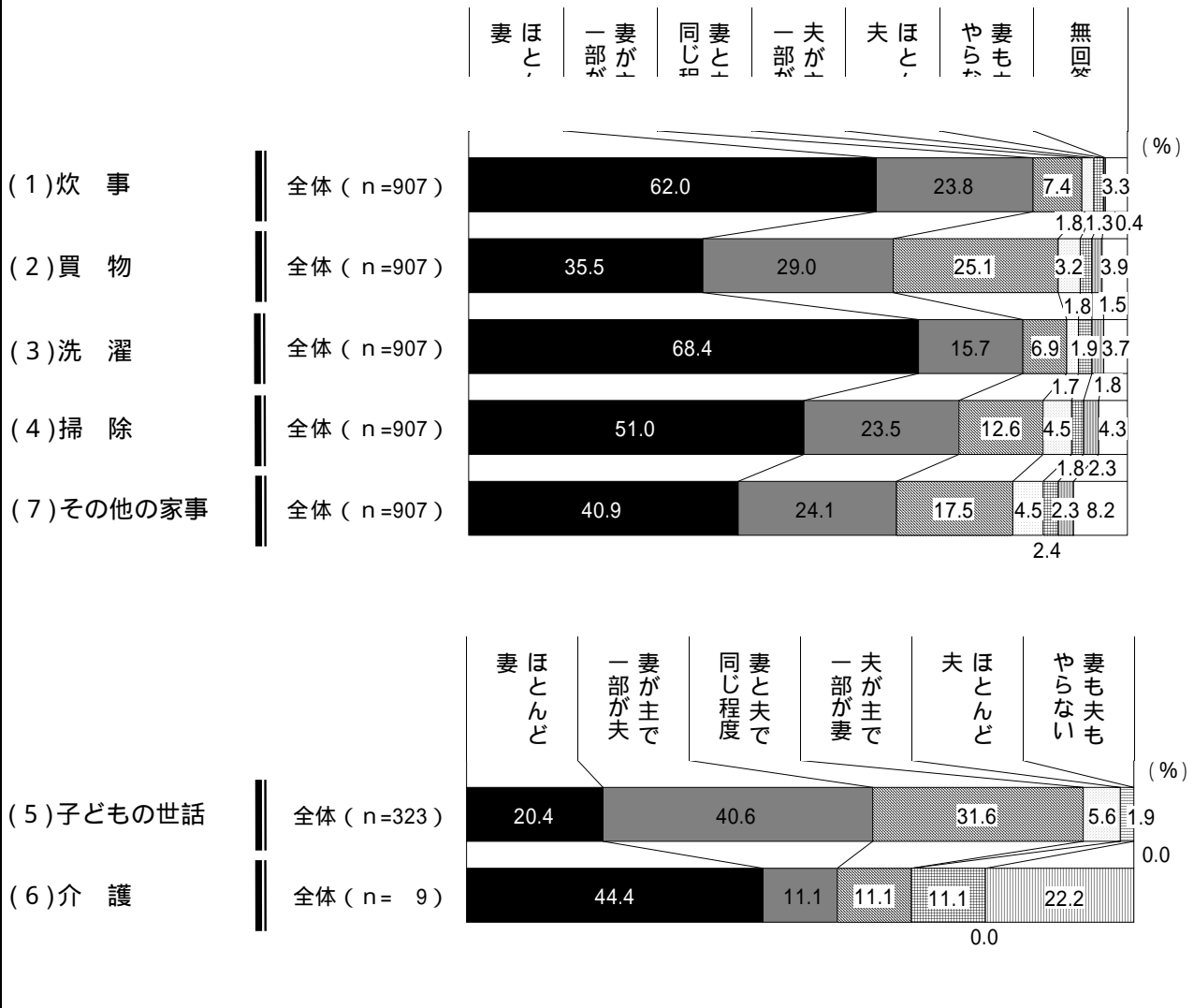
家事や育児などを7つに分け、それらがどの程度できるかをたずねた。

《子どもの世話》と《介護》については、他の家事等とは異なり、「該当なし」があることから、図を分けて掲載しており、また《介護》は回答数が少ないので、参考までに掲載するにとどめている。

【平日】では、全体的にみて、《炊事》、《買物》、《洗濯》、《掃除》、《その他の家事》については、「ほとんど妻」と「妻が主で一部が夫」の割合が多くなっており、『妻』の役割が大きくなっている。「妻と夫で同じ程度」が1割を超えるものをあげると、《買物》と《その他の家事》の2つとなっている。

《子どもの世話》では、他の家事と同様に『妻』の役割が大きいことは変わらないが、「ほとんど妻」と「妻が主で一部が夫」がそれぞれ約4割とほぼ同率であり、『夫』も参画していることがうかがえる。

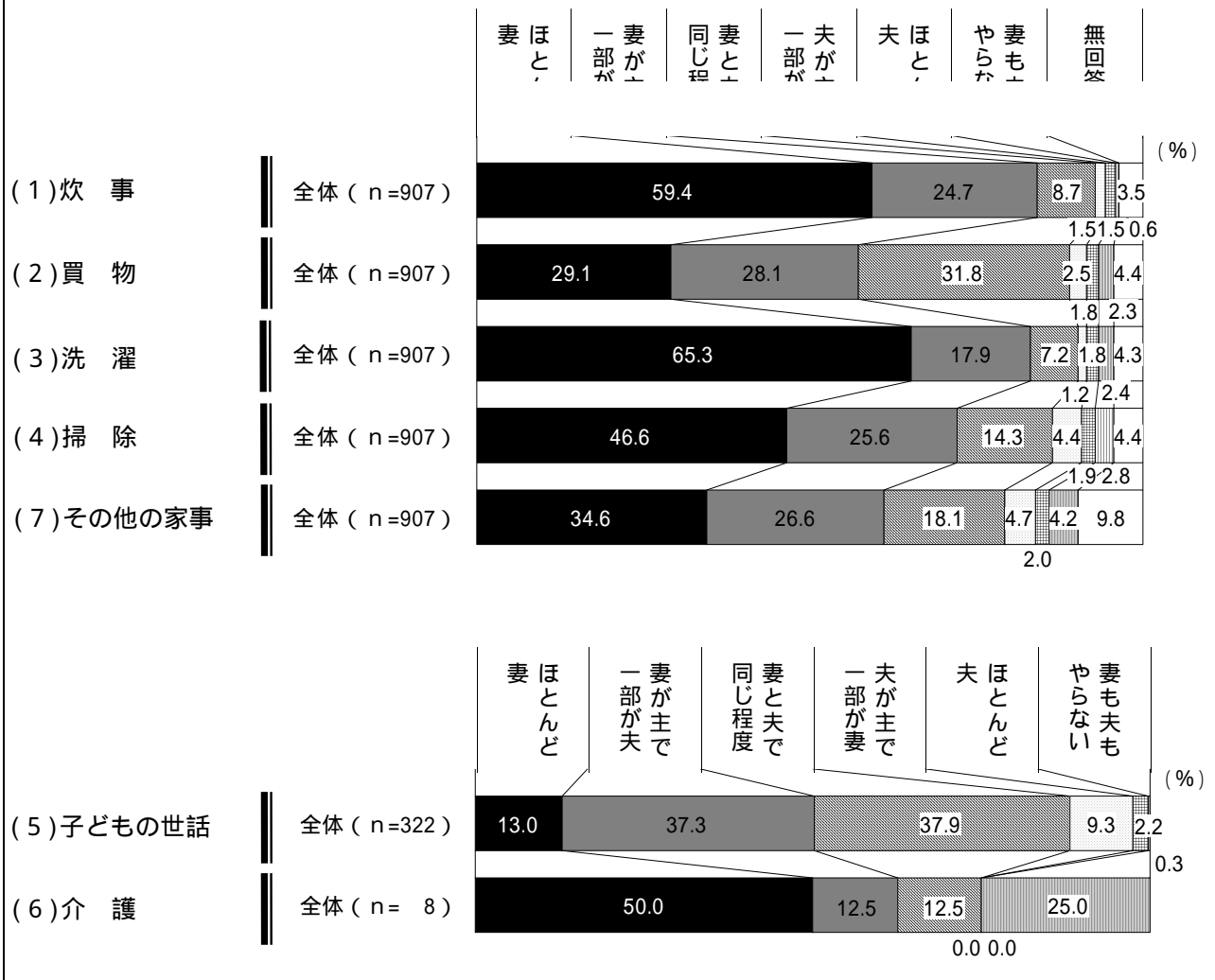
< 図表3 - 29 > 夫婦間の家事分担【土曜日】



【土曜日】についても、【平日】と同様に、《炊事》、《買物》、《洗濯》、《掃除》、《その他の家事》については、「ほとんど妻」と「妻が主で一部が夫」の割合が多く、『妻』の役割が大きくなっている。また、5つの家事で「妻と夫で同じ程度」が【平日】に比べて高くなっており、特に、《買物》でその傾向が顕著である。

《子どもの世話》では、「妻が主で一部が夫」と「妻と夫で同じ程度」が【平日】に比べて高くなっている。

< 図表3 - 30 > 夫婦間の家事分担【日曜日】



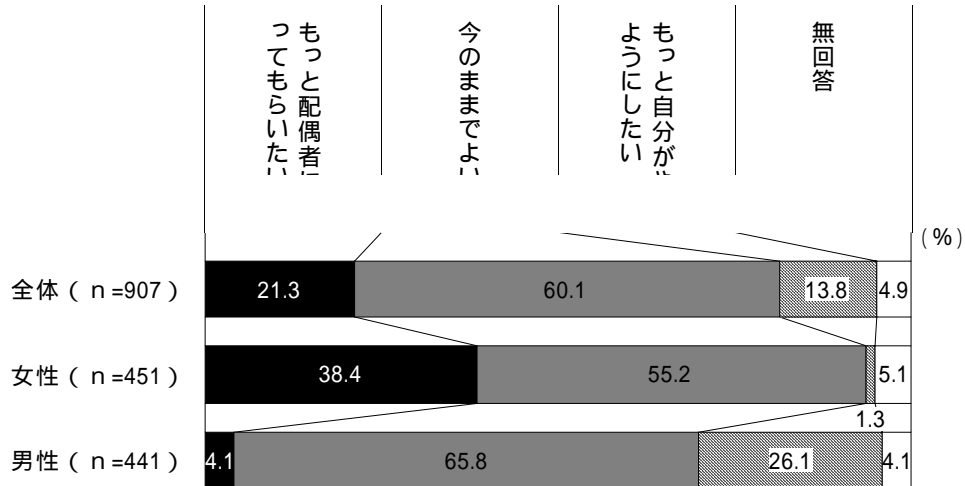
【日曜日】も、これまでみてきた【平日】・【土曜日】と同様に、《炊事》、《買物》、《洗濯》、《掃除》、《その他の家事》については、「ほとんど妻」と「妻が主で一部が夫」の割合が多く、『妻』の役割が大きくなっている。また、「妻と夫で同じ程度」は全ての家事において、【平日】・【土曜日】よりも高くなっており、特に、《買物》については3割を超えている。

《子どもの世話》では、【平日】・【土曜日】と同様に、「妻が主で一部が夫」と「妻と夫で同じ程度」が【平日】に比べて高く、「夫が主で一部が妻」が約1割となっており、『夫』の役割が『妻』とほぼ同じ程度となっている。

( 5 ) 現在の夫婦間の家事分担に対する考え

問6 現在の夫婦間の家事分担について、あなたはどのように思いますか。( 1 は1つ )

< 図表3 - 31 > 現在の夫婦間の家事分担に対する考え



現在の夫婦間の家事分担に対する考えをたずねたところ、全体では、「今のままでよい」(60.1%) が最も多く、「もっと配偶者にやってもらいたい」(21.3%) が続いている。

性別で見ると、女性・男性ともに「今のままでよい」(女性：55.2% 男性：65.8%) が半数を超えてはいるものの、その比率には差がみられ、男性の方が女性よりも約 11 ポイント高くなっている。

女性では、「もっと配偶者にやってもらいたい」(38.4%) が約 4 割あり、男性のおよそ 2 割強が「もっと自分がやるようにしたい」(26.1%) と回答している。

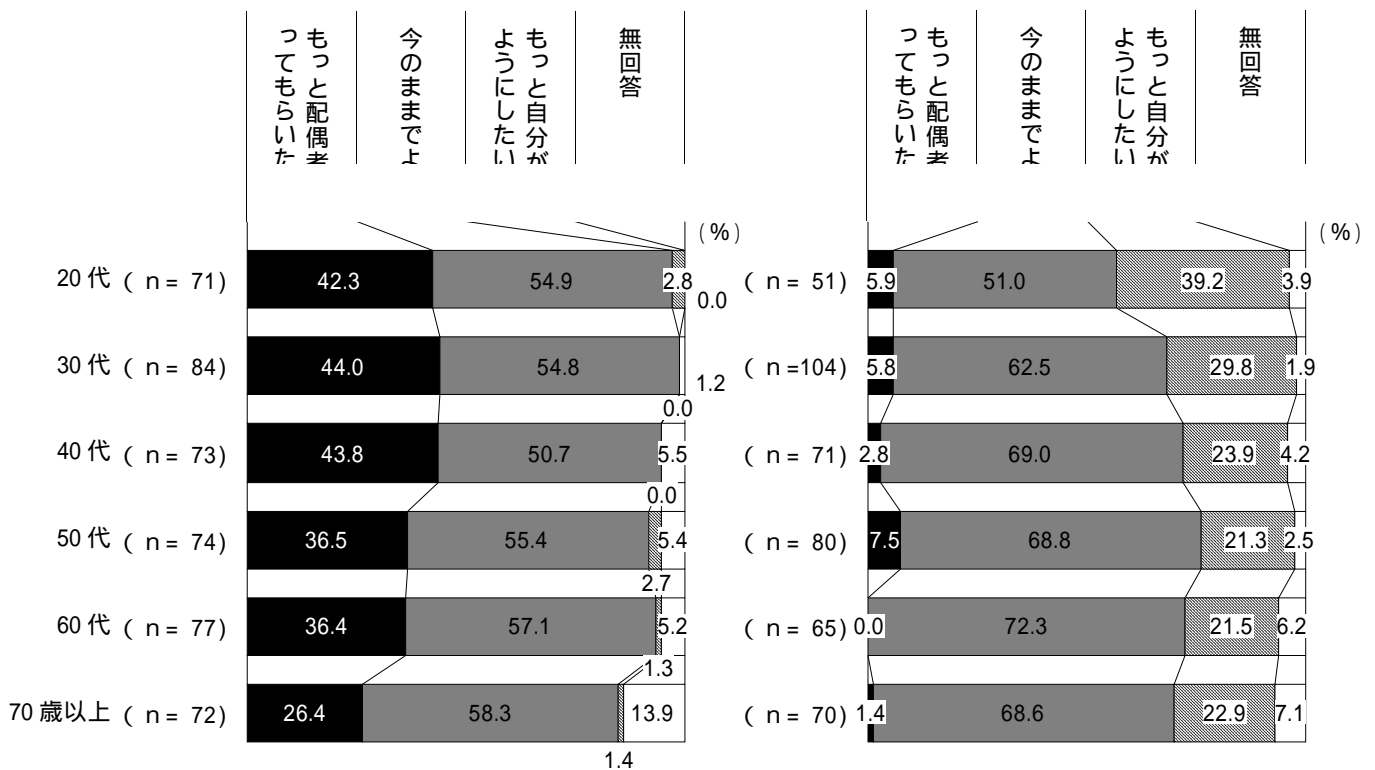
性・年代別でみると、女性では、いずれの年代とも「今のままでよい」が半数を超え並んでいるが、「もっと配偶者にやってもらいたい」は、20～40代が4割を超え高く、それ以降年代が上がるほど減少する。

一方、男性でも、いずれの年代とも「今のままでよい」が半数を超え多く、特に、60代では7割を超える。「もっと自分がやるようにしたい」は、20代で約4割、30代で約3割と若年齢層で高く、年代が上がるほど減少する傾向にある。

<図3 - 32> 現在の夫婦間の家事分担に対する考え / 性・年代別

【女性】

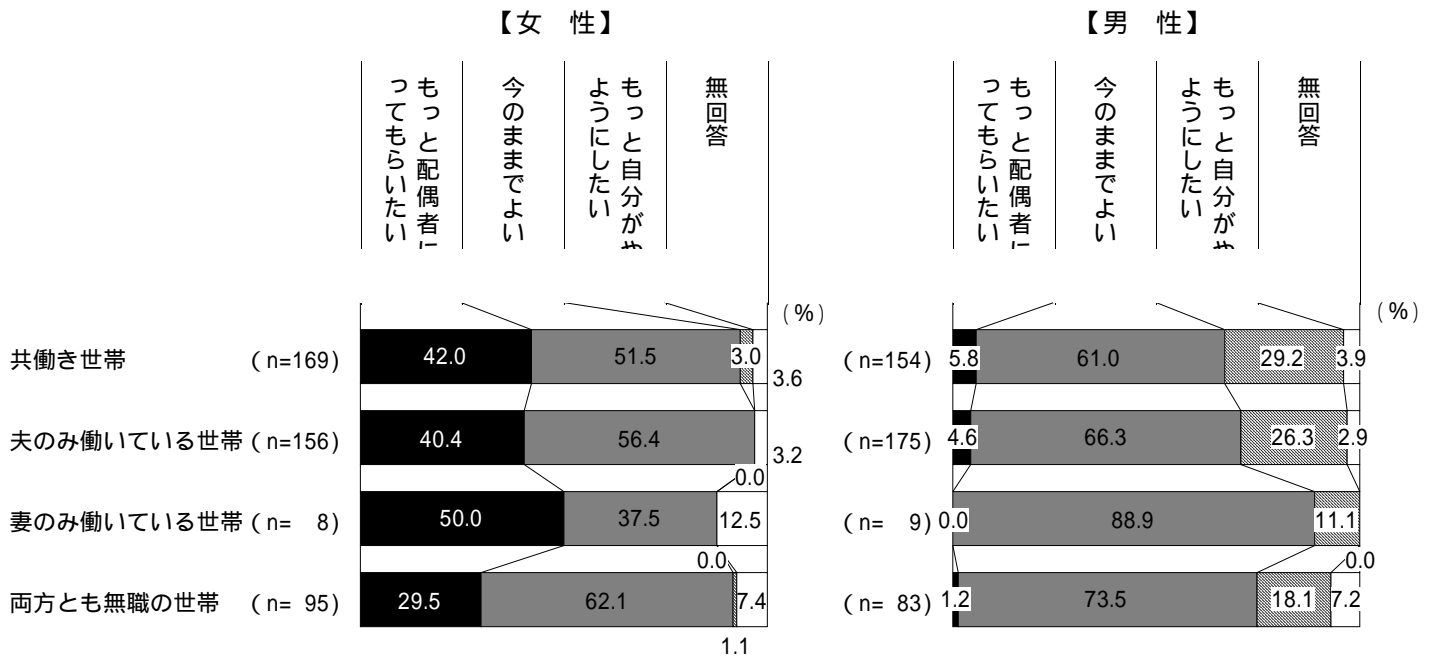
【男性】



世帯の就労状況・性別でみると、共働き世帯の女性と夫のみ働いている世帯の女性では「今のままでよい」が半数を超え多くになっているが、「もっと配偶者にやってもらいたい」も約4割となっている。

一方、共働き世帯の男性と夫のみ働いている世帯の男性では、「今のままでよい」が6割を超え、「もっと自分がやるようにしたい」が2割台後半となっている。女性・男性とも、共働き世帯と夫のみ働いている世帯で、家事分担に対する考えに差はみられない。

<図表3 - 33> 現在の夫婦間の家事分担に対する考え / 世帯の就労状況・性別

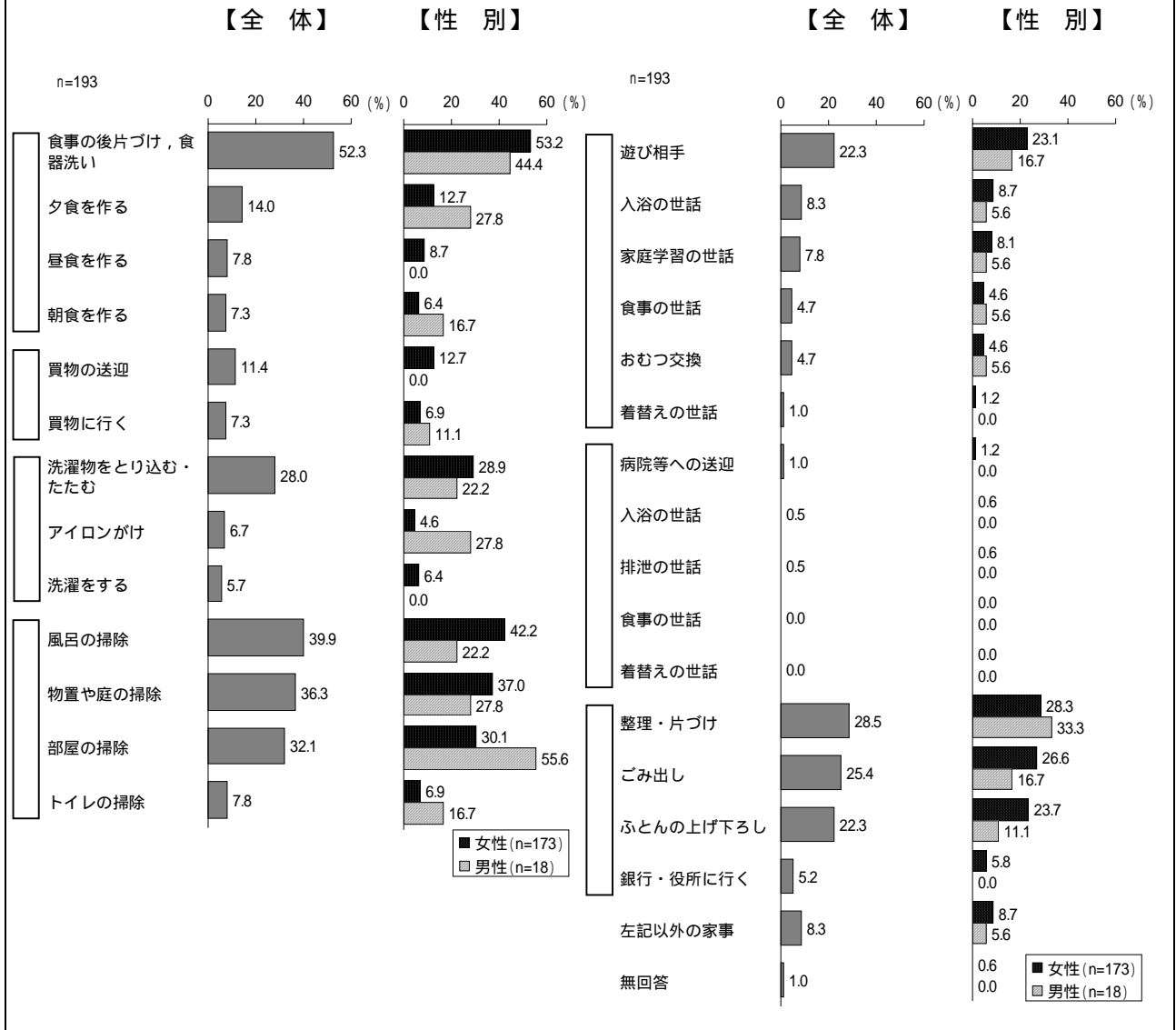


(6) 配偶者にやってもらいたい家事

【問6で「1 もっと配偶者にやってもらいたい」に つけた方におたずねします】

問6 - 1 それはどのような家事ですか。配偶者にやってもらいたいものを選び をつけてください。( は5つまで)

<図表3 - 34> 配偶者にやってもらいたい家事



問6で、「もっと配偶者にやってもらいたい」と回答した方に、どのような家事をやってほしいかをたずねた。

その結果、全体では、「食事後片づけ, 食器洗い」(52.3%) が最も高く半数を超える。以下、「風呂の掃除」(39.9%), 「物置や庭の掃除」(36.3%), 「部屋の掃除」(32.1%) など、『掃除』についての回答が3割台で続いている。

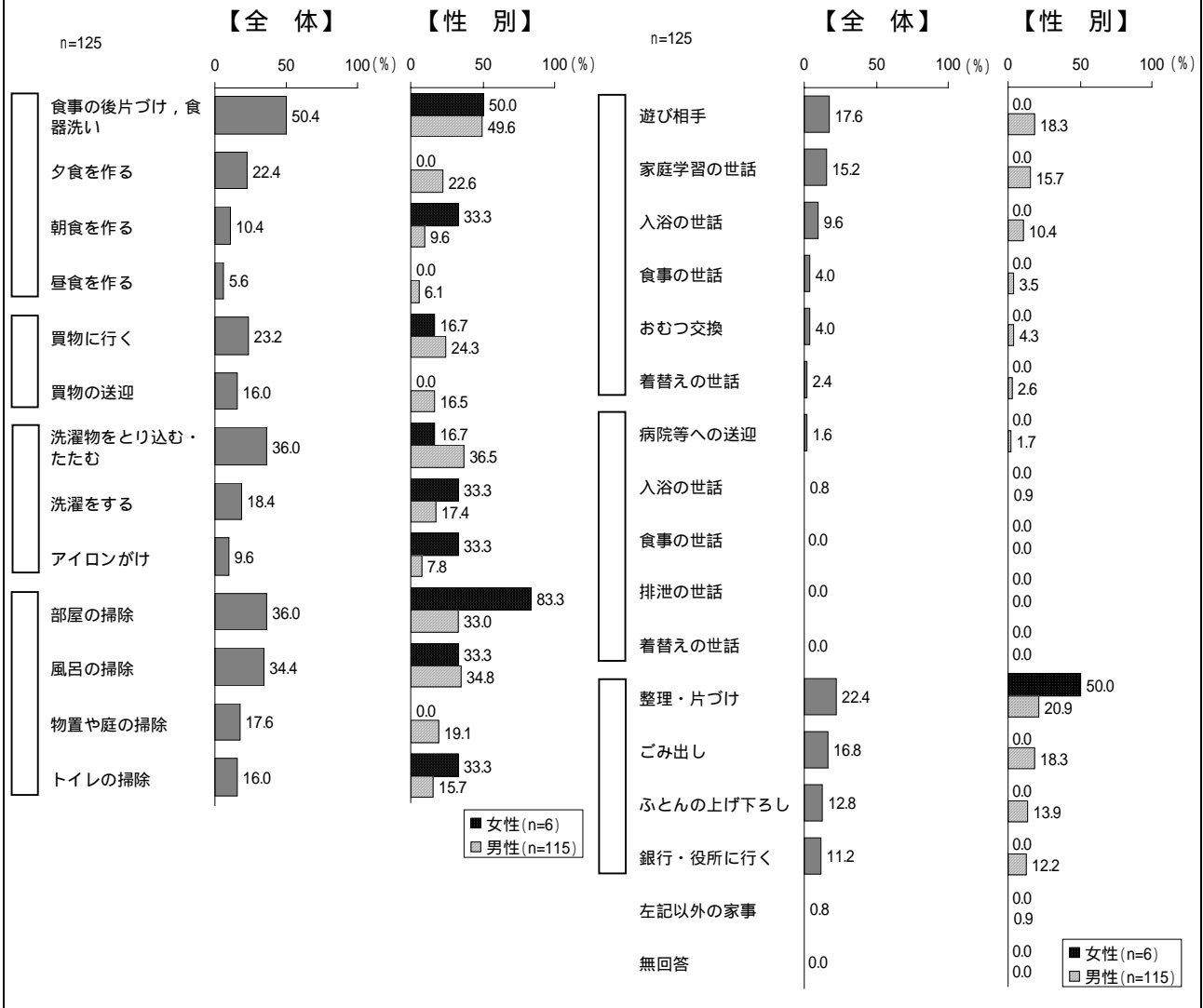
なお、性別については、男性の回答数が少なく、女性の傾向が全体の傾向に類似するため、参考までに掲載するにとどめる。

(7) 自分がやるようにしたい家事

【問6で「3 もっと自分がやるようにしたい」に つけた方におたずねします】

問6 - 2 それはどのような家事ですか。あなたがやるようにしたいものを選び をつけてください。( は5つまで)

<図表3 - 35> 自分がやるようにしたい家事



問6で、「もっと自分がやるようにしたい」と回答した方に、どのような家事をやるようにしたいかたずねた。

その結果、全体では、「食事の後片づけ, 食器洗い」(50.4%)が半数を超え、最も高くなっている。このことについては、先にみている問6 - 1の回答でも同項目が最も高かったことと合致しており、妻から夫への希望 (= 問6 - 1) と、夫自身の意識が同じ方向性にあることがうかがえる。

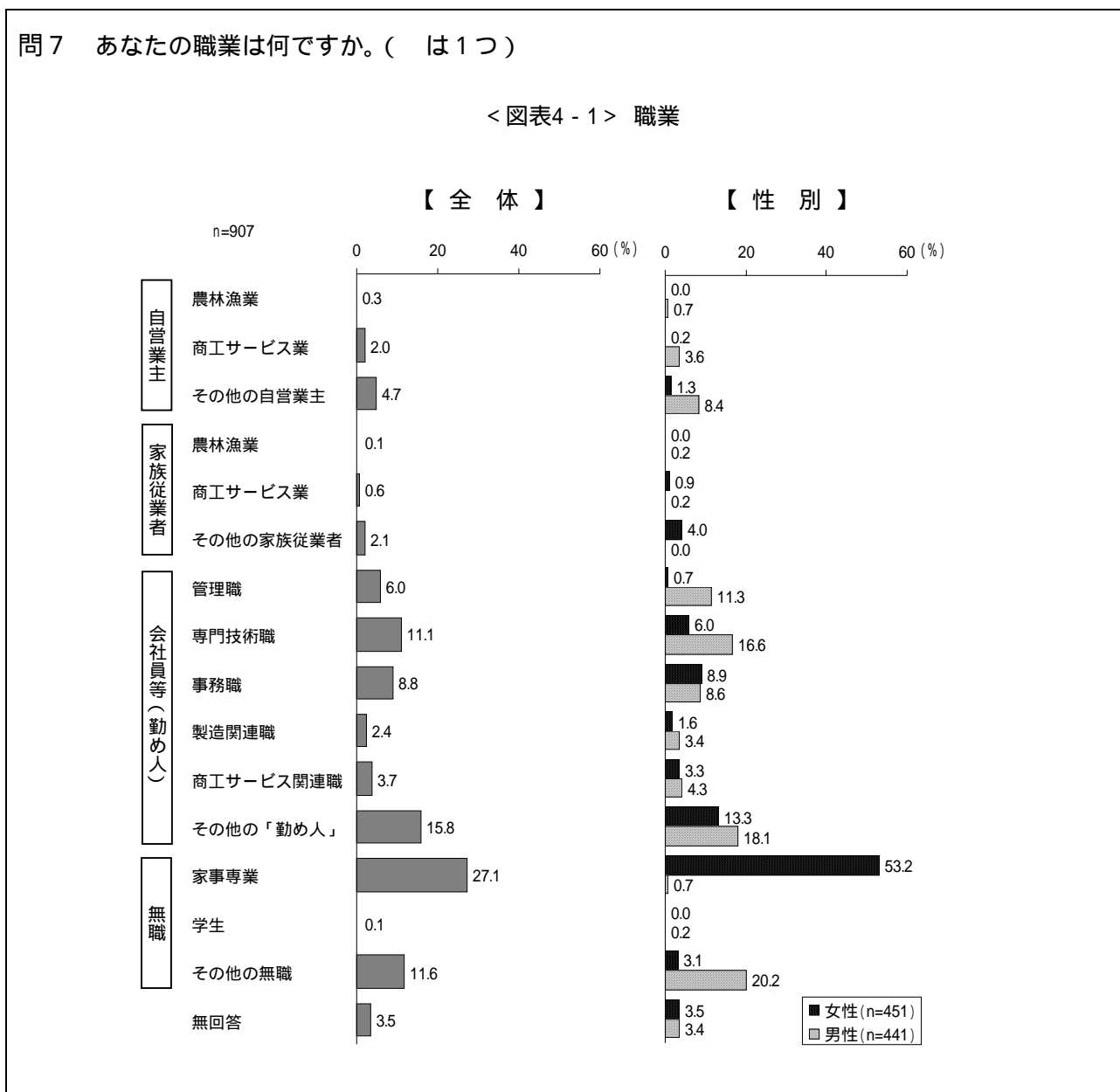
このほか、「洗濯物を取り込む・たたむ」と「部屋の掃除」(ともに36.0%),「風呂の掃除」(34.4%)が3割台で続いている。

なお、性別については、女性の回答数が少なく、男性の傾向が全体の傾向に類似するため、参考までに掲載するにとどめる。



## 4 . 就業状況や休業制度について

### ( 1 ) 職業



職業についてたずねたところ、全体では、「家事専業」(27.1%)が最も高く、「その他の『勤め人』」(15.8%)が続いている。このほか、「専門技術職」(11.1%)と「その他の無職」(11.6%)、「事務職」(8.8%)が1割前後となっている。

性別でみると、女性では、「家事専業」(53.2%)が半数を超え、最も高くなっている。

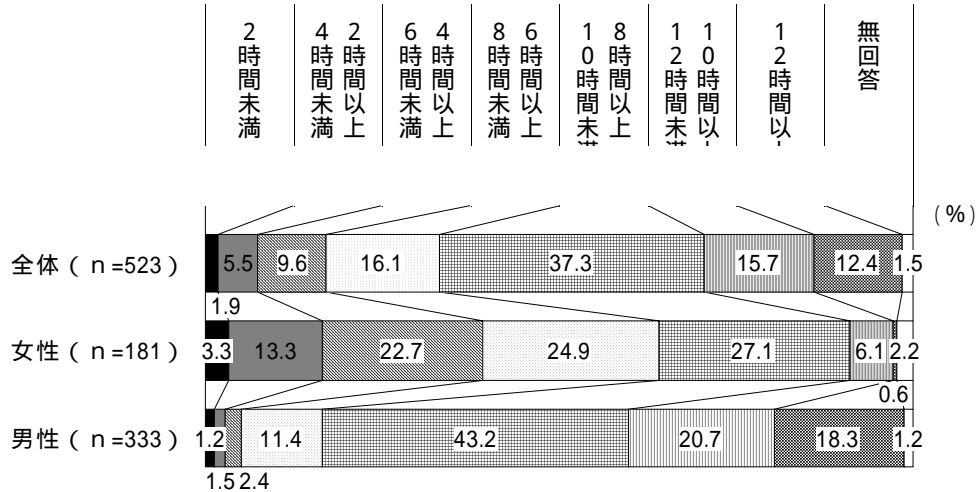
一方、男性では、「その他の無職」(20.2%)が最も高く、以下、「その他の『勤め人』」(18.1%)、「専門技術職」(16.6%)、「管理職」(11.3%)などとなっている。

(2) 1日の平均就業時間(残業時間を含む)

【問7で「1」から「12」に つけた方におたずねします】

問7-1 あなたの1日の就業時間(残業時間を含む)は平均何時間ぐらいですか。( は1つ)

<図表4-2> 1日の平均就業時間(残業時間を含む)



問7で、職業があると回答した方に、1日の就業時間をたずねた。

その結果、全体では、「8時間以上10時間未満」(37.3%)が最も多く、次いで、「6時間以上8時間未満」(16.1%)と「10時間以上12時間未満」(15.7%)が並んでいる。

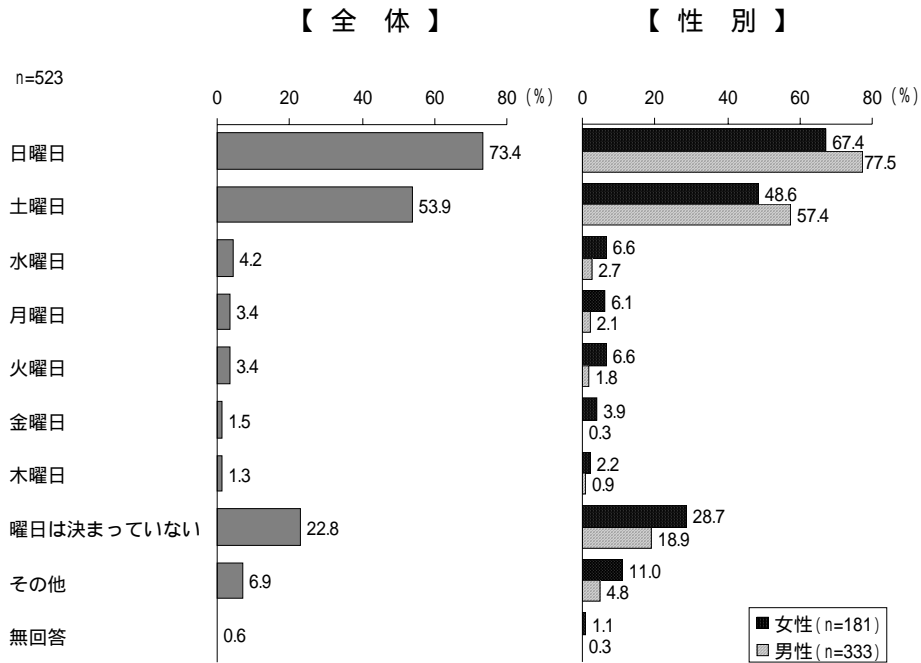
性別で見ると、女性では、「8時間以上10時間未満」(27.1%)が最も多いものの、「4時間以上6時間未満」(24.9%)と「2時間以上4時間未満」(22.7%)も僅差が続いている。

一方、男性では、「8時間以上10時間未満」(43.2%)が最も多く、「10時間以上12時間未満」(20.7%)や「12時間以上」(18.3%)が2割前後が続いている。男性と比べ、女性の就業時間は幅広くなっており、「6時間未満」の短時間労働が6割強となっている。

### (3) 仕事が休みの日

問7 - 2 あなたの仕事が休みの日はいつですか。(はいくつでも)

<図表4 - 3> 仕事が休みの日



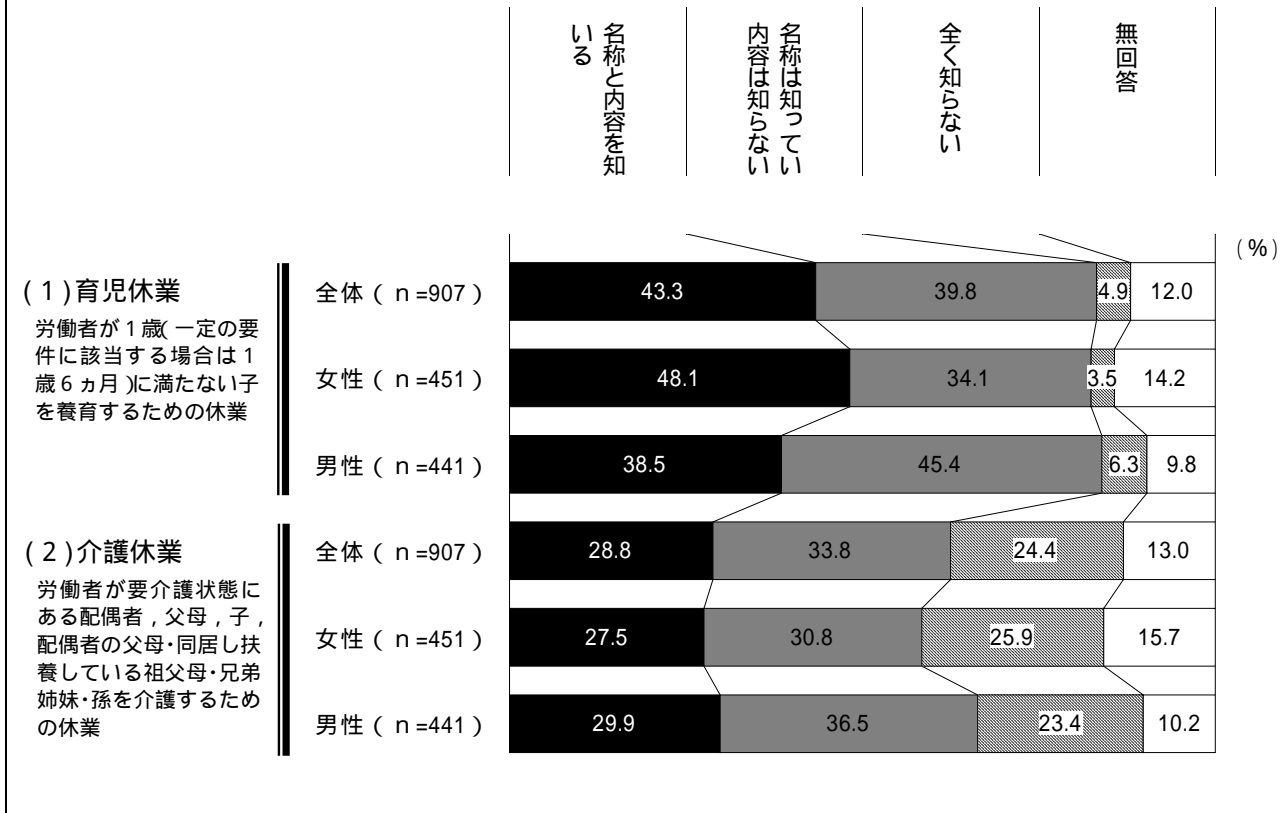
問7で、職業があると回答した方に、休みの日をたずねたところ、「日曜日」(73.4%)、「土曜日」(53.9%)が多いが、一方で、「曜日は決まっていない」(22.8%)が2割以上となっている。

性別で見ると、「土曜日」(女性:48.6% 男性:57.4%)で約9ポイント、「日曜日」(女性:67.4% 男性:77.5%)で約10ポイント、男性の方が女性よりも高くなっている。逆に、「曜日は決まっていない」(女性:28.7% 男性:18.9%)は、女性の方が約10ポイント上回っている。

(4) 育児・介護休業制度の認知

問8 あなたは、次のような制度があることを知っていますか。(1),(2)それぞれについてお答えください。( はそれぞれ1つ)

<図表4-4> 育児・介護休業制度の認知



育児・介護休業制度の認知状況についてたずねたところ、全体では、《育児休業》について「名称と内容を知っている」(43.3%)が4割を超えて多くなっている。「名称は知っているが内容は知らない」(39.8%)を合計すると、全体の8割を超える方が、育児休業制度の存在を知っていることとなる。

一方、《介護休業》については、「名称と内容を知っている」(28.8%)は約3割であり、「名称は知っているが内容は知らない」(33.8%)と合計すると、全体の6割を超える方が、介護休業制度の存在を知っていることとなるが、《育児休業》に比べて認知度は低い。

性別で見ると、《育児休業》については、「名称と内容を知っている」(女性:48.1% 男性:38.5%)は女性で半数に近く、男性よりも約10ポイント高くなっている。

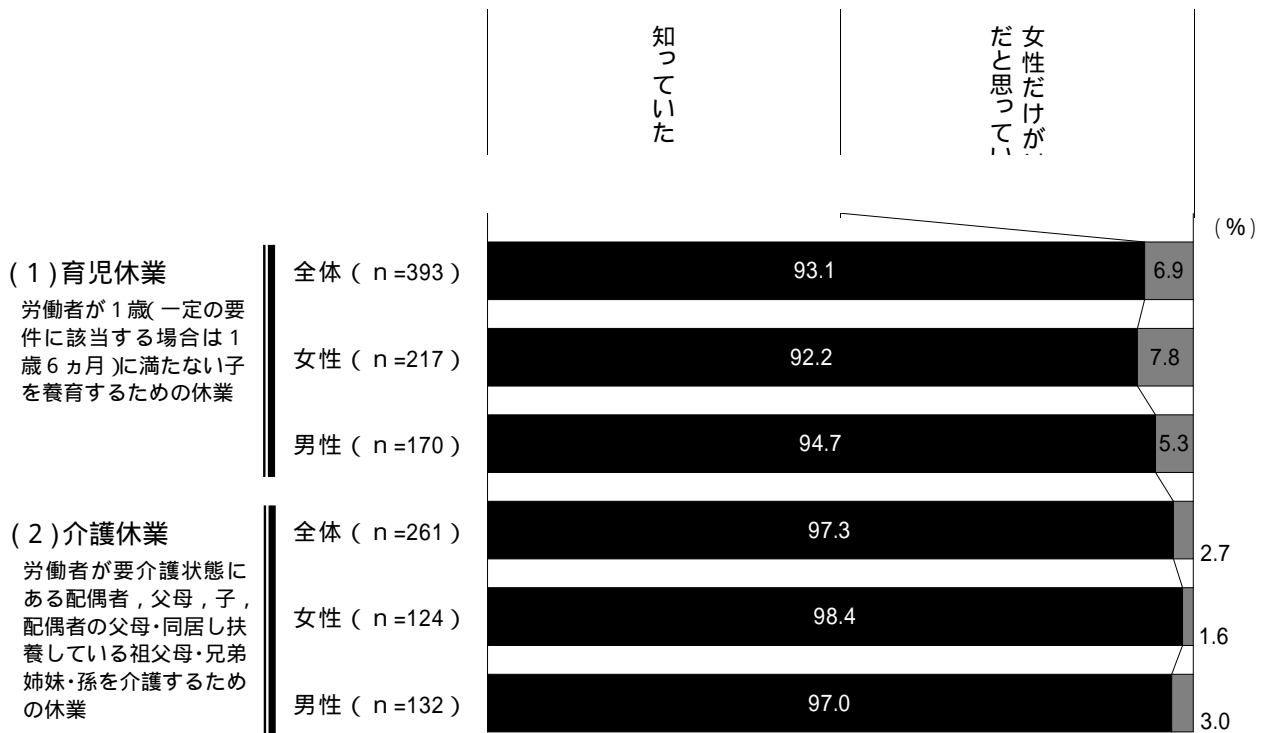
《介護休業》については、「名称と内容を知っている」(女性:27.5% 男性:29.9%)で性別による大きな差はみられないものの、「名称は知っているが内容は知らない」(女性:30.8% 男性:36.5%)では、男性の方が女性よりも約6ポイント高くなっている。

(5) 「育児・介護休業」が、男性も対象であることの認知

【問8の(1)または(2)で「1 名称と内容を知っている」に つけた方におたずねします】

問8 - 1 あなたは「育児休業」や「介護休業」など、家庭生活を援助する制度が、女性だけでなく、男性も対象にした制度であることを知っていますか。( は1つ)

<図表4 - 5> 「育児・介護休業」が、男性も対象であることの認知



問8の《育児休業》について、「名称と内容を知っている」と回答した方に、その制度には男性も対象に含まれることを知っているかたずねたところ、全体では、「知っていた」(93.1%)が9割を超える。

同様に、問8の《介護休業》についても、「名称と内容を知っている」と回答した方に、その制度には男性も対象に含まれることを知っているかたずねたところ、「知っていた」(97.3%)が9割を超える。

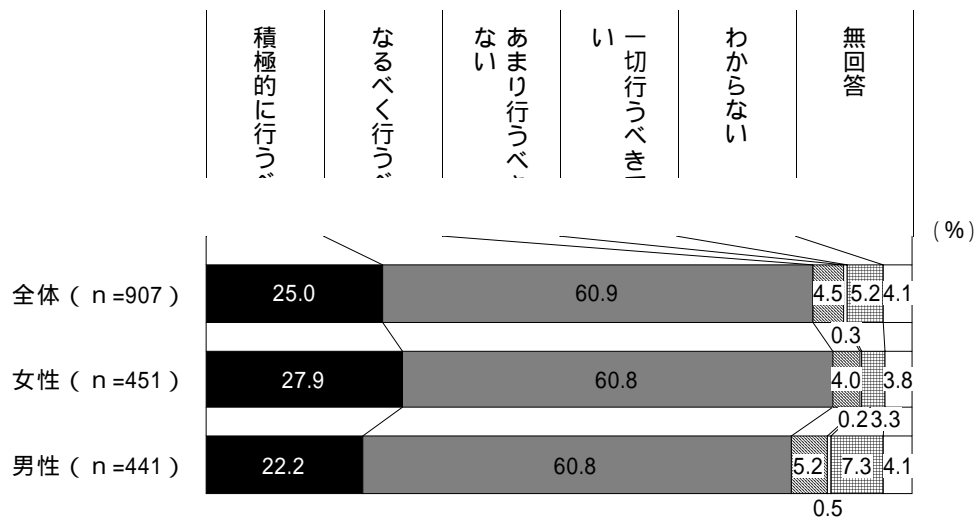
性別による、特に大きな差異はみられない。

## 5 . 男性の家事参加について

### ( 1 ) 男性が家事を行うことについての考え

問9 あなたは、一般的に男性が家事を行うことについてどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを次の中から選んでください。( 1 は1つ)

<図表4 - 6> 男性が家事を行うことについての考え



一般論として、男性が家事を行うことについてたずねたところ、全体では、「積極的に行うべき」(25.0%)と最も多い「なるべく行うべき」(60.9%)を合計すると、『行うべき』(85.9%)は8割台半ばと多数を占める。

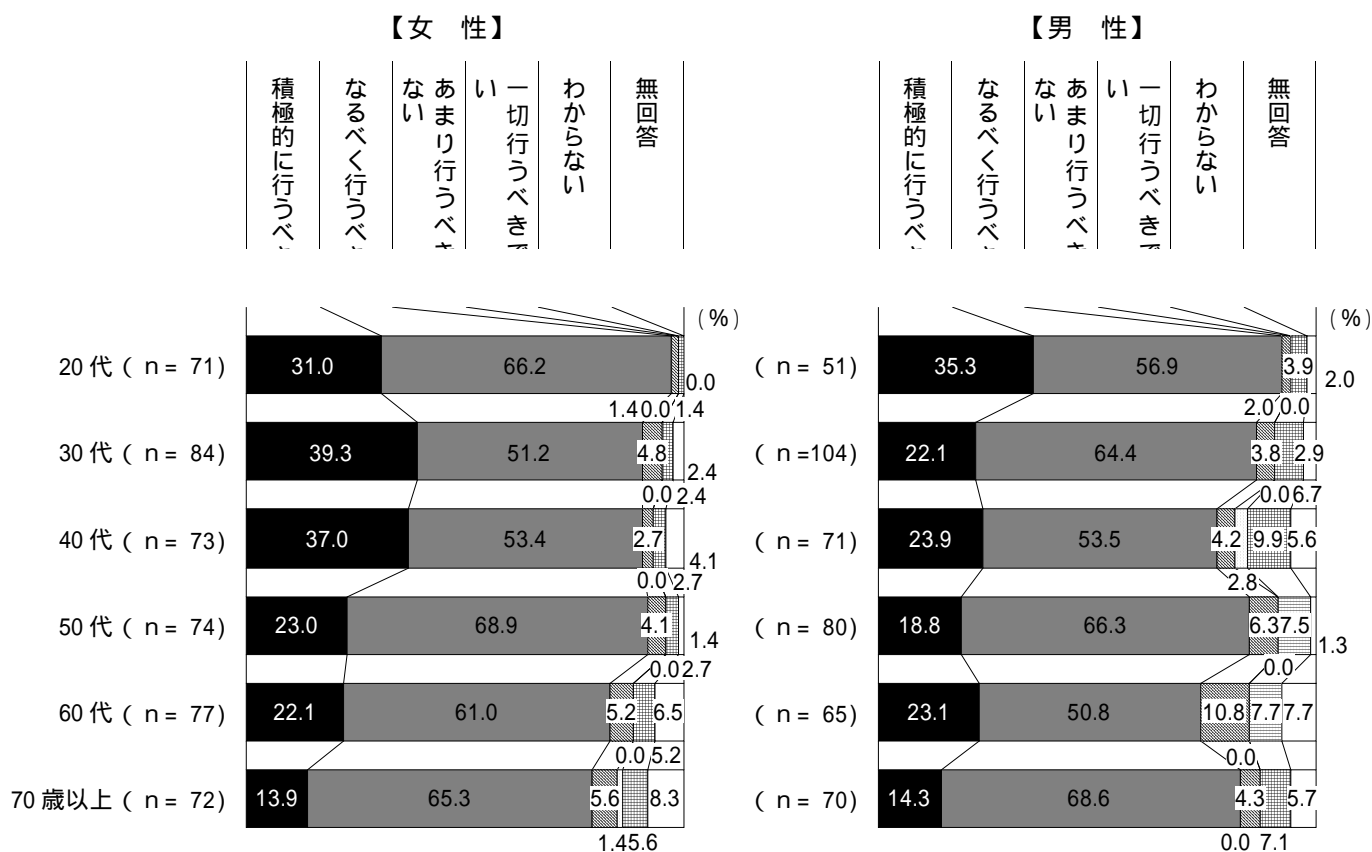
一方、「あまり行うべきではない」(4.5%)と「一切行うべきではない」(0.3%)を合計した、『行うべきではない』は4.8%となっている。

性別で見ると、「積極的に行うべき」(女性:27.9% 男性:22.2%)で、女性の方が男性よりも、約6ポイント高くなっているが、「なるべく行うべき」(女性:60.8% 男性:60.8%)では、女性と男性が同率で並んでいる。

性・年代別で見ると、女性では、「積極的に行うべき」が30～40代で約4割と高く、それ以降年代が上がるほど減少している。なお、「なるべく行うべき」は、いずれの年代でも半数を超えており、『行うべき』としてみると、20～50代では9割を超え多数を占めている。

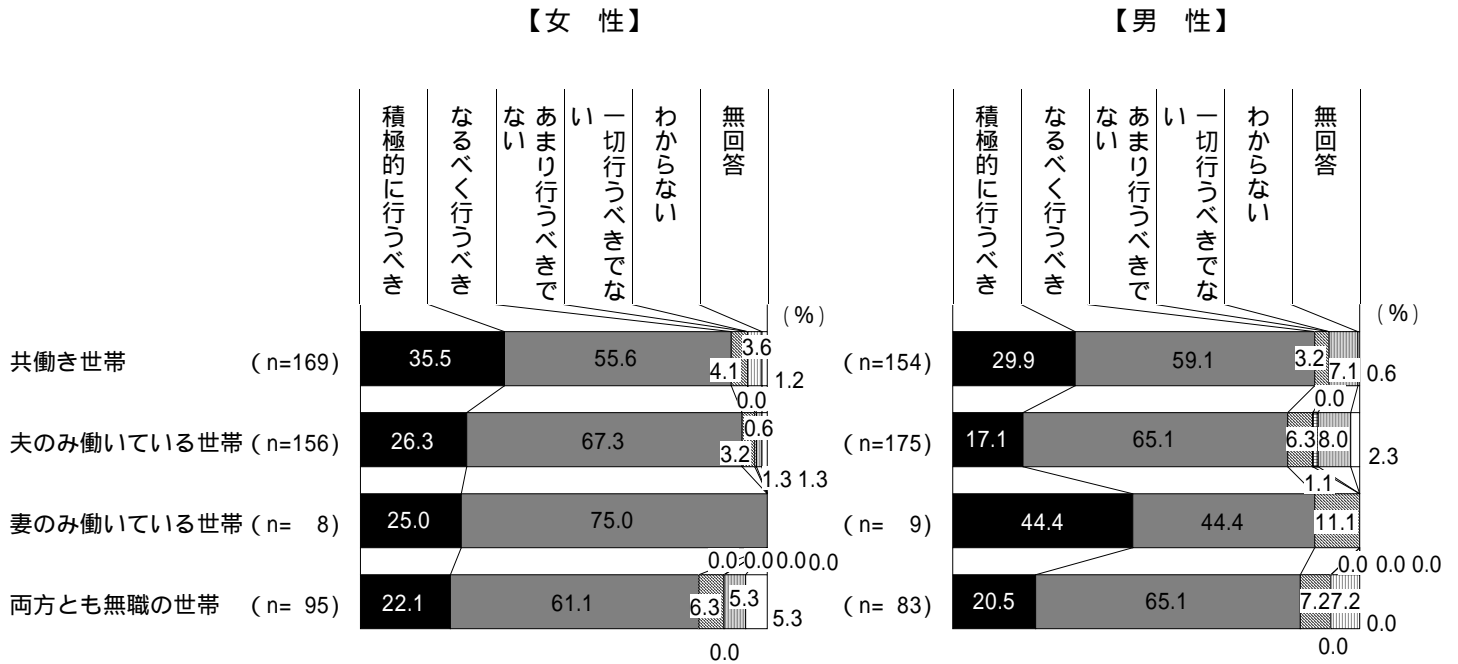
一方、男性では、「積極的に行うべき」が20代で3割台半ばと、他の年代に比べて高く、この年代は、『行うべき』としてみると、男性の年代で唯一9割を超えている。

<図表4-7> 男性が家事を行うことについての考え / 性・年代別



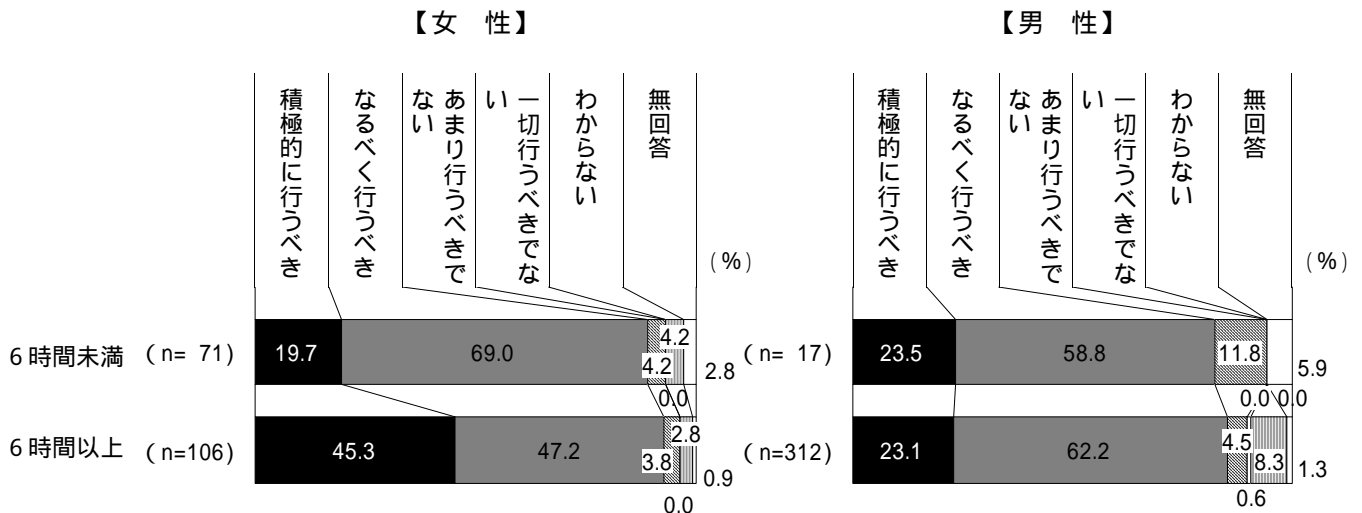
世帯の就労状況・性別でみると、「積極的に行うべき」は、共働き世帯の女性・男性ともに3割前後と、他の世帯に比べて高くなっており、特に、共働き世帯の男性は夫のみ働いている世帯の男性より約13ポイント高くなっている。また、『行うべき』としてみると、共働き世帯は女性・男性ともに約9割であるのに比べ、夫のみ働いている世帯では、女性で9割を超えるのに対し男性は約8割とやや低く、違いがみられる。

<図表4-8> 男性が家事を行うことについての考え / 世帯の就労状況・性別



就業時間・性別にみると、女性では就業時間にかかわらず約9割が『行うべき』と考えているが、6時間未満の女性で、「積極的に行うべき」が約2割であるのに比べ、6時間以上の女性では4割台半ばと多く、その積極性には違いがみられる。男性では、就業時間による大きな差はみられない。

<図表4-9> 男性が家事を行うことについての考え / 就業時間・性別

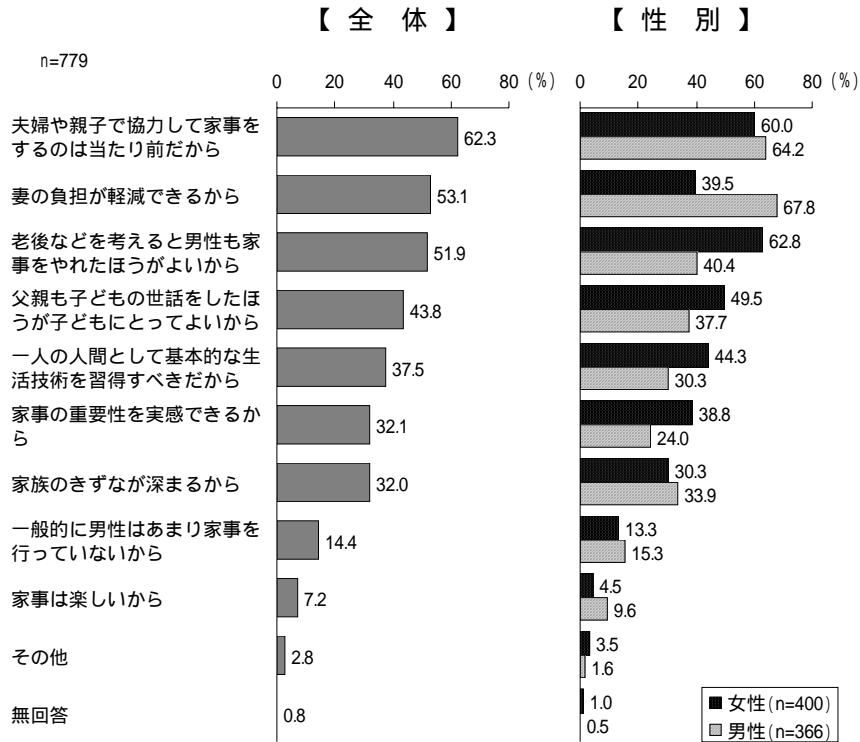




(2) 男性が家事を行うべきとする理由

【問9で「1 積極的に行うべき」「2 なるべく行うべき」に つけた方におたずねします】  
 問9 - 1 その理由は。(はいいくつでも)

<図表4 - 10> 男性が家事を行うべきとする理由



問9で、『行うべき』と回答した方に、男性が家事を行うべきとする理由をたずねた。

その結果、全体では、「夫婦や親子で協力して家事をするのは当たり前だから」(62.3%)が最も高くなっている。以下、「妻の負担が軽減できるから」(53.1%)、「老後などを考えると男性も家事をやれたほうがよいから」(51.9%)と続き、上位3項目は半数を超えている。

性別でみると、「夫婦や親子で協力して家事をするのは当たり前だから」(女性：60.0% 男性：64.2%)が、女性・男性ともに高いことは、全体の傾向と変わらないが、それ以外の項目では性別による差がみられる。

特に、「妻の負担が軽減できるから」(女性：39.5% 男性：67.8%)は、男性が約7割と女性よりも約28ポイント高く、逆に、「老後などを考えると男性も家事をやれたほうがよいから」(女性：62.8% 男性：40.4%)は、女性が6割を超え、男性よりも約22ポイント高い。なお、それ以外の項目については、おおむね、女性の比率が男性よりも高くなっている。

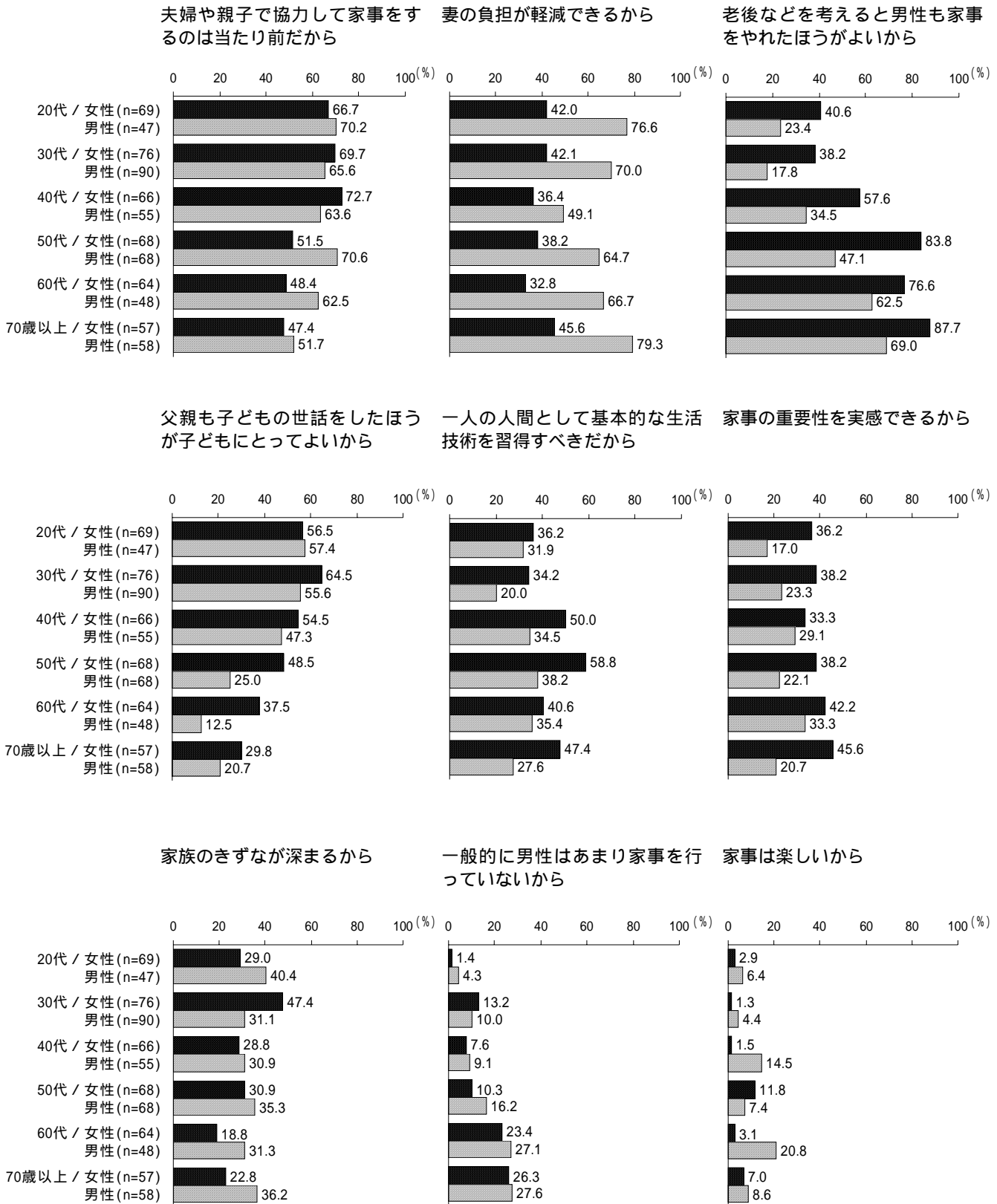
性・年代別でみると、「夫婦や親子で協力して家事をするのは当たり前だから」は、20～40代での性別による差は目立たないものの、50～60代では男性の方が女性よりも高く、特に、50代は約20ポイントの差がみられる。

性別の結果でみたとおり、「妻の負担が軽減できるから」は男性が、「老後などを考えると男性も家事をやれたほうがよいから」は女性が、それぞれ高くなっていたが、それらはいずれの年代でも同じことが言える。

また、「老後などを考えると男性も家事をやれたほうがよいから」は、女性・男性ともに、おおむね年代が上がるほど増加する傾向にあり、特に、女性の50代と70歳以上では8割を超え高率である。一方、「父親も子どもの世話をしたほうが子どもにとってよいから」は、20～30代で女性・男性ともに半数を超えており、それ以降年代が上がるほど減少する。

なお、「家事は楽しいから」では、男性の60代で2割を超えている。

<図表4-11> 男性が家事を行うべきとする理由/性・年代別

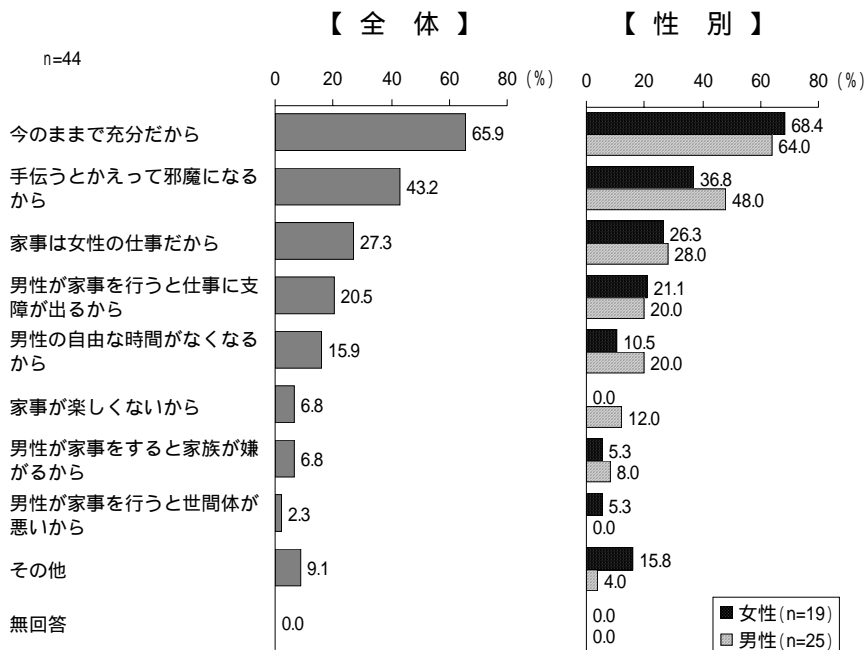


(3) 男性が家事を行うべきでないとする理由

【問9で「3 あまり行うべきではない」「4 一切行うべきではない」に つけた方におたずねします】

問9 - 2 その理由は。( はいくつでも )

< 図表4 - 12 > 男性が家事を行うべきでないとする理由



問9で、『行うべきではない』と回答した方に、男性が家事を行うべきでないとする理由をたずねた。

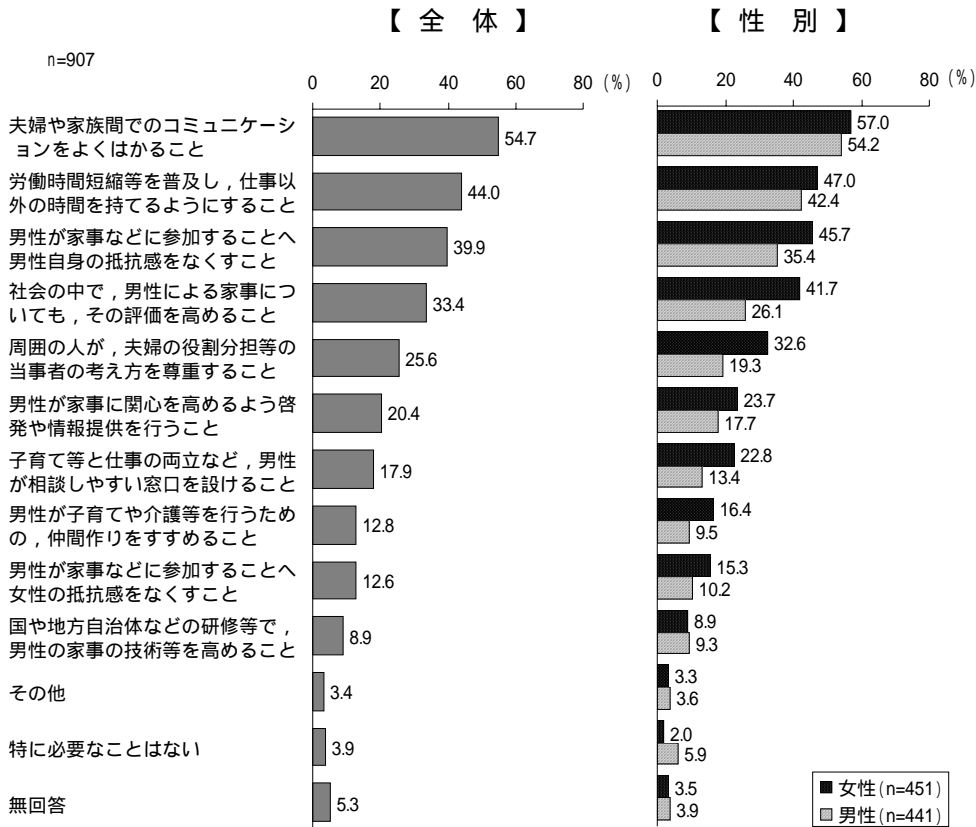
その結果、「今のままで充分だから」(65.9%)が最も高く、「手伝うとかえって邪魔になるから」(43.2%)が続く。さらに、「家事は女性の仕事だから」(27.3%)や「男性が家事を行うと仕事に支障が出るから」(20.5%)といった、役割分担意識のみられる項目が続いている。

なお、性別については、女性の回答数が少なく、男性の傾向が全体の傾向に類似するため、参考までに掲載するにとどめる。

(4) 今後、男性が家事に積極的に参加していくために必要なこと

問10 今後、男性が女性とともに家事(子育て・介護を含む)に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(はいいくつでも)

<図表4-13> 今後、男性が家事に積極的に参加していくために必要なこと



今後、男性が家事に積極的に参加していくために必要なことをたずねたところ、全体では、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」(54.7%)が最も高くなっている。次いで、「就業時間短縮等を普及し、仕事以外の時間を持てるようにすること」(44.0%)、「男性が家事などに参加することへ男性自身の抵抗感をなくすこと」(39.9%)、「社会の中で、男性による家事についても、その評価を高めること」(33.4%)などが続いている。

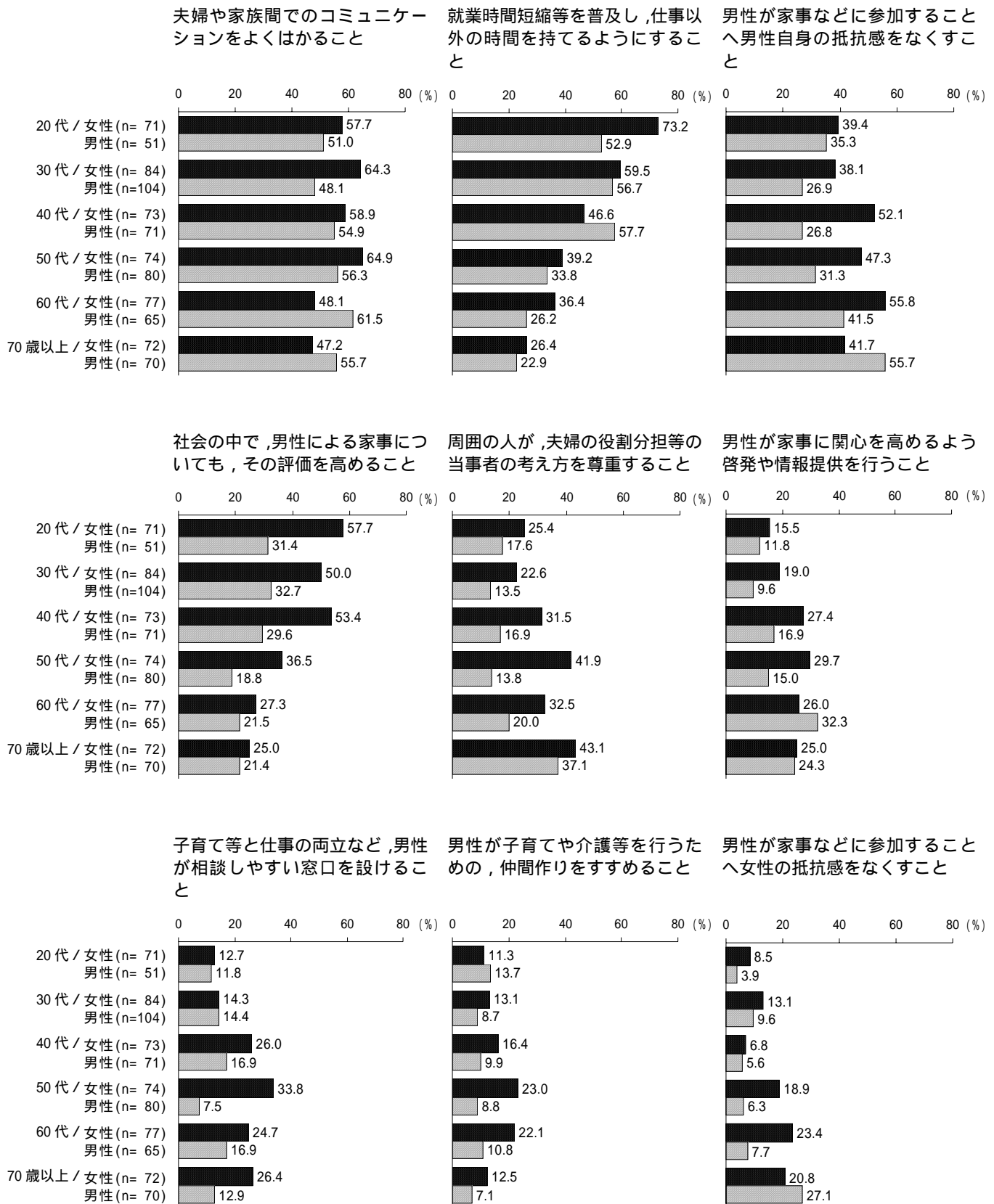
性別でみると、大半の項目で女性の方が男性よりも高くなっている。

特に、10ポイント以上差がみられるものを列挙すると、「社会の中で、男性による家事についても、その評価を高めること」(女性：41.7% 男性：26.1%)で約16ポイント差、「周囲の人が、夫婦の役割分担等の当事者の考え方を尊重すること」(女性：32.6% 男性：19.3%)で約13ポイント差、「男性が家事などに参加することへ男性自身の抵抗感をなくすこと」(女性：45.7% 男性：35.4%)で約10ポイント差などとなっており、男性自身の意識変革は元より、周囲の理解も重要な要素と考えていることがうかがえる。

性・年代別でみると、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」は、20～50代で女性の方が男性よりも高いが、60代以上では男性が上回る。「就業時間短縮等を普及し、仕事以外の時間を持てるようにすること」は、女性の20代が7割を超え突出し、年代が上がるほど減少する傾向にある一方で、男性では20～40代が5割台で並んでいる。

また、性別で差の大きかった、「男性が家事などに参加することへ男性自身の抵抗感をなくすこと」と「周囲の人が、夫婦の役割分担等の当事者の考え方を尊重すること」では、女性の40～60代が、「社会の中で、男性による家事についても、その評価を高めること」では、女性の20～40代が男性を大きく上回っている。

<図表4 - 14> 今後、男性が家事に積極的に参加していくために必要なこと/性・年代別



資料





# 資 料

## 1. 自由記述

内 容	件 数
男性の家事参加について	91
就業状況や休業制度について	44
家事の分担について	42
子供の頃から教育	23
男性の家事参加のアイデア	22
男女平等・男女共同参画について	16
家事に対する意識について	14
アンケートについて	9
男性の家事参加に関するその他	28
男性の家事参加についてに全く関係ないその他	7
合 計	296

1人の回答に複数の要旨がある場合、それぞれ1件としている

男性の家事参加について、意見やアイデアなどをたずねたところ、296件の自由記述があった。主な内容としては、上記の表のとおり、「男性の家事参加について」や「就業状況や休業制度について」、「家事の分担について」などの意見やアイデアが挙げられた。

## 2. 調査票（単純集計付き）

以下、( )の数値は回答構成比(%)を表し、Nは比率算出の基数とする。

問1 「男は仕事，女は家庭」という考え方がありますが，あなたはどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。( は1つ) N=907

( 15.4 ) 1 同感する	( 46.3 ) 3 どちらともいえない
( 35.9 ) 2 同感しない	( 0.9 ) 4 わからない ( 1.4 ) 無回答

問2 一般的に，女性が職業をもつことについて，あなたはどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。( は1つ) N=907

( 1.2 ) 1 女性は職業をもたないほうがよい	
( 4.2 ) 2 結婚するまでは，職業をもつほうがよい	
( 8.6 ) 3 子どもができるまでは，職業をもつほうがよい	
( 50.5 ) 4 子どもができたなら職業をやめ，子どもが大きくなったら再び職業をもつほうがよい	
( 21.7 ) 5 子どもができて，ずっと職業を続けるほうがよい	
( 8.3 ) 6 その他( )	
( 3.9 ) 7 わからない	( 1.7 ) 無回答

\* この調査票における家事とは、「炊事」、「買物」、「洗濯」、「掃除」、「子どもの世話（食事の世話，入浴，おむつ交換，遊び相手，家庭学習の世話など）」、「介護（老親や病気の家族などの介助）」、「その他の家事（整理，片づけ，銀行・役所に行くなど）」を指します。

問3 あなたは，家事や育児などをどの程度できますか。次の(1)から(7)のそれぞれについてお答えください。(それぞれ は1つ)

なお，(5)と(6)については，対象がない場合は「6」を選んでください。

N=907	得意	やや得意	普通	やや苦手	苦手	該当なし
(1)炊事(食事を作る，後片づけなど)	( 16.1 )	( 17.1 )	( 44.1 )	( 11.7 )	( 9.0 )	
(2)買物(買物，買物の送迎など)	( 20.7 )	( 18.9 )	( 50.2 )	( 5.3 )	( 2.4 )	
(3)洗濯(洗濯，アイロンがけなど)	( 12.5 )	( 14.7 )	( 45.6 )	( 12.6 )	( 11.6 )	
(4)掃除 (部屋・風呂・トイレなどの掃除)	( 14.0 )	( 15.2 )	( 43.3 )	( 17.4 )	( 7.6 )	
(5)子どもの世話 (食事の世話，入浴，おむつ交換，遊び相手，家庭学習の世話など)	( 9.6 )	( 14.2 )	( 31.4 )	( 5.6 )	( 2.8 )	( 31.9 )
(6)介護 (老親や病気の家族などの介助)	( 1.4 )	( 3.1 )	( 18.5 )	( 10.5 )	( 6.2 )	( 56.3 )
(7)その他の家事 (整理，片づけ，銀行・役所に行くなど)	( 12.9 )	( 14.8 )	( 50.9 )	( 11.2 )	( 5.7 )	

問4 あなたの一日の家事時間を、次の(1)から(7)までの項目に分けた場合、1日あたり平均何分ぐらい時間をかけていますか。【平日】と【土曜日】、【日曜日】に分けて、おおよその時間を分単位でご記入ください。(該当しない場合は「0」と記入してください)

なお、(5)と(6)については、選択肢の「2」をお答えの方のみ時間を記入してください。

N=907	(1時間は60分、2時間半は150分のように、分単位で記入ください)		
	【平日】	【土曜日】	【日曜日】
(1)炊事(食事を作る、後片づけなど)	平均 73.24分	平均 74.75分	平均 74.44分
(2)買物(買物、買物の送迎など)	平均 35.42分	平均 52.68分	平均 58.74分
(3)洗濯(洗濯、アイロンがけなど)	平均 30.60分	平均 31.13分	平均 30.86分
(4)掃除(部屋・風呂・トイレなどの掃除)	平均 30.55分	平均 32.43分	平均 31.22分
(5)子どもの世話 (食事の世話、入浴、おむつ交換、遊び相手、家庭学習の世話など)	(58.3) 1 該当する子どもはいない		
	(35.5) 2 育児の時間は N=322		
	平均 167.33分	平均 228.41分	平均 249.63分
(6)介護 (老親や病気の家族などの介助)	(89.5) 1 介護を必要とする家族はいない		
	(6.0) 2 介護の時間は N=54		
	平均 60.19分	平均 77.69分	平均 75.19分
(7)その他の家事 (整理、片づけ、銀行・役所に行くなど)	平均 32.85分	平均 25.38分	平均 24.56分
合計	平均 264.18分	平均 304.64分	平均 317.38分

問5 次の家事を夫婦間でどのように分担していますか。【平日】と【土曜日】、【日曜日】に分けて、次の(1)から(7)それぞれについてお答えください。

なお、(5)と(6)については、対象がない場合は「7」に、その他の家族が行なう場合は「6」にをつけてください。

【平日】(それぞれは1つ)

N=907	ほとんど妻	妻が主で一部が夫	妻と夫で同じ程度	夫が主で一部が妻	ほとんど夫	妻も夫もやらない	該当なし
(1)炊事 (食事を作る、後片づけなど)	(69.1)	(22.4)	(4.0)	(1.5)	(1.0)	(0.4)	
(2)買物(買物、買物の送迎など)	(52.6)	(25.1)	(12.2)	(3.0)	(2.8)	(2.0)	
(3)洗濯(洗濯、アイロンがけなど)	(75.9)	(12.6)	(4.9)	(1.7)	(1.8)	(1.4)	
(4)掃除 (部屋・風呂・トイレなどの掃除)	(60.7)	(21.4)	(8.5)	(3.4)	(2.0)	(2.1)	
(5)子どもの世話 (食事の世話、入浴、おむつ交換、遊び相手、家庭学習の世話など)	(15.5)	(15.3)	(3.9)	(0.9)	(0.2)	(0.0)	(53.9)
(6)介護 (老親や病気の家族などの介助)	(3.6)	(1.3)	(0.4)	(0.0)	(0.8)	(0.2)	(84.6)
(7)その他の家事 (整理、片づけ、銀行・役所に行くなど)	(48.1)	(24.9)	(12.7)	(5.4)	(3.5)	(0.4)	

【土曜日】(それぞれ は1つ)

N=907	ほとんど 妻	妻が主で 一部が夫	妻と夫で 同じ程度	夫が主で 一部が妻	ほとんど 夫	妻も夫も やらない	該当なし
(1)炊 事 (食事を作る, 後片づけなど)	(62.0)	(23.8)	(7.4)	(1.8)	(1.3)	(0.4)	
(2)買 物(買物,買物の送迎など)	(35.5)	(29.0)	(25.1)	(3.2)	(1.8)	(1.5)	
(3)洗 濯(洗濯,アイロンがけなど)	(68.4)	(15.7)	(6.9)	(1.7)	(1.9)	(1.8)	
(4)掃 除 (部屋・風呂・トイレなどの掃除)	(51.0)	(23.5)	(12.6)	(4.5)	(1.8)	(2.3)	
(5)子どもの世話 (食事の世話,入浴,おむつ交換,遊び 相手,家庭学習の世話など)	(7.3)	(14.7)	(11.4)	(2.0)	(0.7)	(0.0)	(53.3)
(6)介 護 (老親や病気の家族などの介助)	(3.0)	(1.4)	(0.7)	(0.0)	(0.8)	(0.3)	(83.9)
(7)その他の家事 (整理,片づけ,銀行・役所に行くなど)	(40.9)	(24.1)	(17.5)	(4.5)	(2.4)	(2.3)	

【日曜日】(それぞれ は1つ)

N=907	ほとんど 妻	妻が主で 一部が夫	妻と夫で 同じ程度	夫が主で 一部が妻	ほとんど 夫	妻も夫も やらない	該当なし
(1)炊 事 (食事を作る, 後片づけなど)	(59.4)	(24.7)	(8.7)	(1.5)	(1.5)	(0.6)	
(2)買 物(買物,買物の送迎など)	(29.1)	(28.1)	(31.8)	(2.5)	(1.8)	(2.3)	
(3)洗 濯(洗濯,アイロンがけなど)	(65.3)	(17.9)	(7.2)	(1.2)	(1.8)	(2.4)	
(4)掃 除 (部屋・風呂・トイレなどの掃除)	(46.6)	(25.6)	(14.3)	(4.4)	(1.9)	(2.8)	
(5)子どもの世話 (食事の世話,入浴,おむつ交換,遊び 相手,家庭学習の世話など)	(4.6)	(13.5)	(13.6)	(3.3)	(0.8)	(0.1)	(52.1)
(6)介 護 (老親や病気の家族などの介助)	(3.0)	(1.3)	(0.6)	(0.1)	(0.7)	(0.3)	(83.1)
(7)その他の家事 (整理,片づけ,銀行・役所に行くなど)	(34.6)	(26.6)	(18.1)	(4.7)	(2.0)	(4.2)	

問6 現在の夫婦間の家事分担について, あなたはどう思いますか。( は1つ) N=907

(21.3) 1	もっと配偶者にやってもらいたい	—————▶	(問6 - 1へ)
(60.1) 2	今のままでよい		
(13.8) 3	もっと自分がやるようにしたい	—————▶	(問6 - 2へ)

(4.9) 無回答

**【問6で「1 もっと配偶者にやってもらいたい」に つけた方におたずねします】**

問6 - 1 それはどのような家事ですか。配偶者にやってもらいたいものを選び つけてください。( は5つまで) N=193

炊事	1 朝食を作る ( 7.3 )	掃除	10 部屋の掃除 ( 32.1 )	介護	20 食事の世話 ( 0.0 )	
	2 昼食を作る ( 7.8 )		11 風呂の掃除 ( 39.9 )		21 入浴の世話 ( 0.5 )	
	3 夕食を作る ( 14.0 )		12 トイレの掃除 ( 7.8 )		22 排泄の世話 ( 0.5 )	
	4 食事の後片づけ, 食器洗い ( 52.3 )		13 物置や庭の掃除 ( 36.3 )		23 着替えの世話 ( 0.0 )	
買物	5 買物に行く ( 7.3 )	子どもの世話	14 食事の世話 ( 4.7 )	その他の家事	25 整理・片づけ ( 28.5 )	
	6 買物の送迎 ( 11.4 )		15 入浴の世話 ( 8.3 )		26 銀行・役所に行く ( 5.2 )	
洗濯	7 洗濯をする ( 5.7 )		16 おむつ交換 ( 4.7 )	その他	上記「1」から「28」以外にあれば、具体的にご記入ください。( 8.3 )	
	8 洗濯物を取り込む・たたむ ( 28.0 )		17 着替えの世話 ( 1.0 )			27 ふとんの上げ下ろし ( 22.3 )
	9 アイロンがけ ( 6.7 )		18 遊び相手 ( 22.3 )			28 ごみ出し ( 25.4 )
			19 家庭学習の世話 ( 7.8 )			

( 1.0 ) 無回答

**【問6で「3 もっと自分がやるようにしたい」に つけた方におたずねします】**

問6 - 2 それはどのような家事ですか。あなたがやるようにしたいものを選び つけてください。( は5つまで) N=125

炊事	1 朝食を作る ( 10.4 )	掃除	10 部屋の掃除 ( 36.0 )	介護	20 食事の世話 ( 0.0 )	
	2 昼食を作る ( 5.6 )		11 風呂の掃除 ( 34.4 )		21 入浴の世話 ( 0.8 )	
	3 夕食を作る ( 22.4 )		12 トイレの掃除 ( 16.0 )		22 排泄の世話 ( 0.0 )	
	4 食事の後片づけ, 食器洗い ( 50.4 )		13 物置や庭の掃除 ( 17.6 )		23 着替えの世話 ( 0.0 )	
買物	5 買物に行く ( 23.2 )	子どもの世話	14 食事の世話 ( 4.0 )	その他の家事	25 整理・片づけ ( 22.4 )	
	6 買物の送迎 ( 16.0 )		15 入浴の世話 ( 9.6 )		26 銀行・役所に行く ( 11.2 )	
洗濯	7 洗濯をする ( 18.4 )		16 おむつ交換 ( 4.0 )	その他	上記「1」から「28」以外にあれば、具体的にご記入ください。( 0.8 )	
	8 洗濯物を取り込む・たたむ ( 36.0 )		17 着替えの世話 ( 2.4 )			27 ふとんの上げ下ろし ( 12.8 )
	9 アイロンがけ ( 9.6 )		18 遊び相手 ( 17.6 )			28 ごみ出し ( 16.8 )
			19 家庭学習の世話 ( 15.2 )			

問7 あなたの職業は何ですか。( は1つ) N=907

【自営業主】	【家族従業者】	【会社員等(勤め人)】	【無職】
1 農林漁業(0.3)	4 農林漁業(0.1)	7 管理職(6.0)	13 家事専業(27.1)
2 商工サービス業(2.0)	5 商工サービス業(0.6)	8 専門技術職(11.1)	14 学生(0.1)
3 その他の自営業主 (4.7)	6 その他の家族従業者 (2.1)	9 事務職(8.8)	15 その他の無職 (11.6)
*自営業主とは 自営業を営んで経営・管理されている方 *家族従業員とは ご家族の自営業を手伝っている方		10 製造関連職(2.4)	
		11 商工サービス関連職 (3.7)	
		12 その他の「勤め人」 (15.8)	(1.7) 無回答

【問7で「1」から「12」に つけた方におたずねします】

問7-1 あなたの1日の就業時間(残業時間を含む)は平均何時間ぐらいですか。( は1つ) N=523

(1.9) 1 2時間未満	(16.1) 4 6時間以上8時間未満	(12.4) 7 12時間以上
(5.5) 2 2時間以上4時間未満	(37.3) 5 8時間以上10時間未満	
(9.6) 3 4時間以上6時間未満	(15.7) 6 10時間以上12時間未満	(1.5) 無回答

問7-2 あなたの仕事が休みの日はいつですか。( はいくつでも) N=523

(3.4) 1 月曜日	(1.3) 4 木曜日	(73.4) 7 日曜日
(3.4) 2 火曜日	(1.5) 5 金曜日	(22.8) 8 曜日は決まっていない
(4.2) 3 水曜日	(53.9) 6 土曜日	(6.9) 9 その他( )
(0.6) 無回答		

問8 あなたは、次のような制度があることを知っていますか。(1),(2)それぞれについてお答えください。( はそれぞれ1つ) N=907

	名称と内容を知っている	名称は知っているが内容は知らない	全く知らない
(1)育児休業 労働者が1歳(一定の要件に該当する場合は1歳6ヵ月)に満たない子を養育するための休業	(43.3)	(39.8)	(4.9)
(2)介護休業 労働者が要介護状態にある配偶者、父母、子、配偶者の父母・同居し扶養している祖父母・兄弟姉妹・孫を介護するための休業	(28.8)	(33.8)	(24.4)

【問8の(1)または(2)で「1 名称と内容を知っている」に つけた方におたずねします】

問8-1 あなたは「育児休業」や「介護休業」など、家庭生活を援助する制度が、女性だけでなく、男性も対象にした制度であることを知っていますか。( は1つ) N=405

(93.1) 1 知っていた	(6.9) 2 女性だけが対象だと思っていた
----------------	------------------------

## 男性の家事参加についておたずねします。

問9 あなたは、一般的に男性が家事を行うことについてどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを次の中から選んでください。( は1つ) N=907

\*ここでの家事とは、「炊事」、「買物」、「洗濯」、「掃除」、「子どもの世話(食事の世話,入浴,おむつ交換,遊び相手,家庭学習の世話など)」、「介護(老親や病気の家族などの介助)」、「その他の家事(整理,片づけ,銀行・役所に行くなど)」を指します。

- (25.0) 1 積極的に行うべき
- (60.9) 2 なるべく行うべき
- (4.5) 3 あまり行うべきではない
- (0.3) 4 一切行うべきではない
- (5.2) 5 わからない
- (4.3) 無回答

【問9で「1 積極的に行うべき」「2 なるべく行うべき」につけた方におたずねします】

問9 - 1 その理由は。(はいくつでも) N=779

- (53.1) 1 妻の負担が軽減できるから
- (14.4) 2 一般的に男性はあまり家事を行っていないから
- (62.3) 3 夫婦や親子で協力して家事をするのは当たり前だから
- (37.5) 4 一人の人間として基本的な生活技術を習得すべきだから
- (51.9) 5 老後や一人暮らしになった場合などのことを考えると男性も家事をやれたほうがよいから
- (32.0) 6 家族のきずなが深まるから
- (43.8) 7 父親も子どもの世話をしたほうが子どもにとってよいから
- (32.1) 8 家事の重要性を実感できるから
- (7.2) 9 家事は楽しいから
- (2.8) 10 その他( ) (0.8) 無回答

【問9で「3 あまり行うべきではない」「4 一切行うべきではない」につけた方におたずねします】

問9 - 2 その理由は。(はいくつでも) N=44

- (65.9) 1 今のままで充分だから
- (6.8) 2 家事が楽しくないから
- (43.2) 3 手伝うとかえって邪魔になるから
- (27.3) 4 家事は女性の仕事だから
- (20.5) 5 男性が家事を行うと仕事に支障が出るから
- (15.9) 6 男性の自由な時間がなくなるから
- (6.8) 7 男性が家事をすると家族が嫌がるから
- (2.3) 8 男性が家事を行うと世間体が悪いから
- (9.1) 9 その他( )

問 10 今後、男性が女性とともに家事（子育て・介護を含む）に積極的に参加していくためには、  
 どのようなことが必要だと思いますか。（はいいくつでも） N=907

(39.9) 1	男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと	(20.4) 7	男性が家事に関心を高めるよう啓発や情報提供を行うこと
(12.6) 2	男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	(8.9) 8	国や地方自治体などの研修や講座等により、男性の家事の技術や能力を高めること
(54.7) 3	夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること	(12.8) 9	男性が子育てや介護等を行うための、仲間（ネットワーク）作りをすすめること
(25.6) 4	年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること	(17.9) 10	子育て・介護等と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること
(33.4) 5	社会の中で、男性による家事についても、その評価を高めること	(3.4) 11	その他 ( )
(44.0) 6	労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	(3.9) 12	特に必要なことはない

調査項目を統計的に分析するために、以下の項目にもご回答ください。

F 1 あなたの性別は。（は1つ） N=907

(49.7) 1	女性	(48.6) 2	男性	(1.7) 無回答
----------	----	----------	----	-----------

F 2 あなたの年代は。（は1つ） N=907

(13.5) 1	20代	(15.9) 3	40代	(15.7) 5	60代
(20.7) 2	30代	(17.0) 4	50代	(15.7) 6	70歳以上
(1.7) 無回答					

F 3 現在、同居している家族の構成は。（は1つ） N=907

(0.2) 1	ひとり暮らし	(47.7) 4	あなたの世代と子ども（二世世代世帯）
(36.4) 2	夫婦ふたり暮らし（一世世代世帯）	(9.5) 5	親と子どもと孫（三世世代世帯）
(2.9) 3	あなたの世代と親（二世世代世帯）	(1.2) 6	その他（ )
(2.1) 無回答			

F 4 現在、同居しているご家族の中に、65歳以上の方はいらっしゃいますか（回答者ご自身が65歳以上の場合も含む）。（は1つ） N=907

(34.1) 1	いる	(63.6) 2	いない	(2.3) 無回答
----------	----	----------	-----	-----------



F 5 現在，同居しているご家族の中に，お子さんはいらっしゃいますか。( は1つ) N=907

( 57.7 ) 1 子どもがいる ( 36.7 ) 2 子どもがいない ( 5.6 ) 無回答

【F5で「1 子どもがいる」に つけた方におたずねします】

F 5 - 1 一番下のお子さん(ひとり子も含む)は，次のどれにあたりますか。( は1つ) N=523

( 18.4 ) 1 乳児( 2歳未満) ( 8.6 ) 5 中学生  
 ( 23.7 ) 2 幼児( 2歳以上小学校入学前) ( 13.4 ) 6 高校，大学，大学院生( 高専，短大，専門学校を含む)  
 ( 8.2 ) 3 小学校1～3年生  
 ( 7.1 ) 4 小学校4～6年生 ( 19.1 ) 7 学校は卒業した( 中退も含む)

( 1.5 ) 無回答

調査項目を統計的に分析するために，以下の項目にもご回答ください。

F 6 配偶者の年代は。( は1つ) N=907

( 11.2 ) 1 20代 ( 19.1 ) 4 50代  
 ( 23.8 ) 2 30代 ( 14.2 ) 5 60代  
 ( 14.2 ) 3 40代 ( 15.0 ) 6 70歳以上 ( 2.4 ) 無回答

F 7 配偶者の職業は何ですか。( は1つ) N=907

【自営業主】	【家族従業者】	【会社員等(勤め人)】	【無職】
1 農林漁業( 0.1)	4 農林漁業( 0.3)	7 管理職( 7.3)	13 家事専業( 25.1)
2 商工サービス業( 0.9)	5 商工サービス業( 1.0)	8 専門技術職( 11.2)	14 学生( 0.3)
3 その他の自営業主 ( 5.0)	6 その他の家族従業者 ( 0.9)	9 事務職( 7.7)	15 その他の無職 ( 16.0)
* 自営業主とは 自営業を営んで経営・管理されている方		10 製造関連職( 2.2)	( 3.3 ) 無回答
* 家族従業者とは ご家族の自営業を手伝っている方		11 商工サービス関連職 ( 4.4)	
		12 その他の「勤め人」 ( 14.2)	

【F7で「1」から「12」に つけた方におたずねします】

F 7 - 1 配偶者の1日の就業時間(残業時間含む)は平均何時間ぐらいですか。( は1つ) N=501

( 1.8 ) 1 2時間未満 ( 18.4 ) 4 6時間以上8時間未満 ( 12.2 ) 7 12時間以上  
 ( 4.0 ) 2 2時間以上4時間未満 ( 36.3 ) 5 8時間以上10時間未満  
 ( 8.6 ) 3 4時間以上6時間未満 ( 17.6 ) 6 10時間以上12時間未満 ( 3.3 ) 無回答

F 7 - 2 配偶者の仕事が休みの日はいつですか。( はいくつでも) N=501

( 1.4 ) 1 月曜日 ( 2.0 ) 4 木曜日 ( 74.7 ) 7 日曜日  
 ( 2.4 ) 2 火曜日 ( 1.0 ) 5 金曜日 ( 22.6 ) 8 曜日は決まっていない  
 ( 5.2 ) 3 水曜日 ( 52.7 ) 6 土曜日 ( 8.8 ) 9 その他( )  
 ( 1.2 ) 無回答

最後に、男性の家事参加について、ご意見やアイデアなどございましたら、下欄にご自由にお書きください。


以上でアンケートは終了です。  
\* お忙しい中調査にご協力いただき、ありがとうございました。 \*  
ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて  
平成 17 年 12 月 13 日（火）までにご投函ください。  
~~~~~  
なお調査票や返信用封筒に住所、氏名をお書きになる必要はありません。

## 家事時間等に関する市民意識及び実態調査

平成18年3月

仙台市市民局市民生活部 男女共同参画課

〒980-8671 仙台市青葉区国分町3丁目7番1号

TEL 022-214-6143 FAX 022-214-6140